講義科目名称：　英語Ⅰ　　授業コード：　1000096　1000110

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必須
担当教員			
野田　明			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現代英語で書かれた論説やストーリーを題材として使用します。 主にReading力を伸ばすことを目的とします。高校までに学習した文法事項、構文などを実際の文章の中で確認しつつ、その応用と読解力の強化を図ります。
授業計画	1　　イントロダクション 2　　Unit 1 Space Invaders 本文前半 3　　Unit 1 Space Invaders 本文後半

	4 Unit 1 Space Invaders 練習問題と振り返り 5 Unit 2 Food Loss and Food Waste 本文前半 6 Unit 2 Food Loss and Food Waste 本文後半 7 Unit 2 Food Loss and Food Waste 練習問題と振り返り 8 Unit 3 Soft Technology 本文前半 9 Unit 3 Soft Technology 本文後半 10 Unit 3 Soft Technology 練習問題と振り返り 11 Unit 4 The Quest for Clean Power 本文前半 12 Unit 4 The Quest for Clean Power 本文後半 13 Unit 4 The Quest for Clean Power 練習問題と振り返り 14 Unit 5 Robot Project 本文前半 15 Unit 5 Robot Project 本文後半、練習問題と振り返り 16 Unit 6 News Literacy 本文前半 17 Unit 6 News Literacy 本文後半 18 Unit 6 News Literacy 練習問題と振り返り 19 Unit 7 Hayabusa-2 本文前半 20 Unit 7 Hayabusa-2 本文後半 21 Unit 7 Hayabusa-2 練習問題と振り返り 22 Unit 8 Dr. Naoyuki Kawahara and Rocinantes 本文前半 23 Unit 8 Dr. Naoyuki Kawahara and Rocinantes 本文後半 24 Unit 8 Dr. Naoyuki Kawahara and Rocinantes 練習問題と振り返り 25 Unit 9 Biomimicry 本文前半 26 Unit 9 Biomimicry 本文後半 27 Unit 9 Biomimicry 練習問題と振り返り 28 Unit 10 What Plagues Us 本文前半 29 Unit 10 What Plagues Us 本文後半 30 Unit 10 What Plagues Us 練習問題と振り返り
到達目標	英語の構造、主な構文を修得する。辞書があれば英文の大意を把握することができ、日本語とは異なる英語の特徴も理解できる。
予習内容/復習内容	予習：次回の授業で扱う範囲について、知らない単語があれば辞書を引いて意味を調べておく。 復習：授業で習った範囲について、授業資料を参考にして確認・復習する。さらにわからない点はメモしておく。
教科書	松尾秀樹他『リーディング・インサイト』（三修社）

成績評価	授業への積極的な取り組みを30%、期末試験を70%とします。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　英語Ⅰ　　授業コード：　1000097　1000111

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必修
担当教員			
萩　三恵			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本授業では文構造を見抜き、文法力を高めることによりリーディング力向上につなげます。なんとなく単語の意味をつなげて文の意味を取ろうとせず、主語と述語の対応や、修飾語句の範囲などを常に押さえながら長文読解を行います。さらに、ユニット毎に小テストを実施して各ユニットの理解度を確認します。なお、正答と解説は小テスト返却時に行います。
授業計画	1　　ガイダンス 2　　Unit 1　Listening Part

	3　Unit 1 Reading Part 4　Unit 2 Listening Part、Unit 1 小テスト 5　Unit 2 Reading Part 6　Unit 3 Listening Part、Unit 2 小テスト 7　Unit 3 Reading Part 8　Unit 4 Listening Part、Unit 3 小テスト 9　Unit 4 Reading Part 10　Unit 5 Listening Part、Unit 4 小テスト 11　Unit 5 Reading Part 12　Unit 6 Listening Part、Unit 5 小テスト 13　Unit 6 Reading Part 14　Unit 7 Listening Part、Unit 8 小テスト 15　Unit 7 Reading Part 16　Unit 8 Listening Part 17　Unit 17 Reading Part 18　Unit 9 Listening Part、Unit 8 小テスト 19　Unit 9 Reading Part 20　Unit 10 Listening Part、Unit 9 小テスト 21　Unit 10 Reading Part 22　Unit 11 Listening Part、Unit 10 小テスト 23　Unit 11 Reading Part 24　Unit 12 Listening Part、Unit 11 小テスト 25　Unit 12 Reading Part 26　Unit 13 Listening、Unit 12 小テスト 27　Unit 13 Reading Part 28　Unit 14 Listening Part、Unit 13 小テスト 29　Unit 14 Reading Part 30　総括
到達目標	①　英語の基本的な構造を十分に理解できる。　②　既習の英文法の重要事項についてさらに理解を深めることができる。　③やさしい英文を速読し理解できる。
予習内容/復習内容	予習：READING PART Find Outの長文について事前学習を行う。　復習：本文の内容と単語・表現、構文、文法について事後学習を行う。
教科書	『AMBITIOUS　Elementary』　（金星堂）

成績評価	・試験：60%、小テスト：30%、平常点（授業に対する取り組み）：10%の基準で評価する。　・出席回数が全授業数の３分の２に満たない場合は、出席不足により成績評価要件を満たしていないと判断し、評価対象外とする。
実務経験	
その他特記事項	授業欠席事由が公欠、あるいはそれに相当する場合は小テスト未受験について配慮します。

講義科目名称：　英語Ⅰ　　授業コード：　1000027　1000032

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必須
担当教員			
吉岡みのり			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	環境問題への取り組み、冒険旅行、映画やファッション、メデイアなど現代社会の様々な話題を各ユニット読み切り形式でまとめたテキストを使用する。一つのユニットを二回の授業（一回目はテキスト読解中心、二回目は語彙やリス人ンぐ等の練習問題）で読了する予定。時事英語に慣れる為、タイム誌を読む機会も設ける。ポップスのを聞いて空欄をうめたり歌詞の内容理解などもする。テキストに関する映画の一部を見てより理解度を深める工夫もする。このように様々な課題への取り組みを通して、英語力を総合的に向上させることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション（授業の進め方・成績評価方法についての説明など） 2　　Unit 1 Millenials　ミレニアル世代

	３　Unit 1 Millenials （現在完了形） 4　Unit 2 Green Profits 5　Unit 2 Green Profits（副詞節） 6　Unit 3 Well-Loved Pets 本文 7　Unit 3 Well-Loved Pets（形容詞＋前置詞） 8　Unit 4 Italy’s Fashion Kings 9　Italy’s Fashion Kings 文法事項 10　unit 5 Viral Marketing 本文 11　unit 5 Viral Marketing 文法事項練習問題等 12　Unit 6 Ted Talk 本文 13　Unit 6 Ted Talk 文法、練習問題 14　Unit 7 The Gossip Media 15　前期まとめと試験 16　前期試験返却 説明 17　Unit 8 Replanting the World’sForest 18　Unit 8 Replanting the World’sForest （形容詞、副詞） 19　Unit 9 Adventure Tourism 20　Unit 9 Adventure Tourism（前置詞） 21　Unit 10 The Canne Film Festival 22　Unit 10 The Canne Film Festival（代名詞） 23　Unit 11 Giving Away Billions 24　Unit 11 Giving Away Billions（形容詞節） 25　Unit 12 Compter Actors 26　Unit 12 Compter Actors（受動態） 27　Unit 13 New York City 28　Unit 13 New York City（数量詞） 29　Unit 14 Fresh Water 30　後期のまとめと試験
到達目標	①英文の内容を早く的確に把握する力をつける　②語彙や文法に関する基礎的な知識を確認する。③簡単な英文を作成する力や聞き取る力を養う。
予習内容/復習内容	テキストに目を通して単語やイデイオムの意味を調べ、内容を一定程度理解して出席する。　提出課題がある場合は課題に取り組み、読了したテキスト内容を確認して次回分の予習につなげる。

教科書	『リーディング・パス　　２』（南雲堂）
成績評価	試験（前期と後期に実施）50%＋平常点（出席状況、課題提出、学習態度、発言など）　30　％　小テス　ト２０％　（各ユニットを学習した後、実施する）　前期後期それぞれ3分の2以上の出席がない場合は評価の対象外
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　中国語Ⅰ　　授業コード：　1000145　1000150

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必修
担当教員			
花尻　奈緒子			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	中国語は中国以外にもアジアの各国・地域で公用語とされ、また第二外国語としても世界中に学習者を持つ言語です。この授業では、中国語の発音方法を習得するほか、基礎的な文法・単語、中国語の背景にある文化や社会についても学びます。
授業計画	1　ガイダンス・声調 2　単母音と複母音 3　子音・鼻母音

	4　軽声・声調の変化 5　アール化・人称代名詞 6　「是」述語文 7　名前の言い方・答え方 8　動詞述語文 9　疑問詞疑問文 10　副詞「也」・省略疑問文 11　指示詞・助詞「的」 12　副詞「都」・語気助詞 13　数字・所有を表す「有」・程度副詞 14　形容詞述語文 15　前期の総復習 16　前期の復習 17　年齢の言い方とたずね方・量詞 18　数をたずねる疑問詞 19　比較の表現・3桁以上の数字の言い方 20　中国の通貨・値段のたずね方 21　年月日と曜日・時刻の表現 22　助動詞「想」・連動文 23　方位詞・存在文 24　前置詞①・反復疑問文 25　完了形 26　文末につける「了」・前置詞② 27　助動詞②・助動詞③ 28　二重目的語をとる動詞 29　進行形・動詞「～が好きだ」 30　後期の総復習
到達目標	中国語で簡単な文を作文し、かつ正しい字で表記できるようになり、単純な文を聞いて意味を理解できるようになることを目標とします。
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回に学習する部分を読んでくる。 復習：教科書付属問題を使用し知識を確認する。
教科書	『シンプルチャイニーズ　北京文法篇』（朝日出版社）

成績評価	出席時の取り組みの姿勢50%、前・後期の期末試験50%で成績評価を行います。
実務経験	なし
その他特記事項	予習復習を欠かさずに行うこと。

講義科目名称：　ドイツ語Ⅰ　　授業コード：　1000143　1000144

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必修
担当教員			
今本　幸平			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	初めてドイツ語を学習する人のための科目です。文字（アルファベット）、単語の読み方から始まり、簡単な文の組み立て方や読解を学びます。 教員が文法等の説明をした後、自分で練習問題を解き、答えを口頭で発表したり音読の練習をすることで、文法と発音を身につけます。板書をノートに書き写すだけという受け身の姿勢ではなく、説明に基づいて自分でやってみて、分からないことは自ら調べたり、質問したりするという、能動的な受講態度が必要です。
授業計画	1　　ガイダンス、アルファベットの読み方 2　　アルファベットの読み方、単語の読み方

	３　単語の読み方（あいさつ、数字など） ４　第１課　文の作り方（動詞について） ５　第１課　重要な動詞、語順の原則 ６　第１課　練習問題、会話文読解（出会いと自己紹介） ７　第2課　名詞について（名詞の性別） ８　第２課　名詞の「格」について ９　第２課　重要な動詞② １０　第２課　練習問題、会話文読解（家族について尋ねる） １１　復習、中間テスト １２　第３課　不規則動詞 １３　第３課　不規則動詞の練習問題、命令形 １４　第３課　練習問題、会話文読解（明日の予定を尋ねる） １５　前期の復習 １６　前期の復習 １７　第４課　定冠詞の仲間 １８　第４課　練習問題 １９　第４課　不定冠詞の仲間 ２０　第４課　練習問題、会話文読解（買い物に行く１） ２１　第５課　名詞の複数形 ２２　第５課　人称代名詞 ２３　第５課　練習問題、会話文読解（買い物に行く２） ２４　復習、中間テスト ２５　第６課　前置詞の使い方 ２６　第６課　練習問題 ２７　第６課　練習問題、会話文読解（週末の予定を尋ねる） ２８　第８課　話法の助動詞 ２９　第８課　練習問題 ３０　総復習
到達目標	①ドイツ語の単語や簡単な文（ドイツ語検定試験５級程度）を音読できる。 ②簡単なドイツ語の文（ドイツ語検定試験５級程度）を理解し、自分でも作ることができる。
予習内容/復習内容	予習：学習している「課」に出てくる単語の意味を辞書で調べ、音読する。 復習：授業で出てきた文を音読する。学習した個所の練習問題（宿題）を解き、音読する。

教科書	①『PANORAMA Deutsch（パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール）』、白水社 ②独和辞典（４月中は使用しない。詳細は初回講義で説明） ※５月以降は必ず①②の両方を持参すること。
成績評価	前期試験と後期試験の点数（各５０％）。授業中に行う小テスト、中間テスト等の点数は参考程度（マイナスの評価材料としては使用しない）。 前・後期とも10回以上講義に出席しないと評価対象外となる（遅刻・早退は0.5回の出席とみなす）。
実務経験	
その他特記事項	例えば野球ができるようになりたければ、ルールを教わるだけでなく、実際にボールを投げたりバットを振ったりしなければできるようにならないのと同じで、外国語も説明を聴くだけではなく、自分で発音したり、文を書いたりしてみなくては身につきません。その時に、間違えることを気にする必要はありません。失敗と修正を繰り返しながら学ぶ、というつもりで取り組んでください。

講義科目名称：　フランス語Ⅰ　　授業コード：　1000028　1000029　1000033　1000034

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必修
担当教員			
井出　勉			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	フランス語の発音にまず慣れてもらうよう十分に練習します。フランス語は思ったより日本語の中に取り入れられていることがわかり身近に感じられるはずです。実際のコミュニケーションにも対応できる会話文を通して、フランスの文化も紹介します。 また、旅行でも役に立つ日常会話を習得することで、特に仏検5級の聞き取り問題にも対応できるようになってもらうことを目的とする。
授業計画	1　　授業の進め方、フランスの紹介・発音 2　　綴り字の読み方・出会ったときの挨拶

	3	発音練習・別れの挨拶
	4	自己紹介の仕方
	5	名詞の性と数・不定冠詞
	6	形容詞の性と数
	7	特殊な変化の形容詞・定冠詞
	8	基本動詞の活用
	9	3通りの疑問文の作り方
	10	指示代名詞・～が好き（大好き）
	11	否定文
	12	動詞～を持つとその慣用表現
	13	疑問形容詞
	14	動詞～をするとその慣用表現
	15	前期の総括
	16	数字（特に1～20）と年齢
	17	部分冠詞
	18	飲み物：カフェでの注文・精算の仕方
	19	食べ物：レストランでの注文・精算の仕方＊仏検5級受講希望者がいる場合：仏検対策①
	20	～に行く・～から来た仏検対策②
	21	所有形容詞・人称代名詞強勢形
	22	比較級
	23	命令形
	24	曜日と日付の表記の仕方
	25	天候・時刻
	26	近接未来・近接過去
	27	過去分詞の作り方
	28	複合過去（助動詞avoir）
	29	複合過去（助動詞être）
	30	後期の総括
到達目標	①仏検5級合格レベルの初級文法や、簡単な日常的コミュニケーションを取れるようになること。 ②フランス語を学ぶことを通して、アメリカ文化とは違った、ヨーロッパの異文化を分析・解釈できるようになること。	
予習内容/復習内容	予習：配布した講義資料に基づき、教科書の音声データをダウンロードして聞いたりしておくこと。 復習：前回の講義ノートなどに目を通し、疑問点などを明らかにしておくこと。	

	音声データも繰り返し聞き、自宅でも発音練習を各自でやっておくこと。
教科書	藤田裕二『パリのクール・ジャパン』朝日出版社
成績評価	平常点（積極的な学習態度を評価する）30%、試験（中間・期末）70% 年間10回を超える欠席をした場合、評価の対象外とします。
実務経験	
その他特記事項	辞書・参考文献については、第1回の講義や講義中に随時紹介する。

講義科目名称： 英会話　　授業コード： 1000067

英文科目名称： English Conversation

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
Jon Richards			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	This course is designed for beginner to low-intermediate students and will focus on spoken English. The goal of this course is to give students the opportunity to challenge their English ability in a positive environment while also building upon the fundamental skills of reading, hearing, and speaking. Basic grammar will be taught and reviewed over the duration of this course. Both individual and group projects will be assigned in this course. As much as possible students are expected to speak only English in this course
授業計画	

	1	Introductions and orientation
	2	Assessment of Students Abilities
	3	Unit 1 Hello Everybody
	4	Unit 1 Hello Everybody
	5	Unit 2 Meeting people
	6	Unit 2 Meeting people
	7	Unit 3 The world of work
	8	Unit 3 The world of work
	9	Unit 4 Take it easy!
	10	Unit 4 Take it easy!
	11	Unit 5 Where do you live?
	12	Unit 5 Where do you live?
	13	Unit 6 Can you speak English?
	14	Unit 6 Can you speak English?
	15	End of first semester test
	16	Unit 7 Then and now
	17	Unit 7 Then and now
	18	Unit 8 A date to remember
	19	Unit 8 A date to remember
	20	Unit 9 Food you like!
	21	Unit 9 Food you like!
	22	Unit 10 Looking Good!
	23	Unit 10 Looking Good!
	24	Unit 11 Life is an adventure
	25	Unit 11 Life is an adventure
	26	Unit 12 Have you ever?
	27	Unit 12 Have you ever?
	28	This day is reserved for unfinished work in the textbook.
	29	This day is reserved for unfinished work in the textbook.
	30	End of second semester test

到達目標	My goal is to encourage students to develop their communication skills and to gain the confidence necessary to maintain an intermediate level of communication in English.
予習内容/復習内容	In this class sutdents will be taught grammatical patterns as well as conversational terminology. Students will be expected to use these language points in both written and interpersonal activities. During each class students will work in pairs and small groups to communicate in English.
教科書	American Headway 1 (3rd edition. ISBN 978-0-19-472565-1) By Riz and John Soars (Oxford University Press)
成績評価	Homework -50% Mid Term Exam - 20% Final Exam - 30%
実務経験	
その他特記事項	It is my experience that an active, positive atmosphere is necessary for learning to speak a new language. Students are expected to maintain a supportive atmosphere so that everyone may advance. Mistakes during class are not to be feared as they are part of the learning process.

講義科目名称：　英語講読　　授業コード：　1000084

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
村井　美代子			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	・科学技術や文化、環境問題など、現代社会の様々な話題を、各ユニット読み切り形式でまとめたテキストを使用する。１つのユニットを2～3回の授業で読了する予定。 ・1ユニット400語程度のリーディング課題の読解を通して、英文の内容を速く的確に把握できる力を養う。各ユニットには、内容の理解度を問う問題や、語彙に関する問題などが用意されている。課題への取り組みを通して、これまでの英語学習の基礎の上に、英文の内容を正確に把握できる実践的な読解力を身につけることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション（テキスト・授業の進め方・成績評価などについて） 2　　Unit 1　Pro Gaming

	３　Unit 1 Pro Gaming ４　Unit 2 The Blogsphere ５　Unit 2 The Blogsphere ６　Unit 3 Organic Food ７　Unit 3 Organic Food ８　Unit 4 Franchises ９　Unit 4 Franchises １０　Unit 5 Character Culture １１　Unit 5 Charcter Culture １２　Unit 6 Language Change １３　Unit 6 Language Change １４　Unit 7 Unlocking Motivation １５　Unit 7 Unlocking Motivation １６　前期定期試験の返却Unit 8 Yellow Dust Storms １７　Unit 8 Yellow Dust Storms １８　Unit 9 The End of Privacy １９　Unit 9 The End of Privacy ２０　Unit 10 Going Carbon Neutral ２１　Unit 10 Going Carbon Neutral ２２　Unit 11 Retro Style ２３　Unit 11 Retro Style ２４　Unit 12 It pays to be the CEO. ２５　Unit 12 It pays to be the CEO. ２６　Unit 13 London ２７　Unit 13 London 28　Unit 14 Web 2.0 ２９　Unit 14 Web 2.0 ３０　Unit 15 Troubled Stars
到達目標	①400語程度の英文内容を正確に把握できる実践的な読解力をつける。 ②語彙や文法、イディオムに関する知識を確認し、実践で活用できる応用力をつける。
予習内容/復習内容	予習：テキストに目を通して単語やイディオムの意味を調べ、内容を一定程度理解して出席する。 復習：提出課題がある場合は課題に取り組み、読了したテキスト内容を確認して次回分の予習につなげる。

教科書	『Reading Pass 3』（南雲堂）
成績評価	期末試験（前期と後期に実施）70%　＋　平常点（出席状況、提出課題、学習態度、発言等）30% 前期と後期それぞれ3分の2以上の出席がない場合は、評価の対象外とする。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　実用英語　　授業コード：　1000050　1000051

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
伊藤　怜			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	TOEIC受験を意識しつつ、TOEIC形式の（あるいは、それに類似した）リスニング問題やリーディング問題を解いていきます。その際、正解を導き出すために必要となる語彙・文法・語法を基礎から学び、それらを正しく理解することで英語運用能力の向上を目指します。TOEICの問題に準拠した、テーマ別20ユニットの実践的な練習問題を積み重ねることにより、英語の基礎力向上とTOEICの得点アップにつなげます。ユニット毎に確認小テストを貸します。
授業計画	1　　授業の説明・TOEIC出題形式の概観 2　　Unit 1: Shopping

	3 Unit 2: Health 4 Unit 3: Travel 5 ここまでの復習 6 Unit 4: Weather 7 Unit 5: Communication 8 Unit 6: Home & Family 9 ここまでの復習 10 Unit 7: Requests & Negotiation 11 Unit 8: Transportation 12 ここまでの復習 13 Unit 9: Production & Control 14 Unit 10: Economy & Management 15 ここまでの復習 16 前期の復習・前期期末試験の解説 17 Unit 11: Office Equipment 18 Unit 12: Entertainment 19 Unit 13: Personnel Affairs & Job Hunting 20 ここまでの復習 21 Unit 14: Contracts 22 Unit 15: Shipment & Delivery 23 Unit 16: Meetings 24 ここまでの復習 25 Unit 17: Environment & Energy 26 Unit 18: Hotels & Restaurants 27 ここまでの復習 28 Unit 19: PR & Advertising 29 Unit 20: Events & Parties 30 ここまでの復習
到達目標	実践力を身につけ、TOEIC L&R テストで400点以上をとることができる。
予習内容/復習内容	予習：各ユニットStep 1の単語を確認し、「英語の仕組み」を読んで並び替え問題をやっておく。 復習：授業後に問題をすべて解き直し、次回授業冒頭で行う確認小テストの準備をしておく。
教科書	STEP-BY-STEP PREP FOR THE TOEIC L&R TEST Basic Course

	TOEIC L&R TEST ステップ式徹底演習〈初級〉編　（アルク）
成績評価	「前期・後期 期末試験」50%（50点*2回：計100点） ＋ 「小テスト」50%（5点*20回：計100点） 出席状況や授業態度は、成績評価のボーダーライン上にある場合の参考資料とする。
実務経験	
その他特記事項	・毎回出席をとる。前期・後期のどちらかで「欠席5回」を超えた場合、評価の対象外とする。 ・小テストがある授業回に遅刻・欠席した場合、小テストの受験は認めない。 ・授業中の携帯電話その他通信機器の使用は禁じる。

講義科目名称：　中国語Ⅱ　　授業コード：　1000063

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
花尻　奈緒子			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	中国語Ｉで学習した文法事項を確認しながら、より多彩な中国語の表現を学びます。教科書は初中級レベルのものを使用し、無理なくじっくり進めていきます。 リスニング、簡単な会話・音読や自由作文など、中国語を実際に使うトレーニングを行います。 また、中国語の背景にある文化や社会についても、引き続き学びます。
授業計画	1　　ガイダンス・一年次の復習 2　　比較文・『～以外に』

	3	動詞を使った名詞句・結果補語
	4	第1課トレーニング
	5	第1課スキット発音練習・本文訳読
	6	『～のとき』・方向補語「起来」
	7	副詞「才」・動詞「知道」
	8	第2課トレーニング
	9	第2課スキット発音練習・本文訳読
	10	『～したばかり』・「把」構文
	11	「因為」・「原来」
	12	第3課トレーニング
	13	第3課スキット発音練習・本文訳読
	14	前置詞「対」・二つの「要」
	15	前期の総復習
	16	前期の復習・『なぜ』・『～だけれども…だ』
	17	第4課トレーニング
	18	第4課スキット発音練習・本文訳読
	19	『～とは思わなかった』・蓋然性の助動詞「会」
	20	『～と思う』・『～だそうだ』
	21	第5課トレーニング
	22	第5課スキット発音練習・本文訳読
	23	『もうすぐ～だ』・『過ごす』
	24	動詞「祝」・前置詞「為了」
	25	第6課トレーニング
	26	第6課スキット発音練習・本文訳読
	27	『たとえ～でも』・『～もあれば～もある』
	28	「一定要～」・自由作文
	29	第7課トレーニング
	30	後期の総復習
到達目標	語彙や表現を増やし、中国語を使用した日常的な会話、作文ができるようになることを目標とします。	
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回に学習する部分を読んでくる。 復習：教科書付属問題を使用し知識を確認する。	
教科書	鄭高咏著『音読＆会話で深める中国語　中級アイテム15』（朝日出版社）	

成績評価	出席時の取り組みの姿勢50%、前・後期の期末試験50%で成績評価を行います。
実務経験	なし
その他特記事項	予習復習を欠かさずに行うこと。 ※「中国語Ⅰ」の単位を取得していることを前提に授業を行いますので、中国語の学習経験が無い方には履修をおすすめしません。

講義科目名称：　ドイツ語Ⅱ　　授業コード：　1000079　1000080

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
今本　幸平			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	「ドイツ語Ⅰ」と同程度のドイツ語学習歴がある方のための科目です。 講義で扱う文法事項は「ドイツ語Ⅰ」で扱ったものと重複する部分がありますが、この講義では口頭での表現を中心に学びます。 聴き取り、発音、会話表現、読解などの練習を行い、簡単なドイツ語（ドイツ語検定試験５～４級程度）を使った、口頭でのコミュニケーションができるようになることを目指します。
授業計画	1　　ガイダンス、発音の復習 2　　発音の復習、あいさつ

	３　第１課　挨拶、自己紹介の表現 ４　第１課　聞き取り、自己紹介の練習 ５　第１課　読解、文法の確認（動詞の現在人称変化、動詞の位置） ６　第２課　職業をたずねる／答える表現、数字 ７　第２課　聞き取り、職業、国籍の表現の練習 ８　第２課　読解、文法の確認（sein動詞、接続詞、ja/nein/doch） ９　第３課　友人を紹介する表現 １０　第３課　聞き取り、友人を紹介する練習 １１　第３課　読解、文法の確認（3人称の現在人称変化、人物を表す形容詞） １２　第４課　レストランでの注文 １３　第４課　聞き取り、注文、支払いの練習 １４　第４課　読解、文法の確認（定冠詞、不定冠詞、不規則動詞） １５　前期の復習 １６　第５課　住まい、値段の表現、数字 １７　第５課　聴き取り、数字、値段の表現の練習 １８　第５課　読解、文法の確認（人称代名詞、名詞の複数形） １９　第６課　家族について話す ２０　第６課　聞き取り、会話表現の練習 ２１　第６課　読解、文法の確認（所有冠詞、否定冠詞） ２２　第７課　趣味について話す ２３　第７課　聞き取り、趣味の表現の練習 ２４　第７課　読解、文法の確認（不規則動詞、頻度の表現） ２５　第８課　プレゼントをする／探す、数字 ２６　第８課　聞き取り、プレゼントの表現の練習 ２７　第８課　読解、文法の確認（3格の冠詞） ２８　第９課　予定、規則、願望などについて話す ２９　第９課　聞き取り、予定の決める表現の練習 ３０　第９課　読解、文法の確認（助動詞）
到達目標	①初歩的なドイツ語（検定試験５～４級程度）を聴いて理解することができる。 ②初歩的なドイツ語を自ら使用することができる。
予習内容/復習内容	予習：学習する「課」に出てくる単語の意味を辞書で調べる。教科書の音声を聴き、音読する。 復習：学んだ表現の音読練習をする。市販の参考書や「ドイツ語Ｉ」で使用した教科書などで文法の復習をする。

教科書	①『Spitze! 1』（シュピッツェ！ １）朝日出版社 ②独和辞典（「ドイツ語Ｉ」で使用したものがあれば購入不要）
成績評価	各学期末に出す課題（口頭で行う予定）で成績評価を行う。（前・後期合わせて７０％） 普段の授業での参加態度、発言、練習成果（３０％） 成績評価を受けるには、前後期ともに10回以上の出席が必要。（遅刻、早退は０．５回分の欠席とみなす。）
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　フランス語Ⅱ　　授業コード：　1000052　1000053

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
内田　智秀			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	教科書『Spirale Nouvelle Edition』はフランス語初心者向けの教科書です。最初は「フランス語Ⅰ」で学んだことを、みなさん同士でやり取りしながら復習していきます。「書く」練習よりも「聴く・話す」練習をおこなっていきます。復習がおわったら、必要最低限の文法を学び、フランス語の能力を伸ばしていきます。
授業計画	1　　オリエンテーション（授業の進め方・成績評価）Initiation1、数詞1-20 2　　Initiation2発音の復習 3　　Unité1, Leçon1職業（１）、職場、日本におけるフランスの存在

	4	Unité1, Leçon2職業（2）、国籍、言語名
	5	Unité1, Leçon3国名、観光名所、フランス語とフランス語圏
	6	Unité2, Leçon4食べもの・飲みもの（1）、場所（1）、余暇、スポーツ、現フランスのテレビ・チャンネル
	7	Unité2, Leçon5行動（動詞）
	8	Unité2, Leçon6(1)形容詞
	9	Unité2, Leçon6(2)比較の表現
	10	Unité3, Leçon7(1)数字（21-100）、学年、科目、時間割、曜日
	11	Unité3, Leçon7(2)計算、現フランスの大学のシステム
	12	Unité3, Leçon8物・動物、文房具、フランス人とペット
	13	Unité3, Leçon9(1)フランスの観光名所、フランスの地名
	14	Unité3, Leçon9(2)日常よく行く場所、場所を示す前置詞
	15	前期のまとめ
	16	Unité4, Leçon10余暇などにすること、余暇の過ごし方、略語
	17	Unité4, Leçon11余暇（スポーツ・音楽・ゲーム）、頻度を表す表現、人々、フランス人とスポーツ
	18	Unité4, Leçon12家族、過去にしたこと（1）、時を示す表現、フランス人と家族
	19	Unité5, Leçon13(1)場所（2）、時刻の表示、公共機関の営業時間
	20	Unité5, Leçon13(2)過去にしたこと（2）
	21	Unité5, Leçon14できないこと・すべきこと、外出の目的、電話の応対、フランス人と祭り
	22	Unité5, Leçon15余暇や休暇に行く場所と四季、月名と日付、休暇の過ごし方、フランス人の休暇
	23	Unité6, Leçon16(1)毎日の行為、１日の時間帯・習慣
	24	Unité6, Leçon16(2)順番を表す表現、フランス人の生活リズム
	25	Unité6, Leçon17交通手段、交通の拠点、avant…、数字（2000まで）、フランス人と交通手段
	26	Unité6, Leçon18移動する、列車の席の種類、支払い方法、夏時間について
	27	Unité7, Leçon19天候・気温、観光に関する語、パリの観光、フランス人と天気
	28	Unité7, Leçon20食べもの、飲みもの（2）、数量・値段、レストランで、チップについて
	29	Unité7, Leçon21方向、トラブルと遺失物、色、フランスの観光
	30	後期のまとめ
到達目標	①フランス語（検定試験５～４級程度）を聴いて理解することができる。 ②フランス語で発表や応答ができる。 ③日本語でフランス（フランス語圏の国々）の歴史、社会、文化などが説明できる。	
予習内容/復習内容	予習：各課（Leçon）の音声を聴き読めるようにする。翻訳ソフトなど活用し、文の意味を理解し、答えなどを予測する。	

	復習：小テストに備える。具体的には授業で取りあげた音声を聴き直し、練習問題をすべて見直す。動詞の活用があれば覚える。
教科書	CREPIEUX, CALLENS, TAKASE, NEGISHI 『Spirale Nouvelle Edition』（Hachette）
成績評価	授業での取り組み、小テストを50%、前期・後期の学期末に行う筆記試験を50%として評価します。
実務経験	
その他特記事項	フランス語検定受験のためには別途練習問題に取り組む必要がある。希望者は申し出てください。 前後期とも10回以上の出席が必要です（遅刻・早退は減点の対象になる場合もあります）。

講義科目名称： 情報処理実習Ⅰ　　授業コード： 1000035

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	１単位	選択
担当教員			
盛田 健人			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在、職場などでコンピュータを利用した書類作成が頻繁に行われている。この実習では、書類作成に頻繁に用いられるMicrosoft社の基本ソフト(Windows)およびオフィスソフト(Word, Excel)を対象として各種課題をこなすことで、コンピュータの基本操作を習得することをめざす。
授業計画	1　導入、コンピュータリテラシー 2　コンピュータの基本操作 3　Wordの基礎(1)：文書の見た目の整え方

	4　Wordの基礎(2)：表の使い方 5　Wordの基礎(3)：図の使い方 6　Wordの基礎(4)：レポートとしての体裁の整え方 7　演習(1)：Wordのまとめ 8　Excelの基礎(1)：シートの見た目の整え方 9　Excelの基礎(2)：数式・関数の使い方 10　Excelの基礎(3)：グラフの使い方 11　Excelの基礎(4)：データベースの使い方 12　演習(2)：Excelのまとめ 13　WordとExcelの連携 14　資料を作る際の心構え 15　演習(3)：総合演習
到達目標	目的に合わせてWord・Excelを正しく使い分けて資料を作成できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の学習内容の該当箇所に目を通しておくことが望ましい。 復習：演習時間中に終わらなかった課題に取り組み理解を深める。
教科書	『リファレンス動画付き!実践ドリルで学ぶOffice活用術』noa出版、2019
成績評価	課題・演習(Wordのまとめ・Excelのまとめ・総合演習)の結果を総合して判定する。配点の比率は、毎回の課題あわせて40%、演習はそれぞれ20%である。なお、課題・演習を期日までに提出しなかった回が、3回以上となった場合は成績評価を不可とする。
実務経験	なし
その他特記事項	コンピュータの操作は、本を読んだだけでは修得できない。そのため、この授業では、実習に参加し課題をこなすことに評価の主眼がある。受講する場合は、この点に留意すること。

講義科目名称：　情報処理実習Ⅰ　　授業コード：　1000129　2000060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期/後期	全学年	１単位	選択
担当教員			
高瀬　治彦			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在，職場などでコンピュータを利用した書類作成が頻繁に行われている。この実習では，書類作成に頻繁に用いられるMicrosoft社の基本ソフト(Windows)およびオフィスソフト(Word, Excel)を対象として各種課題をこなすことで，コンピュータの基本操作を習得することをめざす。
授業計画	1　導入，コンピュータリテラシー 2　コンピュータの基本操作 3　Wordの基礎：文字の装飾

	4　　Wordの基礎：表 5　　Wordの基礎：図 6　　Wordの基礎：文書の書式 7　　演習　Wordのまとめ 8　　Excelの基礎：セルの書式 9　　Excelの基礎：グラフ 10　　Excelの基礎：データベース 11　　Excelの基礎：実務向け機能 12　　演習　Excelのまとめ 13　　WordとExcelの連携 14　　資料を作る際の心構え 15　　総合演習
到達目標	Microsoftのオフィスソフトを用いて，レポート・プレゼンテーション資料等を，作成できるようになる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の関連範囲を事前に読んでおくこと。 復習：実習で取り上げなかった教科書の演習課題に取り組むこと。
教科書	『実践ドリルで学ぶOffice活用術』　noa出版，2019　ISBN978-4-908434-34-1
成績評価	成績は，各回の課題・演習(Wordのまとめ・Excelのまとめ・総合演習)の結果を総合して判定する。それぞれ，指示の達成状況(正確さ)・提出までの時間(速さ)を主に評価する。配点の比率は，課題あわせて40点程度，演習はそれぞれ20点程度である。
実務経験	なし
その他特記事項	なし

講義科目名称：　情報処理実習Ⅰ　　授業コード：　1000069　1000073　2000119

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期/後期	全学年	１単位	選択
担当教員			
眞田　耕輔			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在、コンピュータの操作は必須技術であり、職場等ではコンピュータを利用した書類や資料作成が頻繁に行われている。この実習では、書類作成に頻繁に用いられるMicrosoft社の基本ソフト(Windows)およびオフィスソフト(Word, Excel,PowerPoint)を対象として各種課題をこなすことで、コンピュータの基本操作および情報リテラシーに対する習得することをめざす。
授業計画	1　　導入．コンピュータリテラシー 2　　コンピュータの基本操作

	3　　Wordの基礎(1)：基本操作 4　　Wordの基礎(2)：表の作成 5　　Wordの基礎(3)：図の挿入 6　　Wordの基礎(4)：Wordを用いたレポート作成 7　　演習　Wordのまとめ 8　　Excelの基礎(1)：基本操作 9　　Excelの基礎(2)：関数の使い方 10　　Excelの基礎(3)：図の作成 11　　Excelの基礎(4)：データベース 12　　演習　Excelのまとめ 13　　Excel 演習の復習，Power Point実習(プレゼンテーションスライド作成) 14　　Power Pointを用いたプレゼンテーション演習 (1)：発表 1日程 15　　Power Pointを用いたプレゼンテーション演習 (2)：発表 2日程
到達目標	情報リテラシーおよびコンピュータ基本操作を理解したうえで、Word、Excel、PowerPointの基本ソフトウェアを使用して、資料作成およびプレゼンテーションができること。
予習内容/復習内容	予習のために教科書を読んでおくこと．毎回の演習課題を取り組みながら講義内容の復習をすること．
教科書	『実践ドリルで学ぶOffice活用術 2019対応』noa出版、2019 ISBN978-4908434341
成績評価	成績は、課題・演習(Wordのまとめ・Excelのまとめ・プレゼンテーション実習)の結果を総合して判定する。なお、最終回の講義の時点で課題の未提出が3個以上の場合は成績を不可とする。配点は、word、 Excel、プレゼンテーションの3回の演習(各回30%程度)の合計点で評価する。
実務経験	なし
その他特記事項	第14回、第15回ではプレゼンテーション演習を行う。第13回で発表用スライドをPower Pointで作成し、第14回、第15回では２週にわたって発表演習と受講者間での発表評価採点を行う。

講義科目名称：　情報処理実習Ⅱ　　授業コード：　2000027　2000097

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	１単位	選択
担当教員			
笠　浩一朗			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在、情報をもとに問題解決に取り組む能力が社会で求められている。本講義では、問題解決能力を高めるために必要となる情報の収集、情報の分析、情報の可視化に関する基礎知識、及び、基本操作を習得することを目的とする。講義の前半では、Excelを用いて、データ分析やデータの可視化（表やグラフの作成）を行う。講義の後半では、RESAS（地域経済分析システム）を利用して、情報の収集、分析について学ぶ。
授業計画	1　　情報処理演習室の利用方法とコンピュータの基本操作 2　　Excelの基本操作（データの入力、表の作成、基本的な関数）

	3　Excelの応用１（統計的な関数、プルダウンメニュー） 4　Excelの応用２（情報の可視化、グラフの作成方法） 5　Excelの応用３（相関分析、CORREL関数、オープンデータ） 6　Excelの応用４（データによる予測、e-Stat） 7　Excelの応用５（データベース、クロス集計、ピボットテーブル） 8　中間課題 9　RESASの基本操作１（RESASを用いたデータ収集） 10　RESASの基本操作２（RESASを用いたデータ分析） 11　最終課題の作成１（最終課題の内容説明、分析の模式図の作成） 12　最終課題の作成２（分析の模式図の修正と発表資料の作成） 13　最終課題の作成３（発表資料の作成） 14　最終課題の発表 15　最終課題の発表と本講義のまとめ
到達目標	問題解決能力で必要となる情報の収集、情報の分析、情報の可視化に関する基礎知識や基本操作を習得することを到達目標とする。
予習内容/復習内容	授業前に情報処理実習Ｉの復習などをして予習しておくこと。 毎回の小課題は授業内だけでは終わらないので、授業外でも課題に取り組むこと。
教科書	適宜資料を配布する。
成績評価	小課題（30%）、中間課題（20%）、最終課題（50%）
実務経験	なし
その他特記事項	パソコン操作に不慣れな人は、予習と復習を積極的に取り組むこと。 情報処理実習Ｉを履修済みであることが望ましい。

講義科目名称：　情報と社会　　授業コード：　1000054

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
笠　浩一朗			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在の情報社会では、インターネットを日常生活で利用することは必要不可欠になっている。加えて、数理・データサイエンス・ＡＩは、今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている。そこで本講義は、インターネット、数理・データサイエンス・AIのリテラシーに関して学ぶことを目的に、以下の二つの内容を扱う。一つ目は、インターネットにおける情報倫理・リテラシーに関することである。他人の権利を侵すことなく、互いが快適に過ごすためのインターネットの活用方法を解説する。二つ目は、数理・データサイエンス・AIに関することである。数理・データサイエンス・ＡＩを活用した事例を紹介する。また、数理・データサイエンス・ＡＩの利活用にあたり、留意すべき事項について解説する。さらに、データを適切に収集、分析するために、データリテラシーに関して学ぶ。
授業計画	1　　ガイダンス、情報技術の進歩と社会で起きている変化（ビッグデータ、IoT、生成AIなど）

	2　インターネットの仕組み 3　インターネットの利用におけるマナー 4　社会で活用されているデータと情報技術 5　AIの歴史と現在のデータ・AI活用領域の広がり 6　データ・AI利活用のための技術（データ解析、データ可視化など） 7　データ・AI・情報技術の利活用の現場（データサイエンスのサイクル） 8　データ・AI・情報技術の利活用の最新動向（生成AIの仕組みなど） 9　データ・AI・情報技術を扱う上での留意事項１（個人情報とプライバシー） 10　データ・AI・情報技術を扱う上での留意事項２（知的財産権とメディアリテラシー） 11　データを守る上での留意事項１（ネットワーク不法行為） 12　データを守る上での留意事項２（情報技術とセキュリティ） 13　データを読む（データの種類、データの分布、データを読む上での基礎知識） 14　データを説明する（データの表現、データの比較、不適切なグラフ表現、優れた可視化事例の紹介） 15　データを扱う（データの取得、データの集計、データの並び替え）
到達目標	本講義は、現在の情報社会で求められる「インターネット、及び、数理・データサイエンス・ＡＩに関する知識」と、「インターネット、及び、数理・データサイエンス・ＡＩを扱う上で求められる情報倫理」を習得することを到達目標とする。
予習内容/復習内容	授業の最後に次回の講義の内容の一部を紹介するので、予習してくること。 前回の復習の小テストを毎回実施するので、復習しておくように。
教科書	資料を毎回配布する。参考文献は講義内で紹介する。
成績評価	4回(第5回、第9回、第10回、第12回)の小テスト（80%）、課題（20%）
実務経験	なし
その他特記事項	なし

講義科目名称：　体育講義　　授業コード：　2000107

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
川戸　湧也			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	五輪をはじめとするメガ・スポーツイベントに伴って生じた諸問題は、報道で取り沙汰され私たちの生活に入り込んでくる。また近年の生成AIの発展はヒトと機械の境界を曖昧にしたが、私たちは以前として自分の体でしか生きることはできない。本科目では、体育・スポーツ・身体活動に着目して私たちの生活との関わりについて学ぶ。本科目を通して、体育・スポーツ・身体活動に関する教養を深めることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション 2　　スポーツの起こりと近代スポーツ

	3　メガ・スポーツイベントの概要 4　オリパラの歴史と日本の関わり 5　「日本代表」を支える仕組み 6　アスリートを取り巻く諸問題（身体性） 7　アスリートを取り巻く諸問題（メディア） 8　「健康」の概念について 9　生活習慣と疾病 10　スポーツと栄養 11　スポーツ外傷と応急措置 12　トレーニングの基礎（体力の構成要素） 13　トレーニングの方法と計画 14　スポーツの「プレイ」と「修行」 15　まとめ
到達目標	①生活習慣が健康に及ぼす影響について考えることができ、日常生活に応用することができる（知識・技能） ②トレーニングの概念について理解し，筋力トレーニングについての原理原則および方法を実践・説明できる（知識・技能） ③授業で提起された問題について，自らの意見を持ちそれを共有・討議することができる（思考・判断・表現） ④授業に積極的に参加し、体育・スポーツ・身体活動に関する諸問題について考えることができる（主体的に学習に取り組む態度）
予習内容/復習内容	予習：次回の講義に向けて，授業内で提示したキーワードについてあらかじめ調べておく。 復習：毎回の授業後に提示する小レポートに取り組む。
教科書	教科書は指定しない。
成績評価	定期試験（筆記試験）は実施せず、毎回の小レポート（50%）と学期末のまとめレポート（50%）によって成績評定を決定する。 小レポートでは当該時間の目標および内容の理解度について確認・評価する。まとめレポートでは本科目全体を通して得た新たな学び・気づきおよびそれらの理解度について確認・評価する。 ただし、成績評価の対象となる学生は授業の3分の2（10回）以上出席した学生に限り、その基準に満たないものは成績評価を行わない。 なお、就学態度が著しく不良な場合は上記によらず成績評価の対象としない場合がある。
実務経験	該当なし
その他特記事項	特になし

講義科目名称：　体育実技　　授業コード：　2000019　2000025

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	１単位	選択
担当教員			
石川　拓次			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	様々な球技、レクリエーションゲームに親しみ、スポーツの楽しさを体感し、その特性を理解する。また、運動やトレーニングを通して、自らの健康管理や体力作りの方法を習得するとともに、運動を習慣化する態度を身につける。さらにスポーツを通して、社会性、協調性、コミュニケーション力を身につけ、自らの人生におけるスポーツの意義について受講生全体でディスカッションを行い、生涯スポーツの基礎を作る。
授業計画	1　　オリエンテーション・体力測定 2　　バドミントン（1）　基本的なストローク

	3　バドミントン（2）　シングルス総当たり戦1 4　バドミントン（3）　ダブルス総当たり戦2 5　バスケットボール（1）　基本動作（パス, ドリブル, シュート） 6　バスケットボール（2）　男女別の試合 7　バスケットボール（3）　男女混合の試合 8　バレーボール（1）　基本動作（アンダー・オーバーハンド）　ソフトバレーボール 9　バレーボール（2）　ソフトバレーボールによる試合 １０　バレーボール（3）　バレーボールによる試合 １１　卓球（1）基本的なストロークの練習・シングルス １２　卓球（2）シングルス総当たり戦1 １３　ニュースポーツ（1）インディアカ １４　ニュースポーツ（2）アルティメット １５　体力測定・まとめ
到達目標	①　健康の保持増進に加えて、スポーツを通して心身の調和について理解することができる。（知識・理解） ②　それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動を考え、参加することができる。（思考・判断） ③　生涯スポーツを自主的にプラニングする能力と態度を養うことができる。（思考・判断）
予習内容/復習内容	【予習】授業で行う種目について、インターネットや図書でルール等を調べる。（毎回90分程度） 【復習】実施された講義内容についてのリフレクションシートを作成する。（毎回90分程度）
教科書	指定しない
成績評価	定期試験（筆記）は行わない。 授業への積極的態度　30%　体力測定　40%　レポート　30% 評価基準：体力測定は受講生の到達目標すべてに対応して、学修到達度を最終的に確認するためのテストである。レポート課題は、授業内容を踏まえて的確に自己表現できているかを評価する。
実務経験	
その他特記事項	なし

講義科目名称：　生命科学　　授業コード：　1000064

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
狩野　幹人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	生命科学（Life Science）は、21世紀の科学技術を担う重点分野の１つである。2003年、ヒトの遺伝子の解読が終了したが、「いのち」の仕組みの全てが解明されたわけではない。遺伝子外の領域に着目したエピジェネティクス、免疫などの生体防御機構をはじめ、その解明が待たれる研究は現在も世界で継続されている。また、環境問題、生物の多様性などを考えるうえでも、生物学・生命科学の知識が必要となる。 本講義では、生物の基本構造である「細胞」と「細胞」内に存在する「分子」に焦点をあてる。 「細胞」内の「分子」のうち、とくにタンパク質を中心とした機能・役割、細胞から多細胞生物個体への展開、細胞間の情報交換についても解説を加えることにより、生物学の基本的な枠組みを理解してもらいたい。
授業計画	1　　ガイダンス（科学とは？自然科学とは？生命科学とは？を中心に）

	2　細胞の構造 3　細胞の形質、機能 4　細胞の活動 5　タンパク質の役割 6　多細胞生物への展開（1）－細胞間の情報交換 7　多細胞生物への展開（2）－体細胞分裂とDNAの複製 8　免疫システム（1）－生体防御機構の概要 9　免疫システム（2）－T細胞と細胞性免疫 10　免疫システム（3）－B細胞と体液性免疫 11　細胞の再生と死 12　環境の認識、調節 13　生物の進化と多様性、生物多様性条約とは 14　生命科学と知的財産（1）－知的財産とは 15　生命科学と知的財産（2）－生命科学の発展と知的財産の役割
到達目標	①地球上の生物全体に対するマクロな視点と、生物個々の現象に対するミクロな視点を持つ。 ②生物学、生命科学の成り立ちについて、物理学や化学の知識も使いながら、歴史的に捉えられる。 ③生物の基本構造である「細胞」内に存在する「分子」の機能・役割を科学的に理解、説明できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当ページや図表に目を通すなど。 復習：ノートを整理するなどし、講義内容を暗記するのではなく、理解すること。
教科書	「基礎から学ぶ生物学･細胞生物学（第4版）、和田勝、羊土社（2020)」を教科書として用いる。 また講義において、参考文献を紹介するほか、必要な補足資料を随時配布する。
成績評価	①毎回出席をとる（講義終了時に、講義で理解したこと、感想・質問を記入した出席票を提出してもらう)。出席率が3分の2以上の者を成績評価の対象とする。 ②その上で、レポート（2回を予定）により成績を評価する。全体で100%。
実務経験	2022年度から「ナショナルバイオリソースプロジェクト（文部科学省)」における分担機関の課題管理者として従事。グローバルな視点での生物、遺伝資源、それらの多様性についても解説する。
その他特記事項	単なる内容の暗記ではなく、科学的に理解・考えてもらえるよう工夫したい。

講義科目名称：　自然と科学　　授業コード：　1000017

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
松井　博和			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	自然と科学について，いわゆる理系の人でも理解していない現象も，簡単な説明や実験で理解してもらう．講義の間に，毎回の授業において，主として計算問題を解き，レポートとして提出してもらう．これにより，主体的に現象理解に取り組めるようにする．私自身が体験した事象や，ニュースなど世間で注目されるものについて，科学的に説明できるものであれば，適宜授業に取り込む．
授業計画	1　　長さ、速さ、時間などの単位と定義について 2　　天体（地球と月と太陽）について

	3　天体（恒星と惑星）について 4　機械機構（車輪など）について 5　電気（電力量と生活）について 6　私の研究紹介と中間試験 7　光と色について（物理的説明） 8　光と色について（生体的説明） 9　音（周波数・音量・デシベル）について 10　音（音声）について 11　波動と量子力学について 12　生命と遺伝について 13　人工知能について 14　天体（宇宙と科学）について 15　自然と科学についてのまとめ・期末試験について
到達目標	身近な生活の中で体験したり、利用する自然現象や科学技術を理解してもらう。
予習内容/復習内容	予習内容：各学習内容の項目をキーワードにネットなどで簡単に調べてみる. 復習内容：講義内容に対して疑問をまとめる.
教科書	教材・テキスト等は特になく、授業中に用いたプレゼン資料をネット上で取得できるようにする。
成績評価	各回提出する授業内レポート計40(=2点*15回+10)点満点（レポート提出が7回以下は成績不可とする）。中間試験(追試無し)と期末試験で(10:50)の60点満点。合計100点満点で成績評価する。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　心理学　　授業コード：　1000001

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
高橋　彩			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 ■２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	心理学は一般に生活体（人や動物）の行動の科学と言われている。行動は人の内的要因とその人がおかれている環境的要因によって決まるが、こうした行動を引き起こすような心の仕組みや働きを科学的に明らかにし、人間そのものの理解を目指す学問が心理学といえる。この講義では、心理学の各分野の基本的概念について紹介する。心理学の基本的な考え方や、研究方法やその背景などを理解することを目的とする。
授業計画	1　　心理学とはどのような学問か 2　　知覚（大きさの恒常性、錯視）

	3　学習（古典的条件づけ、オペラント条件づけ、観察学習） 4　記憶（短期記憶、長期記憶、記憶の変容） 5　動機づけ（内発的動機づけ、外発的動機づけ、自己効力） 6　感情（感情の機能、ストレス） 7　パーソナリティ（パーソナリティの調べ方、ビッグ・ファイブ理論） 8　臨床　精神的健康 9　知能（知能検査とIQ） 10　思考(推論、ヒューリスティックス) 11　対人認知（印象形成、対人魅力） 12　発達（遺伝と環境） 13　集団１（社会的促進と抑制、集団規範、同調） 14　集団２（リーダーシップ、態度変容） 15　心理学の応用
到達目標	①心理学の基本的な概念、用語を説明できる。 ②人間の行動や心の働きについて、心理学的な視点から理解できる。
予習内容/復習内容	予習：講義中に指示した文献を読む 復習：授業課題で分からなかった部分を調べる
教科書	二宮克美（編著）2017　ベーシック心理学第２版　医歯薬出版　ISBN978-4-263-42223-6
成績評価	定期試験70％と授業内での課題レポート30％で評価する。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　環境論　　授業コード：　1000024

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
南　有哲			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	環境問題は今日、人類が直面する最重要課題のひとつであるとみなされるに至っている。本講義においては、気候変動、生物多様性、原子力問題という3つの大きなテーマについて概観することで、環境問題にかかわるニュースを理解し、環境問題について市民として考察し、発言や行動することを可能ならしめるための、基本的な知識を講じるものである。
授業計画	1　はじめに――講義内容の概要説明 2　気候変動のメカニズム――温室効果とは何か

	3	気候変動のメカニズム―気候システムについて
	4	気候変動の現状と憂慮される未来
	5	再生可能エネルギー概観…そのメリットとデメリットについて
	6	地球温暖化懐疑論を考える
	7	生物多様性と生物進化
	8	生物多様性と生態系サービス
	9	生物多様性破壊の現状と背景
	10	生物多様性破壊がもたらすもの
	11	核エネルギーとは何か――核分裂と核融合
	12	核エネルギーとは何か――原子力発電の仕組み
	13	核燃料サイクルについて
	14	放射線と、その人体・環境への影響について
	15	原発と地震・津波
到達目標	気候変動、生物多様性破壊や原子力問題についての基礎的知識を獲得し、新聞やテレビ・ニュースサイトで報道される内容の基本的な部分が理解できるようになること。	
予習内容/復習内容	予習に関しては、あらかじめ配布した資料の次回該当部分の提示を受け、学習する。復習に関しては、毎回小レポートで当日の講義の振り返りを行い、疑問・質問について次回講義で回答を受ける。	
教科書	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。	
成績評価	毎回小レポート…50% 定期テスト…50%	
実務経験	なし	
その他特記事項		

講義科目名称：　教育学　　授業コード：　1000138　1000139

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
伊東　直人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	教育の暫定的な規定や、子ども達が最初に出会う社会である学校教育の位置・役割について理解するとともに、教育行政の基本原則や教育委員会制度の仕組みについて学習する。さらに、生涯学習社会の構築の必要性とその体制の整備について学ぶ。加えて、実際に就職した際に求められる力量の基礎を身に付けるため、グループディスカッションを行うなど参加型の授業の手法を取り入れ、グループによる課題調査・討論を実施する。
授業計画	1　　オリエンテーション、教育の意義と本質 2　　教育の必要性と可能性

	３　社会化と学校教育の位置・役割 ４　教育関連法制度、及び教育行政機関の役割と学校との関わりについて ５　国における教育政策の動向 ６　教育行政の変容 ７　教育委員会制度の見直し ８　生涯学習体系への移行 ９　学校の経営と学校評価 １０　令和の日本型学校教育 １１　教育の機会均等Ⅰ　義務教育制度を踏まえて １２　教育の機会均等Ⅱ　子どもをめぐる課題を踏まえて １３　学校危機管理 １４　GIGAスクール構想と学校におけるICT活用 １５　子ども・子育て支援制度と幼児期の教育
到達目標	１）教育の暫定的な規定や、子ども達が最初に出会う社会である学校教育の位置・役割について説明することができる。 ２）教育行政の基本原則や教育委員会制度の仕組みを説明することができる。 ３）生涯学習社会の構築の必要性とその体制の整備について説明することができる。 ４）グループ討議・発表において、積極的に議論へ参加することができる。
予習内容/復習内容	最新の教育時事や教育情報収集を日常的に行う。また、事前学習として参考資料等を活用し、まとめを２時間、事後学習として授業スライドのまとめを2時間程度行うこと。講義受講用のノートを作成し、テキスト内容をまとめるなどの事前学習、授業後のまとめを行うこと。
教科書	適宜資料を配布する。
成績評価	最終レポート（40%）、小レポート・授業振り返り（40%）、授業の参加意欲・討議への参加度（20%）
実務経験	18年間の小学校教諭を経て、平成14～21年度指導主事（8年）、平成22～23年度小学校教頭（2年）、平成24～令和元年度小学校長（8年）として勤務
その他特記事項	なし

講義科目名称：　生涯学習論　　授業コード：　2000026

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
長島　洋			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	１　生涯学習の基礎を学ぶとともに、現代的課題をとりあげ、生涯学習の重要性を学びます。 ２　教育基本法　第3条における、生涯学習の理念を学ぶとともに生涯学習社会の実現に向けての様々な取り組みを理解し、自らが生　　涯学習プログラムの作成をします。 ３　地域課題を解決するための、生涯学習プログラムを企画し、地域を見つめなおし、ウェルビーイングの実現に向けた「学び」をとおした具体的プログラムを作成することにより、自分自身が生涯を通して学ぶ重要性を理解します。
授業計画	１　　オリエンテーション　生涯学習とは何か ２　　生涯学習の基礎

	３　　社会教育と生涯学習 ４　　まちづくりと生涯学習 ５　　社会教育施設等と生涯学習 ６　　人権学習と生涯学習 ７　　青少年教育と生涯学習 ８　　防災学習と生涯学習 ９　　ウェルビーイングと生涯学習 １０　　生涯学習プログラムの作成　１ １１　　生涯学習プログラム作成の実際　２ １２　　生涯学習プログラム作成　地域課題　３ １３　　生涯学習プログラムの作成　具体的企画　４ １４　　生涯学習プログラムの作成　企画実施 １５　　生涯学習プログラムの作成　プログラムの完成　試験
到達目標	１　生涯学習について国・地方公共団体等の政策を知ることにより、生涯学習の基礎知識を身につける ２　モデル市町村を選択し、その地域の課題を把握し、その課題解決のための生涯学習プログラムを作成することができる ３　地域の課題解決を学びを通して解決に向けての力をつけ、行動することができる ４　生涯学習を自ずから生涯をとおして実践することができ、生涯学習社会の実現にむけて取り組むことができる
予習内容/復習内容	予習　自らが選んだ、モデル市町村の地域情勢および生涯学習の現状を把握し、情報を取集すること 復習　毎回だされる　課題を整理し、自ら作成するためのプログラムに活かす
教科書	資料は、毎回配布します。 教科書は使用しません。 参考文献については、毎回だされる資料に提示
成績評価	毎授業提出してもらうレポートを全体の６０％を評価します。 各自、作成する「生涯学習プログラム」を全体の４０％を評価します 6回以上の欠席については、無資格となります
実務経験	文部科学省生涯学習局専門職員、国立社会教育研究実践センター　指導主事、三重県教育委員会生涯学習課社会教育主事・主幹、三重県熊野少年自然の家課長、三重県生涯学習センター　所長　三重県社会教育委員、みえ生涯学習ネットワーク　委員長等 生涯学習にかかわる勤務および役職を経て、生涯学習についての実務経験と共に、生涯学習の重要性を理解している
その他特記事項	地域の課題解決に向けた、魅力ある学生のオリジナルな「生涯学習プログラム」の作成を期待しています。

講義科目名称：　差別と人権　　授業コード：　1000089

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
伊藤　信也			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	1.この科目では、基本的人権と差別の問題を考えていきます。人権とは何か、人権はなぜ重要なのか、私たちの人権の実態はどのようになっているのか、その歴史と現状について考えていきます。基本的人権という考え方は、フランス人権宣言などにおいて明文化されてきましたが、こうした人権の歴史的な形成の経過を学ぶとともに、その内容の発展を知ることで、人権の普遍的な意味を考えたいと思います。 2.テーマ別に現代の差別問題について考えていきます。どのテーマから取り上げるかは講義開始時にお知らせしますが、人種差別、性差別、国籍差別、部落差別、「障害者」差別など、世界と日本の様々な差別問題を取り上げる予定です。理解を深めるために、随時映像資料を上映する予定です。
授業計画	1　　講義概説：現代社会と人権

	2　基本的人権の成立史：トーマス・ホッブズの思想と近代人権概念の誕生 3　基本的人権の成立史：宗教改革と自由 4　基本的人権の成立史：近代的人権の特徴と課題 5　基本的人権の成立史：フランス人権宣言への批判者たち 6　基本的人権の成立史：人権から取り残された女性たちのたたかい 7　基本的人権の成立史：人権から取り残された「植民地」「先住民」の実態 8　基本的人権の成立史：現代の人権思想の到達点と課題 9　現代の差別問題：人種差別の歴史と現在～アメリカの場合～ 10　現代の差別問題：「障害者」差別と優生思想～「ナチス」ドイツ、そして日本でも～ 11　現代の差別問題：現代の性差別～「女性差別」から「ジェンダー平等」へ～ 12　現代の差別問題：在日外国人差別と「ヘイトスピーチ」問題 13　現代の差別問題：「部落」差別問題の構造 14　現代の差別問題：感染症の差別問題の歴史 15　21世紀の人権問題への視点を考える
到達目標	①学生は、人権問題の歴史を正しく知り、人権概念の基本的知識を身につけることができる。 ②学生は、現代の差別問題の基本的様相を理解することができる。 ③学生は、「デマ」や「フェイクニュース」に流されず、正確な知識と根拠を知って人権や差別問題と向き合うことができる。
予習内容/復習内容	予習：事前に指示した資料や参考文献に目を通しておく。 復習：毎回、ミニレポートで当日の講義の振り返りを行う。前回のミニレポートについて次回の講義で受講生の意見や質問に答える。
教科書	なし（毎回プリントを配布）。必要な資料等もプリントで配布します。その他、参考文献等は講義中に指示します。
成績評価	1. 講義中に実施する「ミニレポート」（意見提出。配点は約40%） 2. 講義の最終日に提出する「期末レポート」（配点は約40%） 3. 積極的な受講姿勢（配点は約20%）
実務経験	なし
その他特記事項	1.歴史（特に世界史）の知識の多寡は問いません。 2.講義は可能な限り工夫して進めていきます。映像資料はドキュメンタリー・ビデオなどを予定しています。 3.人権問題や差別問題に関心のある受講生の積極的な参加と、教室環境の保持を求めます。

講義科目名称：　ジェンダー論　　授業コード：　1000085

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
松田　いりあ			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この授業では、ジェンダーに関わる私たちの一般的な認識が、一定の歴史的社会的条件下で定着したも のであること、またその認識が世代を越えて伝えられる仕組みを、国内外の事例とともに解説する。 授業は基本的に講義形式で行う。随時授業内課題を実施し、提出された課題をもとに学生とともに考え る機会を設ける。
授業計画	1　はじめに：授業の進め方、成績評価、科目の概要について 2　ジェンダーとは

	3　ジェンダーの社会化 4　ジェンダーと子育て、教育 5　セクシュアリティとは 6　パートナーシップとジェンダー 7　ジェンダーと労働 8　ジェンダーと身体 9　ジェンダーとスポーツ 10　ジェンダーと空間 11　ジェンダーに関する条約、法律 12　「男性性」と男性学 13　広報・広告におけるジェンダー表象 14　ファッション・メディアにおけるジェンダー表象 15　まとめ
到達目標	この授業では、学生が現在のジェンダーをめぐる課題を理解するだけでなく、社会生活全般においてジ ェンダーに関心を持つことが目標になる。
予習内容/復習内容	予習：前回の授業内容の確認。 復習：授業資料や参考文献を参照して、学習内容の理解を深める。不明な点は質問すること。
教科書	教科書は使用せず、担当者作成のスライドを用いる。参考図書等は授業内で紹介する。
成績評価	授業内課題…50%　学期末レポート…50%　全15回のうち10回以上の出席者が成績評価の対象となる。
実務経験	なし
その他特記事項	

講義科目名称：　歴史学　　授業コード：　2000085

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
望月　秀人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	西洋近代は明治時代以来、長らく日本にとっては追いつくべき模範でしたが、現在ではそうした西洋中心主義は批判され、むしろ他地域と対等に比較すべき一対象となっています。本講義ではそうした状況を踏まえつつ、西洋近代社会の成り立ちと展開を概説的に講義することで、日本にとって何を見習うべきであり、何を見習うべきでないのか、学生の皆さんと考えていきたいと思います。
授業計画	1　　ガイダンス：歴史学とは 2　　大航海時代と世界の一体化

	3　宗教改革と宗派分裂 4　宗教戦争と世俗化 5　中世の封建制 6　中世封建制から近世の「絶対王政」へ 7　「絶対王政」の意義と限界 8　フランス革命の勃発 9　「市民革命」と近代国家 10　革命とナショナリズムの時代 11　工業化とその影響 12　第一次世界大戦の衝撃 13　戦後処理方法の変化 14　大恐慌とファシズム 15　近代という時代について
到達目標	西洋近代史の大きな流れを理解でき、日本社会との比較や現代とのつながりが理解できる。
予習内容/復習内容	予習内容は、新聞等で時事問題への関心をもつこと。あとは、授業内容の復習をしてください。
教科書	テキストは特に定めません。毎回のレジュメに掲載されている出典を参考にして下さい。ただ、山川出版社の高校世界史教科書程度のものは持っていた方が良いでしょう。
成績評価	定期試験60%、レポート40%で判断します。試験は紙媒体持ち込み可の論述試験で、講義内容に即して回答するものとします。レポートについては講義の際に説明します。6回以上の欠席はその時点で単位を失うものとします。
実務経験	
その他特記事項	言うまでもなく、講義中の私語や徘徊は原則禁止とします。学生としてふさわしい受講態度をとるようにして下さい。また、時事ネタ等を通じて、社会の課題に敏感になるようにしてください。

講義科目名称：　地理学　　授業コード：　2000032　2000033

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
山崎　智博			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	日本国内を中心にして都市・地域を人文地理学の立場から考察する。私たちが生活している都市や地域は単独で存在しているのではなく他の都市や地域との結びつきの中で存在している。またその内部構造も単一ではなく様々な要素により構成されている。歴史的な経緯を踏まえてこうした結びつきや構造を理解することにより、私たちが生活する地域の特徴や問題を考えていくことができるようになってもらいたい。
授業計画	1　　オリエンテーション（都市・地域の人文地理学） 2　　都市・地域とは

	3　　都市・地域の歴史 4　　都市・地域の結合関係 5　　都市の内部構造 6　　都市の商業・サービス業 7　　都市の工業 8　　都市のオフィス立地 9　　都市・地域の交通 10　　都市のエスニック集団 11　　大都市圏構造 12　　住宅と住居 13　　都市問題・都市計画 14　　都市を歩く 15　　地域・都市の人文地理学まとめ
到達目標	・都市・地域を人文地理学の立場から理解できるようになる。 ・都市・地域の性格や抱えている問題を説明できるようになる。
予習内容/復習内容	予習：講義中に示す文献等に目を通す等。 復習：ノートやレジュメ等の見直し等。
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に提示します。
成績評価	定期試験(80%)、小テスト(20%)で成績評価を行います。 6回以上欠席した場合、試験の受験資格はありません。
実務経験	なし
その他特記事項	1回の授業で1つのテーマを扱う予定です。ただしテーマに関する資料などを使うことにより進度を調整する場合もあります。

講義科目名称：　哲学　　授業コード：　2000084

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
吉本　陵			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現代の科学技術は私たちの社会に大きな影響を与え続けています。この授業では科学技術が私たちの（誕生と死を含む）生命に与える影響に焦点を当て、科学技術時代における生と死の意味という問題について哲学的に考察することを試みます。
授業計画	1　ガイダンス＆イントロダクション 2　哲学的・倫理学的なものの考え方（１）功利主義と義務論 3　哲学的・倫理学的なものの考え方（２）理論を学ぶ意味

	4　現代社会と動物の問題（１）ペットについて 5　現代社会と動物の問題（２）家畜について 6　現代社会と動物の問題（３）肉食について 7　出生前診断と優生思想（１）医療倫理の原則 8　出生前診断と優生思想（２）出生前診断の歴史と現状 9　出生前診断と優生思想（３）旧優生保護法と内なる優生思想 10　脳死臓器移植の倫理（１）脳死について 11　脳死臓器移植の倫理（２）脳死臓器移植について 12　未来に対する責任（１）核燃料サイクルの問題 13　未来に対する責任（２）高レベル放射性廃棄物処分の経緯と現状 14　未来に対する責任（３）高レベル放射性廃棄物処分の課題 15　未来に対する責任（４）「100,000年後の安全」は可能か？
到達目標	科学技術が私たちの（誕生と死を含む）生命に対する影響に関する論点を理解すること。 上記の論点について自ら文献資料を調べ、考えたことを論述できるようになること。
予習内容/復習内容	予習：学習内容に記載されている用語を調べておくこと。 復習：適宜配布する参考文献表を参考にしながら、毎週配布する講義資料の振り返りをすること。
教科書	教科書は使用しない。参考文献は適宜指示する。
成績評価	定期試験(80%)に、平常点(20%)を加味して評価する。
実務経験	
その他特記事項	各回の授業後、講義内容についての基本的な質問に対する解答の提出を求める。平常点はそれをもとに評価する。

講義科目名称：　文学Ⅰ　　授業コード：　1000068

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
今本　幸平			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この講義ではヨーロッパの有名な文学作品を取り上げます。時代も国も、私たちからは遠く離れた作品ですが、そこに描かれる人間の姿は、現代の私たちにも通じる部分が多々あると思います。とはいえ、何の手がかりもなく読んでも分かりにくい部分も出てくると思います。講義では、適宜画像などの資料も使いながら、作者、当時の時代背景、文化など、周辺の事柄も視野にいれつつ、作品をより身近に感じて味わうための要点を示してゆきたいと思います。
授業計画	1　　ガイダンス（講義概要、イタロ・カルヴィーノ『なぜ古典を読むのか』） 2　　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第1幕―出会い

	３　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第２幕―バルコニー・シーン ４　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第３幕―波乱の始まり ５　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第４、５幕―死と和解 ６　シェイクスピア『夏の夜の夢』第1幕―森へ行く人々 ７　シェイクスピア『夏の夜の夢』第２、３幕―妖精のいたずら ８　シェイクスピア『夏の夜の夢』第４、５幕―大団円 ９　ドイツの民衆本『ティルオイレンシュピーゲルのゆかいないたずら』 １０　シェリー『フランケンシュタイン』①怪物の誕生 １１　シェリー『フランケンシュタイン』②人間を追う怪物 １２　シェリー『フランケンシュタイン』③怪物を追う人間 １３　メリメ『カルメン』 １４　デュマ・フィス『椿姫』①出会いと別れ １５　デュマ・フィス『椿姫』②別れの理由
到達目標	①文学作品に親しみ、読書を楽しめるようになる。 ②読んだ作品の要約や意見などを、分かりやすい文章で伝えられるようになる。
予習内容/復習内容	予習：自分が楽しく読める文学作品を見つける。（作者は不問） 復習：講義で紹介した作品を読む。
教科書	教科書は使用せず、資料（本文の抜粋）を配布する。
成績評価	学期末の筆記試験70%、毎回のコメント30%。欠席が５回を超えた場合は成績評価の対象外。講義開始20分以降の入室は欠席扱いとする（列車遅延等の不可抗力は除く）。
実務経験	
その他特記事項	取り上げる作品と講義の順序は予告なく変更する場合がある。 「文学Ⅰ」と「文学Ⅱ」はどちらを先に履修しても構わない。どちらか一つだけの履修も可。

講義科目名称：　文学Ⅱ　　授業コード：　2000059

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
今本　幸平			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この講義ではドイツ語圏の文学作品を取り上げます。難しそうな印象があるかもしれませんが、文学の読み方に正解はないので、皆さんの理解が及ぶ範囲で、等身大の読み方をしてください。講義では文学作品をすこしでも身近に感じてもらえるように、適宜映像などの資料も使い、作者、当時の社会背景、文化などの周辺事情も視野に入れて、作品の紹介をしてゆきます。
授業計画	1　　ガイダンス（講義概要、文章作成上の注意点） 2　　ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第1部―恋の苦しみ

	３　ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第２部―新天地での苦しみ ４　ドイツの民衆本『ファウスト博士』 ５　ゲーテ『ファウスト　悲劇』第１部前半―学者悲劇 ６　ゲーテ『ファウスト　悲劇』第1部後半―グレートヒェン悲劇 ７　ゲーテ『魔王』 ８　グリム童話 ９　シャミッソー『影をなくした男』 １０　ホフマン『砂男』 １１　シュピーリ『ハイジの修業遍歴時代』 １２　シュピーリ『ハイジは習ったことを役立てる』 １３　カフカ『変身』 １４　シュリンク『朗読者』第1部―出会い、朗読、別れ １５　シュリンク『朗読者』第２、３部―秘密
到達目標	①文学作品に親しみ、読書を楽しめるようになる。 ②読んだ作品の要約や意見などを、分かりやすい文章で伝えられるようになる。
予習内容/復習内容	予習：自分が楽しく読める文学作品を見つける。（作者は不問） 復習：講義で紹介した作品を読む。
教科書	教科書は使用せず、資料（本文の抜粋）を配布する。
成績評価	学期末の筆記試験70%、毎回のコメント30%。欠席が５回を超えた場合は成績評価の対象外。講義開始20分以降の入室は欠席扱いとする（列車遅延等の不可抗力は除く）。
実務経験	
その他特記事項	取り上げる作品と講義の順序は予告なく変更する場合がある。 「文学Ⅰ」と「文学Ⅱ」はどちらを先に履修しても構わない。どちらか一つだけの履修も可。

講義科目名称：　美学　　授業コード：　1000074

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
岡野　智子			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	日本の調度や衣装には、古来様々な意匠=デザインが施されてきた。それらは四季折々の花鳥風月をはじめ、物語や和歌などの古典文学などとも深い関わりをもつ。 本講義では日本の美意識を象徴する意匠の成立と展開につき、絵画や工芸品を通じて多方面から考察、人々の暮らしや人生、社会における美の在り様に理解を深める。
授業計画	1　　オリエンテーション・１－１　日本の美－その成立と展開－　入門編 2　　１－２　日本の美－その成立と展開－　縄文時代～平安時代

	３　　１－３　日本の美－その成立と展開－　鎌倉時代～桃山時代 ４　　１－４　日本の美－その成立と展開－　江戸時代 ５　　２　吉祥の意匠－福を招く意匠－ ６　　３　桜の意匠－花への想いとその表象－ ７　　４　涼を呼ぶ意匠－実用と装飾の出会い－ ８　　５　秋を彩る意匠－情趣と洗練の美－ ９　　６　冬を楽しむ意匠－雪の姿さまざま－ １０　　７－１　月次の花鳥と行事－歌絵の広がり－ １１　　７－２　月次の花鳥と行事－江戸に息づく伝統－ １２　　８－１　『伊勢物語』の意匠－物語絵の展開－ １３　　８－２　『伊勢物語』の意匠－燕子花と問えば－ １４　　９－１　『源氏物語』の意匠－名場面の絵画化－ １５　　９－１　『源氏物語』の意匠－留守模様に遊ぶ－
到達目標	伝統的な意匠への知見を深め、講義毎に作品と対峙して自己の内なる感性を培い課題に表し、その積み重ねを以て自己の美意識を豊かに築き明確に表現する力を養う事ができる。
予習内容/復習内容	予習：各回のテーマに基づき、日本の美術品の中で該当すると思われる作品を検索、イメージを把握しておく。 復習：各自で美術館・博物館等で実作品を鑑賞し、授業内容を振り返りつつ作品と向き合う経験を通して自らの「見る力」を養う（経費は自己負担、自己責任で行う）。さらに展覧会カードに感想をまとめ、提出することを強く推奨する。
教科書	教科書は使用しない。資料を毎回配布。
成績評価	①授業出席時に提出するコメント内容50％　②展覧会等の見学レポート内容20％ ③期末レポート内容30％（②については比率を③と調整することがある）
実務経験	
その他特記事項	オリエンテーションで重要な連絡を行う。受講希望者は必ず初回の授業に出席し、そこで提示の受講注意に同意の上、履修すること。毎回講義で触れた作品の中から手書きでコメント提出を求める。期末レポートも手書きで詳細な記述を求める。受講者は提出回数が原則として１０回以上の者のみ③の提出資格が得られる。

講義科目名称：　比較文化論　　授業コード：　1000090

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
嶋田　宏司			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	1850年頃からヨーロッパ、特にフランスで起こったレアリスム（写実主義）から印象主義への展開を概観したあと、印象主義を取り入れた日本の洋画に目を転じます。この明治期の日本の洋画界では留学組の黒田清輝をリーダーとして、印象主義を穏やかな写実主義に取り合わせた絵画が主流として現れます。日本の洋画家たちは、さらにヨーロッパにおける他の美術（アール・ヌーヴォー、ポスト印象主義、フォーヴィスム、キュビスム）を研究しながら、新しい表現を次々に開発していきます。授業では、より詳しい美術史については時間的に難しいのですが、よく知られている印象主義の技術的・理論的側面を知り、明治・大正期の画家たちの努力や新発想を理解してもらえることと思います。この授業の過程で、作品をしっかりと観察する、その内容を言葉にする、という作業もあわせて行います。
授業計画	1　　レアリスム（写実主義）そしてギュスターヴ・クールベ 授業の初回として、レアリスムという美術史用語について「写実主義」ないしは「自然主義」の

		解説から始めます。そして続く印象主義までが、この考え方で理解できること、さらに明治期の日本にフランスへの留学を通じて、西洋近代の絵画が本格的に入ってくることを説明します。これらのフランス近代の絵画では、風景画をおもに扱います。そうして日本の洋画界において、この「写実」を乗り越えて自由な個人の感性と創意に発した美術が展開してゆくことを概説します。このような前段階からいよいよ個人の画家の作品を観察してゆくことにします。第1回目はギュスターヴ・クールベです。
	2	ギュスターヴ・クールベ：初期代表作品の観察 クールベの初期の代表的な作品を詳細に観察します。作品を「詳しく観察する」ことで、絵というものの主題内容を把握・理解するということが可能である、と気づいてもらうことが初回の主眼です。そしてクールベに関連する資料も引きながら、彼独自のレアリスム（写実主義）を考察します。
	3	バルビゾン派（１）：森林地帯の風景を描いた画家たち クールベとも交流があった、バルビゾン派の画家たちを扱います。ここには約七人の画家がいるので、そのうちから二ないし三人を選んで授業で扱います。バルビゾン派は森林地帯の村バルビゾンに暮らして、主に風景画を描きました。彼らの自然風景の扱い方を観察し、この画家たちと関わっていた若い世代の中から、どうして印象主義の画家たちが出てきたのか、それを考えることがバルビゾン派を取り上げる理由です。
	4	バルビゾン派（２）：水辺の風景を描いた画家たち バルビゾン派との付き合いがあり、水面のある風景の描き方に特徴のあるウジェーヌ・ブーダン、ヨハン・バルトルト・ヨンキントを取り上げます。そのことで次の印象派へのつながり、つまり色彩の新技法が確立される前段階を作品の中に見出していきます。
	5	クロード・モネ（１）：モネと印象主義の要点 印象主義を生涯にわたって追求した画家、クロード・モネを取り上げます。まずは略歴を紹介し、印象主義的特徴を明確にしてゆくモネの制作の要点をつかみます。
	6	クロード・モネ（２）：印象主義的技法（色調分割）の確立 モネの初期作品を観察しながら、やがて印象主義へとつながってゆく、彼の風景の観察方法について考察します。この回でとくに重要なことは、モネと友人のオーギュスト・ルノワールによって新しい色彩の技法が確立されてゆくことです。この理論的な内容と作品をもとにした実践の様子を見てゆきます。
	7	黒田清輝（１）：初期作品の観察ー西洋式の人体デッサンの習得と発展、そして外光派 法律を学ぶためにフランスに留学しながら、途中で画家に転向した黒田清輝ですが、当時主流となりつつあったレアリスムと印象主義を経験します。彼の制作は外光派とも呼ばれる、印象主義的な技法をわずかに取り入れた穏やかな写実でした。しかし、帰国後に東京美術学校の教授職につくと、彼が学んできたフランスの新しい美術を後進に伝え、日本の洋画壇を刷新していきます。この授業計画に書かれてある黒田以降の画家たちは、全て彼と関係がありました。そうした黒田の略歴を紹介し、初期作品を観察してゆきます。
	8	黒田清輝（２）：日本の画家が西欧的な絵画を制作するということ 黒田清輝の前期および後期の代表的な作品を観察し、彼が日本の洋画界に伝えた新しい美術の内容、そして黒田作品のサインの仕方、また人体デッサンの特質から日本の洋画における問題点を考察します。
	9	藤島武二（１）：年譜とデザイン的な初期作品ー西洋と日本の意匠 津の中学校で教鞭を執っていたこともある藤島武二を取り上げます。藤島は黒田清輝に引き立てられて東京美術学校で教授職に就きますが、黒田の芸術を尊重しながらも彼自身の性質に合った作品を創作します。こうした藤島の生涯を概観し、彼の初期制作におけるデザイン的な要素を観察します。
	10	藤島武二（２）：日本古代文化をテーマにした「洋画」という制作方法 藤島が天平時代の文化を洋画の技法・構成で描いた《天平の面影》を中心に観察します。その中で藤島独自の性質を表す創作の特徴を考察します。
	11	青木繁（１）：初期神話作品、そして西洋美術の刺激 黒田清輝の教え子であり、尊敬してはいたものの、黒田とは異なる独自の芸術構想を抱いて創作を続けた、青木繁の生涯をまず概観します。そして、神話を主題にした作品にオリジナリティーを発揮する、青木の初期作品の観察を行います。
	12	青木繁（２）：問題作《わだつみのいろこの宮》と西洋的な構図法、そして後期作品の観察・評価 青木の短い画家人生の中でも問題作とされる《わだつみのいろこの宮》を中心に取り上げ、西洋的な描写と構図における独自のアイディアを考察します。この作品の不評を機に、青木は失意の中で放浪生活を送ることになるのですが、それにもかかわらず風景画においては光の感受に優れ、色彩の感覚はみずみずしさを保ちます。こうした内容を後期の作品に観察してゆきたいと思います。
	13	萬鉄五郎（よろず　てつごろう）（１）：初期制作の人体デッサンにおける日本洋画界への問題提起 造形（色の塗り方や形の作り方など）において日本の美術に見られなかったフォーヴィスムやキュビスム、また表現主義といった、ヨーロッパの新しい潮流をいち早く取り入れながら、一方で人体形式の描写に日本独自の内容も盛り込もうとした画家、萬の初期作品を紹介します。
	14	萬鉄五郎（２）：日本的モダニズムのさきがけとなる絵画制作と東洋的な文化への回帰 萬が人体をキュビスムあるいは構成主義的に描いた後期作品を取り上げて観察し、技法や造形の新しさを考えます。また、萬は東洋的・日本的な南画も手がけるようになってゆきます。そこで日本の洋画家が西洋的な絵画から離れる、という意義も考察したいと思います。
	15	授業内容の振り返り これまでの作品観察や主題内容の考察をまとめて、ヨーロッパの初期モダニスムが日本で独自の発展を遂げてきた様を改めて俯瞰したいと思います。
到達目標	美術作品を前にして、芸術家の表現と意味内容をつかむためにも重要な「自覚的に作品を観察」する方法を知り、より理解を深めるために「観察結果をもとにして作品を記述する（言葉でとらえる）」ということを目標にしたい。この到達度は期末のレポートで問うことにする。	
予習内容/復習内容	配布する資料を読み、授業を受けて三重県立美術館や名古屋の美術館を訪れたり、図書館などで知識を定着させ、いっそう芸術についての理解を深めてください。展覧会の紹介もしますので、実作品を見る（これは作品の調査になります）ことに努めてください。	

教科書	教科書は使用せず、独自の参考資料を配布する予定です。
成績評価	授業内容に相応する期末レポート90%、授業についての関心の持ち方（授業中のこちらからの質問に対する反応、あるいは終了時になされる質問など）10%。ただし学校の規定にもとづいて、授業回数の3分の１を超える欠席（約６回以上）がある場合には成績評価の対象外となります。
実務経験	
その他特記事項	授業の進度は各時間のテーマの重要度によって異なります。学生の理解の様子に応じて調整しますので、シラバスとは異なる場合があることを承知しておいてください。

講義科目名称：　自治体行政特論　　授業コード：　2000055

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
石原　洋介			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 ■３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この講義は、津市長をはじめ津市の職員によるリレー式の講義であり、本学の「地域連携講義」の一つとして行われる特色ある講義である。また、地方議会の傍聴も予定しており、自治体行政の仕組み等を理解することが，本講義の目的となる。 法経科では行政法、行政学、地方政治論、財政学など地方行財政を取り扱う講義科目、生活科学科では、地域政策論、地域福祉論、地域環境学、都市計画論、環境政策論など、自治体行政に関わる講義科目があり、それらをあわせて受講することで理解が深まる。無論、自治体行政に関心のある食物栄養学科の学生の履修も歓迎する。
授業計画	1　　オリエンテーション、津市の概況、防災について（防災室）

	2　　津市の政策について（政策財務部） 3　　財政について（政策財務部） 4　　津市シティプロモーション（広報課） 5　　都市計画について（都市計画部） 6　　参加と協働のまちづくりについて（市民部） 7　　津市の教育について（教育委員会事務局） 8　　津市の福祉について（健康福祉部） 9　　選挙について（選挙管理）、津市議会傍聴にむけて 10　　文化・スポーツについて（スポーツ文化振興部） 11　　産業振興（農林水産業）について（農林水産部） 12　　産業振興（商工業／観光）について（商工観光部） 13　　産業振興（商工業／観光）について（商工観光部） 14　　津市議会傍聴【12月】※津市議会HPの映像配信の視聴 15　　自治体経営（市長）
到達目標	津市をモデルに現在の地方行政に関する施策や課題などを学び、地方自治体に関する基礎知識を深めることができる。
予習内容/復習内容	予習：各講義内容について津市HP等を活用し、担当部課の業務内容に目を通しておくこと。 復習：毎回配布する資料を復習するとともに、講義中の重要なキーワードを理解しておくこと。
教科書	教科書・参考文献の指定はない。 毎回の講義時に配布される各講師が準備したレジュメ・資料をもとに進めていく。
成績評価	出席時の講義ノート（60%）、議会傍聴レポート（40%）を併せて評価。 1/3を超えて欠席した場合は評価の対象外とする。
実務経験	講師は、現職の津市長をはじめ各課の専門職員であることから、それぞれの専門分野で実務を経験し各種の専門計画・事業に携わっている。授業では、これらの実務経験を活かし、実践的で具体的な自治体行政の基礎知識が修得できるよう講義を行う。
その他特記事項	毎回、講義の概要、感想等をまとめた「講義ノート（A4判）」を提出する。 12月津市議会を傍聴し、「議会傍聴レポート（A4判）」を提出する。 講義の順序や内容は、講師の都合により変更の可能性がある。

講義科目名称：　キャリア形成セミナー　　授業コード：　1000062

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
古畑　淳			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 ■３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	・職場、家庭、地域の構成員として、将来の自分自身の在り方を考えます。 ・多様な分野の専門家、人生の先輩たちの話を通じて、自分自身の人生を選び取っていく能力を身に着けます。 ・講師は毎回変わる「オムニバス形式」です。 ・各講師の仕事や人生観について具体的に触れながら、自分自身の職業観、人生観を獲得し、今後の進路選択に役立てます。
授業計画	1　　ガイダンス（学生部長）/就職活動と目標設定 2　　起業について

	3　企業から求められる人材とは 4　地域を知る、地域で働く 5　プログテスト解説会 6　ライフプランとプレコンセプションケアについて 7　変化の激しい時代にやるべきこと 8　税を知る 9　防災とまちづくりに関わる 10　ライフプランと金融リテラシー 11　地域とゲーム～遊びと学びの仕組みをつくる仕事 12　中小企業と信用保証協会の役割 13　労働関連の法律を知る 14　公的年金制度を学ぶ 15　まとめ
到達目標	全講義を通じて学ぶことで、自分自身のキャリアイメージを形成していきます。毎回の小レポート、最後のまとめレポートを執筆することで、文章を簡潔にまとめ、適切に表現する能力を身に着けることをめざします。
予習内容/復習内容	事前に告知された各講師のテーマについて調べ、配布されるワークシートやレポート執筆のためのメモを復習してください。
教科書	テキストは使用せず、毎回、各講師から配布される資料を使用します。
成績評価	毎回小レポート（14回分）…70%　まとめのレポート…30% 6回以上欠席した場合、評価の対象外とします。
実務経験	各分野の専門職や行政機関職員といった方々やそれぞれの実務経験から獲得された職業観や人生観、現在の職業を選択するにいたった経緯などをお話しします。
その他特記事項	２０２５年４月の開講時点で、あらためてシラバスを配布する予定です。 １年生の履修を原則とします。

講義科目名称：　単位互換科目Ⅰ　　授業コード：　3000000

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期／後期	全学年	１・２	選択
担当教員			
古畑淳			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	三重県内の高等教育機関が参加する「高等教育コンソーシアムみえ」が実施する単位互換制度を利用し、本学以外の高等教育機関で履修した科目を最大２科目まで、本学の「単位互換科目」（共通科目）の単位として認定します。 ①個別の科目の内容・方法および到達目標は、当該科目を開設している高等教育機関が公表しているシラバスを参照してください。 ②単位互換の対象科目やその履修申告方法は、掲示または「高等教育コンソーシアムみえ」のホームページにある「単位互換に係るポスター」を参照してください。ただし、解放科目一覧に掲載されている科目のうち、「三重学（食と観光実践）」、「日本理解特殊講義（医療・健康・福祉実践）」、「現代社会理解実践

	（次世代産業実践）」及び本学の開設科目（自治体行政特論）については、本学のカリキュラム上、単位互換制度とは別枠での履修となります。 ③単位互換科目は、履修科目が開設されている高等教育機関において受講することになります。授業料は無料（一部体験型授業を除く）ですが、交通費や受講に伴い発生する諸費用は各自の負担となります。また、本学の履修の妨げにならないよう、開講時間等を事前によく確認してください。履修申告の時期や方法についても、高等教育機関によって異なるので、ご注意ください。
授業計画	
到達目標	単位互換制度は、県内各高等教育機関が開設する特色ある授業科目を他の高等教育機関で学ぶ学生に解放することによって教育課程の充実、学生の幅広い視野の育成、学習意欲の向上を図ることを目的としています。
予習内容/復習内容	科目によって指示が異なるので、科目に応じて予習・復習を行ってください。
教科書	科目によって異なります。
成績評価	科目によって異なります。
実務経験	
その他特記事項	①単位互換科目の履修を希望する学生は、学生部または学生部長までご相談ください。 ②「高等教育コンソーシアムみえ」のホームページをご参照ください。 ③単位互換制度で単位取得可能な科目数の上限は２科目です。ただし、「農林体験セミナー」、「食と観光実践」、「次世代産業実践」、「医療・健康・福祉実践」は単位互換制度とは別枠として扱います（単位互換制度の２科目とは別に履修可）。

講義科目名称：　単位互換科目Ⅱ　　授業コード：　3000001

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期／後期	全学年	１・２	選択
担当教員			
古畑淳			
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	三重県内の高等教育機関が参加する「高等教育コンソーシアムみえ」が実施する単位互換制度を利用し、本学以外の高等教育機関で履修した科目を最大２科目まで、本学の「単位互換科目」（共通科目）の単位として認定します。 ①個別の科目の内容・方法および到達目標は、当該科目を開設している高等教育機関が公表しているシラバスを参照してください。 ②単位互換の対象科目やその履修申告方法は、掲示または「高等教育コンソーシアムみえ」のホームページにある「単位互換に係るポスター」を参照してください。ただし、解放科目一覧に掲載されている科目のうち、「三重学（食と観光実践）」、「日本理解特殊講義（医療・健康・福祉実践）」、「現代社会理解実践

	（次世代産業実践）」及び本学の開設科目（自治体行政特論）については、本学のカリキュラム上、単位互換制度とは別枠での履修となります。 ③単位互換科目は、履修科目が開設されている高等教育機関において受講することになります。授業料は無料（一部体験型授業を除く）ですが、交通費や受講に伴い発生する諸費用は各自の負担となります。また、本学の履修の妨げにならないよう、開講時間等を事前によく確認してください。履修申告の時期や方法についても、高等教育機関によって異なるので、ご注意ください。
授業計画	
到達目標	単位互換制度は、県内各高等教育機関が開設する特色ある授業科目を他の高等教育機関で学ぶ学生に解放することによって教育課程の充実、学生の幅広い視野の育成、学習意欲の向上を図ることを目的としています。
予習内容/復習内容	科目によって指示が異なるので、科目に応じて予習・復習を行ってください。
教科書	科目によって異なります。
成績評価	科目によって異なります。
実務経験	
その他特記事項	①単位互換科目の履修を希望する学生は、学生部または学生部長までご相談ください。 ②「高等教育コンソーシアムみえ」のホームページをご参照ください。 ③単位互換制度で単位取得可能な科目数の上限は２科目です。ただし、「農林体験セミナー」、「食と観光実践」、「次世代産業実践」、「医療・健康・福祉実践」は単位互換制度とは別枠として扱います（単位互換制度の２科目とは別に履修可）。

講義科目名称：　農林体験セミナー　　授業コード：　1000155

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	2	選択
担当教員			
石原　洋介			
	実習・講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	①農場コース（土は生きている） ・土は、自然環境の構成要素としての側面と食糧生産の基盤としての側面を併せ持つ。水田、畑地、果樹園、茶園、畜産ならびに農産物加工などの学習を通して、作物生産において土が示す両側面の相互関係について理解するとともに、両側面の持続的発展の方向を探る。また、地域の特産物を講義対象とすることで、三重の地域農業・社会との関わりに気付き、地産地消の精神を学ぶ。 ②演習林コース（森は生きている） ・源流域の森林環境の成り立ちや仕組みを理解し、流域環境保全における森林の重要性について現場教育を通して体験的に学習するため、三重大学で最大面積を占める平倉演習林（津市美杉町）において３日間の実地演習・講義を実施する。林業の実際と林産加工の実践について学ぶ。 ・森林で安全に行動するための基本を学び、また、演習林の役割や自然状態が維持されている現場で山地・森

	林・渓流の意義を理解する。また、林業の実際と林産加工の実践を学ぶ。特に近年の学生に不足しがちなホンモノの自然環境のなかでの実体験に裏打ちされた、感性、知的好奇心、行動力、課題発見力、問題解決力を培い、将来、社会行政、自然環境、教育研究、医療福祉、地域づくりなどに関わるための基礎知識と感性を身につける。 ・土と食糧生産の関係について三重の地域特産物を素材にし入門的かつ包括的知識を獲得する。
授業計画	第1-15回　　農場コース（土は生きている） 開講期間（予定）：2025/8/27（水）-29（金）の２泊３日 開講場所：附属農場 第 1回　授業の概要説明 第 2回　三重の特産農産物の概要 第 3回　ダイズの栽培管理 第 4回　世界と日本の食料事情 第 5回　イネの収穫 第 6回　肉牛（松阪牛）の肥育管理 第 7回　豆腐作り 第 8回　食の安全・安心と社会 第 9回　茶（伊勢茶）の加工Ⅰ（茶の栽培、歴史、加工の原理など） 第10回　茶（伊勢茶）の加工Ⅱ（茶の加工の実践） 第11回　ウンシュウミカン（南紀ミカン）の栽培管理Ⅰ（一年を通したウンシュウミカンの栽培管理の概要） 第12回　ウンシュウミカン（南紀ミカン）の栽培管理Ⅱ（摘果、水管理など栽培管理の実践） 第13回　うどん作りⅠ（うどん作りの歴史、加工の原理など） 第14回　うどん作りⅡ（うどん作りの実践） 第15回　授業の総括 第1-15回　　演習林コース（森は生きている） 夏期休暇中に３日間で実施（例年９月中）、日程は別途アナウンス。 １回目～５回目（1日目）： 演習林の概要，宿舎利用に関する注意事項の説明 森林の多面的機能についての林内学習 天然生林・二次林の林分構造と植生観察 紀伊半島暖温帯に位置する演習林の特徴的な樹木を覚える 人工林施業の解説，渓流沿いの土砂災害見学 ６回目～１０回目（2日目）： 日本の森林・林業の課題解説 身近な木製品とトレーサビリティについて調べる 林業体験：人工林内での間伐・伐倒から玉伐り 林産加工：コースター加工，丸太ベンチ製作 １１回目～１５回目（３日目） 環境学習：涼しい森林渓流環境での散策学習とふりかえり レポート作成 ディスカッション，最終レポート作成. 帰路：木材市場などを経由し帰学 ※山歩きができる服装・靴で参加して下さい。また、天候の急変に備え雨具・防寒も十分に考慮して下さい。 警報発令時は大学の基準により対応します。
到達目標	①農場コース（土は生きている） ・土と食糧生産の関係、三重の地域特産物の歴史と現在、食糧を取り巻く世界ならびに国内情勢、食の安全・安心などに関する認識を高めることで、農や食を正しく理解する。 ②演習林コース（森は生きている） ・平倉演習林で３日間の学習をとおして、１）森林環境と森林資源が広く人間生活を支えていることを知る。２）地球上の自然環境は有限だが維持再生可能な部分もある。自然災害や環境荒廃を避け持続可能な範囲で利用することを学ぶ。３）森林で安全に行動するための基本を学ぶ。　４）演習林の役割や自然状態が維持されている現場での教育・研究の重要性を理解する。
予習内容/復習内容	①農場コース（土は生きている） 予習：moodleに授業で使用する資料（テキスト、記事、動画、外部URLなど）を予め載せておくので、予習をしておく。 復習：授業項目で課される課題について、授業内容を基に授業で使った資料に加え、関連事象を自分で調査するなど復習をしておく。 ②演習林コース（森は生きている） 予習：森林・林業林産業・環境保全に関する話題や時事問題について調べておく。具体的なテーマ・キーワードを事前に示すので，課題に沿った予習を行い各自プレゼンテーションができる準備をしておく。 復習：授業項目で示される課題について、講義・実習の学習内容をふまえて最終レポートにまとめること。 ※映画「WOODJOB!」のロケ地となった当演習林と周辺地域が学習対象です。以下を見ておくことをお勧めします。 １）三浦しをん著「神去なあなあ日常」 ２）映画「WOODJOB!」のDVDまたはBD ※1,000 m級の峰々に囲まれ、天の川や流れ星などのスターウォッチングに適しています。夏の星座について予習し、比較のため都市域の夜空を見ておくこと（宿泊可能な状況のみ）。
教科書	①農場コース（土は生きている） なし。 ②演習林コース（森は生きている） 必要に応じ資料等を配布する。
成績評価	①農場コース（土は生きている） ・レポートならびに授業態度を総合判断する。

	②演習林コース（森は生きている） 演習への取り組み態度(50%)、レポート(50%)。
実務経験	①農場コース（土は生きている） なし ②演習林コース（森は生きている） 渕上佑樹：京都府地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民会議）で2004年から2015年まで勤務。京都府内の温暖化防止に向けた取り組みをサポートする組織で、森林の多面的機能のうち地球環境保全機能に関連する活動を行っていました。具体的には、木材の地産地消を促進するための産地認証制度の制度設計業務、制度運営に関するコンサルティング業務、普及啓発業務などです。
その他特記事項	・この授業科目は、三重大学の夏季集中授業に本学の学生も参加し、生物資源学部の農場や演習林での講義・実習・体験学習を行うものです。本講義は、①農場コースと、②演習林コースの2コースがありますが,両コースを同時受講はできません。 ・演習林コースの日程は、三重大学から発表があり次第掲載します。 ・天候等の状況により日程が変更になる可能性があるので、ご注意ください。 ・希望者多数の場合は選考により受講生を決定します。 ・受講生を対象とした事前ガイダンスがあります（日程後日通知）。必ず参加してください。 ・受講要件　学生教育研究賠償責任保険に加入すること。

講義科目名称：　食と観光実践　　授業コード：　2000114

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	選択
担当教員			
石原　洋介			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本実習では、一連の伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ～Ⅳでの講義を踏まえ、地域における多様な課題解決へ向けた活動を現場で体験的に理解することを目的とした実習科目である。履修登録後、複数の中から参加プログラムを選択する。
授業計画	第１回　説明会 予習：説明会の日程を掲示板などで確認する（約１５分） 復習：事前説明の小括（約１５分） 第２回　各実習地（または学内）でのガイダンスに参加する 予習：集合時間、注意事項などを予め確認する（約１５分） 復習：ガイダンス内容の小括（約１５分）

	第３回　各実習地において地域課題の背景を体験的に学修する 予習：事前に地域課題の背景を確認する（約１５分） 復習：各実習地の地域課題の背景の小括（約１５分） 第４回　各実習地において地域課題の現状を体験的に学修する 予習：事前に地域課題の現状を確認する（約１５分） 復習：実習地の地域課題の現状の小括（約１５分） 第５回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（生活機能の強化等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（生活機能の強化等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（生活機能の強化等，約１５分） 第６回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（商工業の振興等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（商工業の振興等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（商工業の振興等，約１５分） 第７回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（観光の振興等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（観光の振興等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（観光の振興等，約１５分） 第８回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（農林漁業の振興等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（農林漁業の振興等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（農林漁業の振興等，約１５分） 第９回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（地産地消の推進及び地場産品のＰＲ等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（地産地消の推進及び地場産品のＰＲ等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（地産地消の推進及び地場産品のＰＲ等，約１５分） 第１０回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（地域情報の共有化及び発信等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（地域情報の共有化及び発信等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（地域情報の共有化及び発信等，約１５分） 第１１回　各実習地において地域課題解決策や地域に関する業務・調査などについて体験的に学修を行う（圏域内人材の育成等） 予習：事前に指示された実習内容、行動予定を確認する（圏域内人材の育成等、約１５分） 復習：各実習内容の小括（圏域内人材の育成等，約１５分） 第１２回　各実習地における実習内容を受け入れ機関や地域などにフィードバックするための準備を行う（発表資料など） 予習：事前に指示された実習内容のフィードバック方法の準備（発表資料など、１５分） 復習：各実習内容のフィードバックの準備の小括（発表資料等、約１５分） 第１３回　各実習地における実習内容を受け入れ機関や地域などにフィードバックするための準備を行う（口頭発表内容等） 予習：事前に指示された実習内容のフィードバック方法の準備（口頭発表内容等、１５分） 復習：各実習内容のフィードバックの準備の小括（口頭発表内容等、約１５分） 第１４回　各実習地においてこれまでの内容を受け入れ機関や地域などにフィードバックする 予習：実習内容のフィードバック内容の最終確認（１５分） 復習：各実習地において体験した地域課題解決・方法小括（１５分） 第１５回　各実習地における実習内容全体のまとめ 予習：本実習における実習内容の振り返りのための資料の整理（１５分） 復習：本実習の総括的まとめ（１５分）
到達目標	①コミュニケーション能力（提案する取組の内容、合理性、効果、実行可能性を他者に伝達できる／他者と協働して活動に取り組み、その内容について建設的なディスカッションができる）。 ②実行力・解決力取組のプロセスを実行できる能力（取組を自発的・継続的に実行できる）。
予習内容/復習内容	各実習において予習・復習の指定あり。詳しくは授業計画を参照すること。
教科書	なし
成績評価	実習作業への取り組み８０％、レポート２０％で評価する。
実務経験	
その他特記事項	・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目である。皇學館大学が実施する実習に他大学生と共に参加する。 ・授業計画は現時点での学習内容であり、実際の授業実施に際しては受け入れ先との調整の上、変更の可能性もある。 ・履修希望者多数の場合は、選考により履修者を決定する。 ・学外での実習科目であり、また宿泊を伴うことがあるので自律的な生活態度及び積極的な姿勢で取り組んでほしい。 ・事前事後課題や課題の講評については、manaba（学修支援ツール）を利用する。実習の進捗に伴い、適宜フィードバックをおこなう。 ・学生教育研究賠償責任保険には必ず加入すること。その他交通費などの自己負担が発生する可能性がある。

講義科目名称：　次世代産業実践　　授業コード：　2000115

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2	選択
担当教員			
石原　洋介			
	実習・講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	・近年、社会のデジタル化が著しく発展しており、社会変革の転換点となっている。様々なデジタルツールが、個人でかつ無料で提供され、時間や労力のかかっていた知的生産物は苦労することなく瞬時に生み出せるようになってきた。AIを用いたデジタルツールは多様化が進み、熟練した技術や知識が無くともクリエイティブな仕事ができるようになる。しかしながら、一方ではこのデジタル化の変化に適応できなければ、社会で必要とされる能力を獲得できない可能性が高い。そのような変革期において、最先端のデジタル技術に触れ、それらを実践的に利用することで、今後ますます加速する情報化社会の変貌に対し、次世代を担う三重創生ファンタジスタとして備えるべき発想力と実践力を学ぶ。 ・次世代の技術が一般化した社会構造に適応する人材を育てるため、最先端のデジタルツールを実践的に駆使し、課題の解決に導ける人材を育成する。三重大学が所有するコモンスペースであるCeMDSには、ものづくりから動画制作、メタバースなどが体験できるハードとソフトが設置されている。これらのツールに触れること

	で、未来の産業の可能性を考え、変化に柔軟に対応できる能力を身につけるカリキュラムを用意する。そのうえでデジタル技術に関する一連の情報技術革新の産業や個人の生活スタイルへの影響を説明し、それぞれに解決策を提示することができる事を目標とする。
授業計画	第1-15回　次世代産業実践 ★本講義はデータサイエンス館(CeMDS)で行う4日間の集中講義です★ ※日程は2月13日、16日、17日、18日の4日間で行います。 ●Day1　＃生成AI　＃ドローン ・オリエンテーション ・CeMDSの案内と説明　三重大学　若林氏 ・デジタル技術の発展と、デジタルがもたらす産業の変革　三重大学　三橋先生 ・生成AIの活用 ・ドローンにおける操縦技術とプログラミング飛行について ●Day2　＃VR　＃AR　＃VRゴーグル　＃メタバース ・VR技術を用いた歴史建造物の復元と学術的意義　　三重大学　鈴木先生 ・現実社会とデジタル社会の境界線をなくすVR・AR技術 ・オリジナルアバターの制作 ・360°カメラを駆使した学内ツアー映像の作成 ●Day3　#3Dプリンター　#3DCAD　＃動画編集 ・3Dプリンターを用いたモノづくりと立体造形物の試作 ・作成した3Dモデルの出力 ・adobe製品のソフトウェアについて ・動画編集の概論 ●本講義　Day4 ・出力された3Dデータの確認と改善 ・動画編集 ・完成した動画の発表と質疑応答
到達目標	・現在、利用な可能なデジタルツールについて知り、それらを扱えるスキルを身につけることで、地域や組織へのアプローチを考えソリューションを導き実行できる力を獲得する。過去の産業構造から、現在、未来へ進化する産業・社会を見通し、常に時代の流れを読むと同時に、膨大な労力や時間を要する課題に対し、これらのツールとスキルを用いて、少ない人材で解決する可能性を提示する人材となる。本科目では三重県の地域として特徴的な魅力及び課題を洗い出し、これらのツールを使用して解決策を提案・もしくはプロモーションを新たなプレゼンテーション形式として実践的に行う。
予習内容/復習内容	本講義までに、デジタル技術を利用した技術革新（XR）について800字以内でレポート作成し提出する。
教科書	なし
成績評価	授業への積極的な参加40%、成果発表30%、レポート30%
実務経験	
その他特記事項	・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目である。三重大学が実施する実習に他大学生と共に参加する。 ・履修希望者多数の場合は、選考により履修者を決定する。 ・欠席、遅刻、履修の取りやめ等の場合、速やかに連絡してください。

講義科目名称：　医療・健康・福祉実践　　授業コード：　1000156

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	2	選択
担当教員			
石原　洋介			
	実習・講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	・当授業は三重県の重点課題である医療・健康・福祉に関して、WHO（世界保健機関）も3度に渡って視察に訪れた名張市をフィールドとし、現場で学ぶPBL型授業である。名張市は市街地と中山間地域に分かれる地理的特徴をもちながら、そこに存在する15の地域がそれぞれ地域づくりや生活支援、サロン事業などを行っており、医療に関わる人だけでなく、住民全体で市民の医療・健康・福祉を支える仕組みを構築している。このような地域共生型社会で取組を続ける地域住民の健康やQOLについて、そのコミュニティに参加することで、医療・健康・福祉に関わる地域内のステークホルダーの取組、及びそれら各領域の横断的取組について理解を深める。医療のみならず、地域事業としての福祉、健康を目的とした各種取組みを知ることにより、自治体や地域団体の役割を考察し提案していく機会を設ける。 ・高齢化社会において医療費・社会保障費の増大は国家財政や自治体業務の大きな割合を占める。健康長寿を目指す取り組みは、健康食や身体づくりを交えたヘルスツーリズムのような観光と結び付いた地域資源の発掘

	や、QOL（Quality of Life）やADL（Activities of Daily Living）の向上を目指した地域づくりなど、各自治体や団体、医療機関などで応用的に実施され、名張市においては、それらの事例は多岐に渡り多様性に富んでいる。本科目においては医療分野に限定せず、地域共生社会を目指す地域内での各種取組みが活発な名張市の事例を実際に見学又は自らが参加し、専門外からの視点においても分野横断的に研究・実践できる視野を修得するものである。学生間のみならず、現場でのステークホルダーの方、地域の関係者らともグループワークを実施することで、チームで実践するためのコミュニケーション能力の向上も図る。地域課題を主体的に考え、グループワークにおいて専門性の異なる他者と議論し、地域の社会人に対してプレゼンテーションするといった一連のカリキュラムによって、地域イノベーションを実践する人材育成を目指す。
授業計画	第1-15回　医療・健康・福祉実践 ★本講義は学外でのフィールドワークを主とした4日間の集中講義です★ ※日程は8月26日～29日の4日間で行います。 ●現地学習　Day1　＃地域医療と包括ケア ・ガイダンスと名張市の現状　まちの保健室について　名張市　柴垣様 ・三重県の医療・健康・福祉についての概論　　鈴鹿医療科学大学　川尻先生 ・名張市立図書館が実施する予防医療の取組について　名張市立図書館　山口氏 ・名張市の民間診療所の見学　はしもと総合診療クリニック ●現地学習　Day2　＃地域内コミュニティによる予防医療への取組 ・各地域に存在する任意団体の予防医療に関する取組の見学 ・医療・健康・福祉に関わるステークホルダーの方たちとの交流 ・フィールドワーク ・フィールドワークのデータ整理 ●現地学習　Day3　＃民間で興すの健康ケアコミュニティについて ・地域をつなぐ、心の健康とケアができる場所づくり　一般社団法人つなぐ　北森氏 ・名張市旧市街地の地理的特性を知るフィールドワーク ・フィールドで得たデータの整理 ●まとめ学習　Day4　グループワーク及び最終発表 ・まとめたデータからプレゼン資料を作成、および感想のフィードバック ・発表と質疑応答 《注意》：現時点での学習内容となり、実際の授業実施に際しては変更の可能性もある ：学外での授業となるため、欠席、遅刻、履修の取りやめなどの場合は速やかに連絡すること。
到達目標	・三重県における社会的事象（僻地医療、地域包括ケア等）を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究する。本科目では、3～4人のグループワーク及びフィールドワークを通して得た情報から地域課題（「医療・健康・福祉」）を発見し、それについてのデータの統合・深い分析・考察を加え、得られた成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元することができる。 ・受講生一人一人が個々で可能な社会貢献を考え実践する主体性を獲得し、異なる立場の間に立って円滑にコミュニケーションが取れる力を身につける。
予習内容/復習内容	事後レポート及び、最終課題の提出
教科書	なし
成績評価	授業への積極的な参加40%、成果発表30%、レポート30%
実務経験	
その他特記事項	・この講義科目は、コンソーシアムみえに参加する三重県内の高等教育機関の単位互換科目である。三重大学が実施する実習に他大学生と共に参加する。 ・授業計画は現時点での学習内容であり、実際の授業実施に際しては受け入れ先との調整の上、変更の可能性もある。 ・履修希望者多数の場合は、選考により履修者を決定する。 ・全日程、名張市でのフィールドワークとなり、名張市までの交通費は自己負担となる。 ・学生教育研究賠償責任保険には必ず加入すること。

講義科目名称：　統計学　　授業コード：　2000014

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	2	選択
担当教員			
金岩　稔			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） ■１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 ■２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	諸研究の読解やそれらを実際に行う上で必要な統計学を学ぶ上で必要な数学的な基礎知識を復習するとともに、基礎的な統計学の概念、特に統計モデルの構築の概念を説明する。
授業計画	1　講義の概要説明。データ解析の目的。度数分布表とヒストグラム。 2　相関と散布図。データの中心とばらつきの指標。 3　標準化と共分散、相関係数。

	4	回帰直線
	5	データ発生のメカニズム。母集団と標本。無作為抽出。
	6	事象の独立性と確率
	7	確率分布と確率変数。その平均と分散。
	8	コイン投げとベルヌーイ試行。2項分布。
	9	連続型確率変数。正規分布。
	10	確率変数の独立性と無作為標本の定義。
	11	標本平均と標本分散。母平均、母分散との関係。不偏性。
	12	標本平均の分布。点推定と区間推定。母平均の区間推定。
	13	母比率の推定。
	14	統計的仮説検定と検定方式、有意水準、母比率の検定。
	15	確認課題の説明。
到達目標	基礎的な統計学的解析手法の理解と、実際のデータを用いた解析手法の習得	
予習内容/復習内容	予習：シラバスの内容を検索して、どのような内容か自分なりに調べておく。 復習：ノートの整理	
教科書	教科書は使用しない	
成績評価	確認課題70%、講義の受講態度30%	
実務経験	三重大学で統計学関連の講義を持っています。	
その他特記事項	科学は物事を客観的に判断する道具であり、統計学はその中での物差しと言ってもよい道具です。最初、道具の使い方は難しく感じますが、普段から使い手になじむと使いやすくなるものです。なじむまで普段から統計学的な物事の見方を身に着けるため、当講義を受講していただければと思います。	

講義科目名称：　中国語Ⅰ　　授業コード：　1500009

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必修
担当教員			
花尻　奈緒子			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	中国語は中国以外にもアジアの各国・地域で公用語とされ、また第二外国語としても世界中に学習者を持つ言語です。この授業では、中国語の発音方法を習得するほか、基礎的な文法・単語、中国語の背景にある文化や社会についても学びます。
授業計画	1　ガイダンス・声調 2　単母音と複母音 3　子音・鼻母音

	4　軽声・声調の変化 5　アール化・人称代名詞 6　「是」述語文 7　名前の言い方・答え方 8　動詞述語文 9　疑問詞疑問文 10　副詞「也」・省略疑問文 11　指示詞・助詞「的」 12　副詞「都」・語気助詞 13　数字・所有を表す「有」・程度副詞 14　形容詞述語文 15　前期の総復習 16　前期の復習 17　年齢の言い方とたずね方・量詞 18　数をたずねる疑問詞 19　比較の表現・3桁以上の数字の言い方 20　中国の通貨・値段のたずね方 21　年月日と曜日・時刻の表現 22　助動詞「想」・連動文 23　方位詞・存在文 24　前置詞①・反復疑問文 25　完了形 26　文末につける「了」・前置詞② 27　助動詞②・助動詞③ 28　二重目的語をとる動詞 29　進行形・動詞「～が好きだ」 30　後期の総復習
到達目標	中国語で簡単な文を作文し、かつ正しい字で表記できるようになり、単純な文を聞いて意味を理解できるようになることを目標とします。
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回に学習する部分を読んでくる。 復習：教科書付属問題を使用し知識を確認する。
教科書	『シンプルチャイニーズ　北京文法篇』（朝日出版社）

成績評価	出席時の取り組みの姿勢50%、前・後期の期末試験50%で成績評価を行います。
実務経験	なし
その他特記事項	予習復習を欠かさずに行うこと。

講義科目名称：　ドイツ語Ⅰ　　授業コード：　1500035　1500036

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	必須
担当教員			
今本　幸平			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	初めてドイツ語を学習する人のための科目です。文字（アルファベット）、単語の読み方から始まり、簡単な文の組み立て方や読解を学びます。 教員が文法等の説明をした後、自分で練習問題を解き、答えを口頭で発表したり音読の練習をすることで、文法と発音を身につけます。板書をノートに書き写すだけという受け身の姿勢ではなく、説明に基づいて自分でやってみて、分からないことは自ら調べたり、質問したりするという、能動的な受講態度が必要です。
授業計画	1　　ガイダンス、アルファベットの読み方 2　　アルファベットの読み方、単語の読み方

	３　単語の読み方（あいさつ、数字など） ４　第１課　文の作り方（動詞について） ５　第１課　重要な動詞、語順の原則 ６　第１課　練習問題、会話文読解（出会いと自己紹介） ７　第2課　名詞について（名詞の性別） ８　第２課　名詞の「格」について ９　第２課　重要な動詞② １０　第２課　練習問題、会話文読解（家族について尋ねる） １１　復習、中間テスト １２　第３課　不規則動詞 １３　第３課　不規則動詞の練習問題、命令形 １４　第３課　練習問題、会話文読解（明日の予定を尋ねる） １５　前期の復習 １６　前期の復習 １７　第４課　定冠詞の仲間 １８　第４課　練習問題 １９　第４課　不定冠詞の仲間 ２０　第４課　練習問題、会話文読解（買い物に行く１） ２１　第５課　名詞の複数形 ２２　第５課　人称代名詞 ２３　第５課　練習問題、会話文読解（買い物に行く２） ２４　復習、中間テスト ２５　第６課　前置詞の使い方 ２６　第６課　練習問題 ２７　第６課　練習問題、会話文読解（週末の予定を尋ねる） ２８　第８課　話法の助動詞 ２９　第８課　練習問題 ３０　総復習
到達目標	①ドイツ語の単語や簡単な文（ドイツ語検定試験５級程度）を音読できる。 ②簡単なドイツ語の文（ドイツ語検定試験５級程度）を理解し、自分でも作ることができる。
予習内容/復習内容	予習：学習している「課」に出てくる単語の意味を辞書で調べ、音読する。 復習：授業で出てきた文を音読する。学習した個所の練習問題（宿題）を解き、音読する。

教科書	①『PANORAMA Deutsch（パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール）』、白水社 ②独和辞典（４月中は使用しない。詳細は初回講義で説明） ※５月以降は必ず①②の両方を持参すること。
成績評価	前期試験と後期試験の点数（各５０％）。授業中に行う小テスト、中間テスト等の点数は参考程度（マイナスの評価材料としては使用しない）。 前・後期とも10回以上講義に出席しないと評価対象外となる（遅刻・早退は0.5回の出席とみなす）。
実務経験	
その他特記事項	例えば野球ができるようになりたければ、ルールを教わるだけでなく、実際にボールを投げたりバットを振ったりしなければできるようにならないのと同じで、外国語も説明を聴くだけではなく、自分で発音したり、文を書いたりしてみなくては身につきません。その時に、間違えることを気にする必要はありません。失敗と修正を繰り返しながら学ぶ、というつもりで取り組んでください。

講義科目名称： 英会話　　授業コード： 1500006

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
CREST ANGELICA CENDANA			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	The purose of this lesson is to provide students with practical opportunities tp practice and improve their speaking, listening, and grammar skills in English through interactive and engaging activities. The focus is on encouraging students to use the target vocabulary and grammar structures in meaningful communication while building their confidence in expressing themselves in real-life situations.
授業計画	1 Getting Acquainted: Use Greetings and Introductions. Use to be in Yes/No. 2 Getting Acquainted: Talk and exchange personal informations with others. Talk about different countries and nationalities. Include different cultures.

	3	Going Out: Use preposition of time and place. Invite and accept/decline invitations.
	4	Going Out: Discuss Weekend Plans. Make and respond to suggestions.
	5	Talking about Families: Describe Family members. Use Possesive adjectives (my, his, her, etc.)
	6	Talking about Families: Discuss Routines and Traditions. Use adverbs (always, sometimes, never, etc.)
	7	Coping with Technology: Make complaints and requests. Practice Present Continuous Tense.
	8	Coping with Technology: Learn Technology Vocabulary. Give simple instructions.
	9	Eating In, Eating Out: Talk about food preferences. Use countable and/or uncountable nouns.
	10	Eating In, Eating Out: Use Quantifiers. Discuss Recipes and Ingredients.
	11	Staying in Shape: Talk about Fitness and routines. Use can and cannot.
	12	Staying in Shape: Use should for advice. Discuss Healthy habits.
	13	Finding something to wear: Use comparative adjectives. Sell and/or shop for clothes.
	14	Finding something to wear: Talk about preferences. Use too and enough.
	15	First Semester Test: Assess Speaking, listening, grammar, and writing skills for Units 1-14.
	16	Getting Away: Types of Vacations. Adjectives for travel conditions and to describe vacations.
	17	Getting Away: Vacation preferences and experiences. Common Travel Problems.
	18	Taking Transportation: Tickets and trips. Discuss and create Travel Services.
	19	Taking Transportation: Means of Transportation and common transportation problems. Airline passenger information.
	20	Getting Things Done: Use of Passive Voice to describe services. Talk about errands and chores.
	21	Getting Things Done: Practice giving instructions. Use imperatives and sequencing words (first, then).
	22	Making Plan: Use future forms (will, going to).
	23	Making Plans: Discuss schedules and arrangements.
	24	Entertainment choices: Talk about preferrences for movies, music, and books. Use like + gerund.
	25	Entertainment choices Make recommendations. Use should and could.
	26	Shopping Smart: Ask for recommendations. Bargain for a lower price.
	27	Shopping Smart: Discuss Tipping Cutoms. Talk about shopping experiences.
	28	Review and Unfinished Work: Review Units 1-14. Address any unfinished textbook work or unclear topics.

	29 Review and Unfinished Work: Review Units 16-27. Address any unfinished textbook work or unclear topics. 30 Final Semestral Test: Assess speaking, listening, grammar, and writing skills for Units 16-27.
到達目標	Objectives: By the end of this lesson, students will be able to: 1. Use the target vocabulary accurately in context. 2. Apply grammar rules (e.g., simple past tense or comparatives) in spoken and written communication. 3. Engage in conversations and discussions confidently using proper pronunciation and intonation. 4. Demonstrate comprehension by responding appropriately to spoken and written prompts. 5. Collaborate effectively in pair or group activities to complete assigned tasks.
予習内容/復習内容	Students comprehension will be assessed through examination, and weekly activities and homework.
教科書	Top Notch 1 (3rd Edition. ISBN-13: 978-0-13-392893-8) By Joan Saslow and Allen Ascher
成績評価	Oral Participation: 30% , Homework: 20%, Midterm Exams: 20%, Final Exams: 30%
実務経験	
その他特記事項	As an educator with a strong foundation in English language teaching and a commitment to fostering student success, I believe that an encouraging and interactive classroom environment is key to learning a new language. I aim to create a space where students feel confident to express themselves, take chances, and learn from their mistakes without fear and judgment. Mistakes are not setbacks but valuable steps in the process of growth and mastery. In my classroom, collaboration and mutual respect are essential for building a positive atmosphere where everyone feels supported. Through dynamic activities and meaningful practice, students are encouraged to actively participate, challenge themselves, and develop their communication skills. MY goal is to inspire confidence, celebrate progress, and ensure that every learner reaches their full potential while enjoying the journey of language acquisition.

講義科目名称：　英語講読　　授業コード：　1500017

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	全学年	２単位	選択
担当教員			
村井　美代子			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	・科学技術や文化、環境問題など、現代社会の様々な話題を、各ユニット読み切り形式でまとめたテキストを使用する。１つのユニットを2～3回の授業で読了する予定。 ・1ユニット400語程度のリーディング課題の読解を通して、英文の内容を速く的確に把握できる力を養う。各ユニットには、内容の理解度を問う問題や、語彙に関する問題などが用意されている。課題への取り組みを通して、これまでの英語学習の基礎の上に、英文の内容を正確に把握できる実践的な読解力を身につけることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション（テキスト・授業の進め方・成績評価などについて） 2　　Unit 1　Pro Gaming

	３　Unit 1 Pro Gaming ４　Unit 2 The Blogsphere ５　Unit 2 The Blogsphere ６　Unit 3 Organic Food ７　Unit 3 Organic Food ８　Unit 4 Franchises ９　Unit 4 Franchises １０　Unit 5 Character Culture １１　Unit 5 Charcter Culture １２　Unit 6 Language Change １３　Unit 6 Language Change １４　Unit 7 Unlocking Motivation １５　Unit 7 Unlocking Motivation １６　前期定期試験の返却Unit 8 Yellow Dust Storms １７　Unit 8 Yellow Dust Storms １８　Unit 9 The End of Privacy １９　Unit 9 The End of Privacy ２０　Unit 10 Going Carbon Neutral ２１　Unit 10 Going Carbon Neutral ２２　Unit 11 Retro Style ２３　Unit 11 Retro Style ２４　Unit 12 It pays to be the CEO. ２５　Unit 12 It pays to be the CEO. ２６　Unit 13 London ２７　Unit 13 London 28　Unit 14 Web 2.0 ２９　Unit 14 Web 2.0 ３０　Unit 15 Troubled Stars
到達目標	①400語程度の英文内容を正確に把握できる実践的な読解力をつける。 ②語彙や文法、イディオムに関する知識を確認し、実践で活用できる応用力をつける。
予習内容/復習内容	予習：テキストに目を通して単語やイディオムの意味を調べ、内容を一定程度理解して出席する。 復習：提出課題がある場合は課題に取り組み、読了したテキスト内容を確認して次回分の予習につなげる。

教科書	『Reading Pass 3』（南雲堂）
成績評価	期末試験（前期と後期に実施）70%　＋　平常点（出席状況、提出課題、学習態度、発言等）30% 前期と後期それぞれ3分の2以上の出席がない場合は、評価の対象外とする。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　情報処理実習Ⅰ　　授業コード：　1500002

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	１単位	選択
担当教員			
笠　浩一朗			
	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 ■３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在、あらゆる場面でコンピュータの利用が欠かせなくなっている。特に、オフィスソフトは、あらゆる業種で仕事に欠かせないものになっている。本講義では、オフィスソフトに関する基礎知識や基本操作を習得することを目的とする。講義では、アプリケーションソフト（Word, Excel, PowerPoint）を利用した課題に取り組む。
授業計画	1　情報処理演習室の利用方法とコンピュータの基本操作、情報化社会とリテラシー 2　ソフトウェアの基本操作、Wordの基礎１（各部の名称）、タイピング練習

	3　　Wordの基礎２（ページ設定、文書入力、スタイル） 4　　Wordの基礎３（表の作成、SmartArtグラフィック） 5　　Wordの基礎４（図の作成、ヘッダーとフッター） 6　　Wordの基礎５（段組み、数式） 7　　Excelの基礎１（入力方法、オートフィル、書式設定） 8　　Excelの基礎２（絶対参照と相対参照、表の拡張） 9　　Excelの基礎３（関数、グラフの作成） 10　　Excelの基礎４（表計算の応用） 11　　PowerPointの基礎 12　　最終課題の作成１（配布資料の作成） 13　　最終課題の作成２（発表資料の作成） 14　　最終課題の発表 15　　最終課題の発表（第１４回で未発表者）と本講義のまとめ
到達目標	本講義では、オフィスソフトに関する基礎知識及び基本操作を習得することを到達目標に指導する。
予習内容/復習内容	次回の講義について、教科書を事前に読んで確認しておくこと。 課題は、講義内では完了しないことが多いので、講義外でも課題に取り組むこと。
教科書	切田節子ら「Microsoft Office2021を使った　情報リテラシーの基礎」，近代科学者
成績評価	Word課題（20%）、Excel課題（20%）、PowerPoint課題（10%）、最終課題（50%）
実務経験	なし
その他特記事項	なし

講義科目名称：　情報と社会　　授業コード：　2500002

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
笠　浩一朗			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現在の情報社会では、インターネットを日常生活で利用することは必要不可欠になっている。加えて、数理・データサイエンス・ＡＩは、今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている。そこで本講義は、インターネット、数理・データサイエンス・AIのリテラシーに関して学ぶことを目的に、以下の二つの内容を扱う。一つ目は、インターネットにおける情報倫理・リテラシーに関することである。他人の権利を侵すことなく、互いが快適に過ごすためのインターネットの活用方法を解説する。二つ目は、数理・データサイエンス・AIに関することである。数理・データサイエンス・ＡＩを活用した事例を紹介する。また、数理・データサイエンス・ＡＩの利活用にあたり、留意すべき事項について解説する。さらに、データを適切に収集、分析するために、データリテラシーに関して学ぶ。
授業計画	1　　ガイダンス、情報技術の進歩と社会で起きている変化（ビッグデータ、IoT、生成AIなど）

	2　インターネットの仕組み 3　インターネットの利用におけるマナー 4　社会で活用されているデータと情報技術 5　AIの歴史と現在のデータ・AI活用領域の広がり 6　データ・AI利活用のための技術（データ解析、データ可視化など） 7　データ・AI・情報技術の利活用の現場（データサイエンスのサイクル） 8　データ・AI・情報技術の利活用の最新動向（生成AIの仕組みなど） 9　データ・AI・情報技術を扱う上での留意事項１（個人情報とプライバシー） 10　データ・AI・情報技術を扱う上での留意事項２（知的財産権とメディアリテラシー） 11　データを守る上での留意事項１（ネットワーク不法行為） 12　データを守る上での留意事項２（情報技術とセキュリティ） 13　データを読む（データの種類、データの分布、データを読む上での基礎知識） 14　データを説明する（データの表現、データの比較、不適切なグラフ表現、優れた可視化事例の紹介） 15　データを扱う（データの取得、データの集計、データの並び替え）
到達目標	本講義は、現在の情報社会で求められる「インターネット、及び、数理・データサイエンス・ＡＩに関する知識」と、「インターネット、及び、数理・データサイエンス・ＡＩを扱う上で求められる情報倫理」を習得することを到達目標とする。
予習内容/復習内容	授業の最後に次回の講義の内容の一部を紹介するので、予習してくること。 前回の復習の小テストを毎回実施するので、復習しておくように。
教科書	資料を毎回配布する。参考文献は講義内で紹介する。
成績評価	4回（第5回、第9回、第10回、第12回）の小テスト（80%）、課題（20%）
実務経験	なし
その他特記事項	なし

講義科目名称：　体育講義　　授業コード：　1500027

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
石川　拓次			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本講義では、身体のしくみを知り、効率的に運動することの重要性を理解し、身体活動を通して、社会性、協調性、コミュニケーション力を身につけることの必要性について学ぶ。さらに、スポーツ文化に親しみ、スポーツが多文化共生とどのように関わっているかペア討議を通して理解することを目的とする。
授業計画	1　　第１回　オリエンテーション・コンセンサスゲーム 2　　第２回　健康とは？ 3　　第３回　身体の仕組み（内科編）

	４　　第４回　内科的疾患①生活習慣病 ５　　第５回　内科的疾患②がん・感染症 ６　　第６回　身体の仕組み（運動器編） ７　　第７回　トレーニングと健康（骨格筋と運動） ８　　第８回　トレーニングと健康（呼吸循環器と運動） ９　　第９回　こどもとスポーツ １０　　第10回　高齢者とスポーツ １１　　第11回　女性とスポーツ １２　　第12回　スポーツ外傷・障害の基礎 １３　　第13回　スポーツと栄養 １４　　第14回　スポーツに関わる諸問題 １５　　第15回　スポーツイベント
到達目標	・トレーニングに関する知識を理解することができる。（知識・理解） ・健康・疾患と生活習慣の関係について考えることができる。（思考・判断） ・スポーツイベントやスポーツに関する諸問題について考えることができる。（思考・判断）
予習内容/復習内容	各講義ごとに出される講義内容に関連した事前課題および事後課題に取り組み提出を行う。（各回90分程度）
教科書	指定しない
成績評価	定期試験（筆記）試験は行わない。 課題レポート（50%）、授業時の提出物(50%) 評価基準：課題レポートは受講生の到達目標すべてに対応して、学修到達度を最終的に確認するためのものである。授業時の提出物は授業内容を踏まえて的確に自分の考えを記述しているかを評価する。
実務経験	なし
その他特記事項	なし

講義科目名称：　体育実技　　授業コード：　2500005

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	１単位	選択
担当教員			
石川　拓次			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	様々な球技、レクリエーションゲームに親しみ、スポーツの楽しさを体感し、その特性を理解する。また、運動やトレーニングを通して、自らの健康管理や体力作りの方法を習得するとともに、運動を習慣化する態度を身につける。さらにスポーツを通して、社会性、協調性、コミュニケーション力を身につけ、自らの人生におけるスポーツの意義について受講生全体でディスカッションを行い、生涯スポーツの基礎を作る。
授業計画	1　　オリエンテーション・体力測定 2　　バドミントン（1）　基本的なストローク

	3　バドミントン（2）　シングルス総当たり戦1 4　バドミントン（3）　ダブルス総当たり戦2 5　バスケットボール（1）　基本動作（パス, ドリブル, シュート） 6　バスケットボール（2）　男女別の試合 7　バスケットボール（3）　男女混合の試合 8　バレーボール（1）　基本動作（アンダー・オーバーハンド）　ソフトバレーボール 9　バレーボール（2）　ソフトバレーボールによる試合 １０　バレーボール（3）　バレーボールによる試合 １１　卓球（1）基本的なストロークの練習・シングルス １２　卓球（2）シングルス総当たり戦1 １３　ニュースポーツ（1）インディアカ １４　ニュースポーツ（2）アルティメット １５　体力測定・まとめ
到達目標	①　健康の保持増進に加えて、スポーツを通して心身の調和について理解することができる。（知識・理解） ②　それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動を考え、参加することができる。（思考・判断） ③　生涯スポーツを自主的にプラニングする能力と態度を養うことができる。（思考・判断）
予習内容/復習内容	【予習】授業で行う種目について、インターネットや図書でルール等を調べる。（毎回90分程度） 【復習】実施された講義内容についてのリフレクションシートを作成する。（毎回90分程度）
教科書	指定しない
成績評価	定期試験（筆記）は行わない。 授業への積極的態度　30%　体力測定　40%　レポート　30% 評価基準：体力測定は受講生の到達目標すべてに対応して、学修到達度を最終的に確認するためのテストである。レポート課題は、授業内容を踏まえて的確に自己表現できているかを評価する。
実務経験	
その他特記事項	なし

講義科目名称：　生命科学　　授業コード：　2500001

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
狩野　幹人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	生命科学（Life Science）は、21世紀の科学技術を担う重点分野の１つである。2003年、ヒトの遺伝子の解読が終了したが、「いのち」の仕組みの全てが解明されたわけではない。遺伝子外の領域に着目したエピジェネティクス、免疫などの生体防御機構をはじめ、その解明が待たれる研究は現在も世界で継続されている。また、環境問題、生物の多様性などを考えるうえでも、生物学・生命科学の知識が必要となる。 本講義では、生物の基本構造である「細胞」と「細胞」内に存在する「分子」に焦点をあてる。 「細胞」内の「分子」のうち、とくにタンパク質を中心とした機能・役割、細胞から多細胞生物個体への展開、細胞間の情報交換についても解説を加えることにより、生物学の基本的な枠組みを理解してもらいたい。
授業計画	1　　ガイダンス（科学とは？自然科学とは？生命科学とは？を中心に）

	2　細胞の構造 3　細胞の形質、機能 4　細胞の活動 5　タンパク質の役割 6　多細胞生物への展開（1）－細胞間の情報交換 7　多細胞生物への展開（2）－体細胞分裂とDNAの複製 8　免疫システム（1）－生体防御機構の概要 9　免疫システム（2）－T細胞と細胞性免疫 10　免疫システム（3）－B細胞と体液性免疫 11　細胞の再生と死 12　環境の認識、調節 13　生物の進化と多様性、生物多様性条約とは 14　生命科学と知的財産（1）－知的財産とは 15　生命科学と知的財産（2）－生命科学の発展と知的財産の役割
到達目標	①地球上の生物全体に対するマクロな視点と、生物個々の現象に対するミクロな視点を持つ。 ②生物学、生命科学の成り立ちについて、物理学や化学の知識も使いながら、歴史的に捉えられる。 ③生物の基本構造である「細胞」内に存在する「分子」の機能・役割を科学的に理解、説明できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当ページや図表に目を通すなど。 復習：ノートを整理するなどし、講義内容を暗記するのではなく、理解すること。
教科書	「基礎から学ぶ生物学･細胞生物学（第4版）、和田勝、羊土社（2020)」を教科書として用いる。 また講義において、参考文献を紹介するほか、必要な補足資料を随時配布する。
成績評価	①毎回出席をとる（講義終了時に、講義で理解したこと、感想・質問を記入した出席票を提出してもらう)。出席率が3分の2以上の者を成績評価の対象とする。 ②その上で、レポート（2回を予定）により成績を評価する。全体で100%。
実務経験	2022年度から「ナショナルバイオリソースプロジェクト（文部科学省)」における分担機関の課題管理者として従事。グローバルな視点での生物、遺伝資源、それらの多様性についても解説する。
その他特記事項	単なる内容の暗記ではなく、科学的に理解・考えてもらえるよう工夫したい。

講義科目名称：　自然と科学　　授業コード：　2500006

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
狩野　幹人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	1985年アメリカ発のプロパテント（知的財産，とくに特許重視）を経て、2004年からは、アメリカやヨーロッパ、日本をはじめとするプロイノベーション（イノベーション重視）の時代となった。イノベーション（創造的破壊と新結合、価値形成）の形態は多種多様であるが、その１つは科学・技術に立脚している。 本講義では、「科学」のうち、とくに自然を対象とした「自然科学」とは何か？について、その歴史も含めて焦点をあてる。また、「科学」「自然科学」と「技術」との関係について、「技術」とは何か？も含めて解説する。さらに、「科学・技術」を保護するための知的財産や、「科学・技術」の発展の基盤となる「倫理」との関係についても解説する。
授業計画	1　　ガイダンス（科学とは？科学の誕生）

	2　科学と自然科学 3　近代科学のはじまり－宗教と科学、中世ヨーロッパ、大学 4　技術とは（１）－科学と技術の関係を中心として 5　技術とは（2）－産業革命後の科学・技術の発展 6　知的財産とは 7　科学・技術と知的財産（1）－科学・技術の発展と知的財産の役割 8　科学・技術と知的財産（2）－第三次産業革命（IT革命）後の知的財産の役割 9　イノベーションとは 10　科学・技術とイノベーション（1）－イノベーションと技術革新 11　科学・技術とイノベーション（2）－プロイノベーションとは？ 12　日本における科学・技術の発展とイノベーション 13　科学・技術と経済安全保障 14　科学・技術と倫理（1）－法と倫理、研究・開発における法令遵守 15　科学・技術と倫理（2）－研究・開発におけるリスクマネジメント、研究インテグリティ、研究セキュリティ
到達目標	①「科学」「技術」の本質およびそれらの相互的関係について理解するとともに、「科学・技術」への発展について、歴史的に捉えられる。 ②「科学・技術」およびそれを保護する知的財産がイノベーションに果たす役割について理解する。 ③「科学・技術」に関係する法令や倫理について理解する。
予習内容/復習内容	予習：講義において紹介する文献などに目を通すなど。 復習：ノートを整理するなどし、講義内容を暗記するのではなく、理解すること。
教科書	教科書は使用しない。必要な資料を、講義の中で随時配布する。 参考文献としては、「科学・技術と現代社会 上･下、池内了、みすず書房（2014)」「イノベーションのジレンマ、C. M. クリステンセン、翔泳社（2001)」などが挙げられる。
成績評価	①毎回出席をとる（講義終了時に、講義で理解したこと、感想・質問を記入した出席票を提出してもらう)。出席率が3分の2以上の者を成績評価の対象とする。 ②その上で、レポート（2回を予定）により成績を評価する。全体で100%。
実務経験	大学の産学連携・知的財産部門において研究と実務に従事するほか、大学院においてイノベーションに関する講義や研究指導に従事。東京高等裁判所専門委員（知財訴訟。知的財産高等裁判所、東京・大阪地方裁判所 担当）、安全保障貿易自主管理促進アドバイザー（経済産業省）、研究インテグリティに係る調査・分析検討委員（内閣府）も兼務。知的財産や安全保障に関する実例についても解説する。
その他特記事項	内容の暗記ではなく、理解・考えてもらえるよう工夫したい。

講義科目名称：　心理学　　授業コード：　1500020

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
高橋　彩			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 ■２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	心理学は一般に生活体（人や動物）の行動の科学と言われている。行動は人の内的要因とその人がおかれている環境的要因によって決まるが、こうした行動を引き起こすような心の仕組みや働きを科学的に明らかにし、人間そのものの理解を目指す学問が心理学といえる。この講義では、心理学の各分野の基本的概念について紹介する。心理学の基本的な考え方や、研究方法やその背景などを理解することを目的とする。
授業計画	1　　心理学とはどのような学問か 2　　知覚（大きさの恒常性、錯視）

	3　学習（古典的条件づけ、オペラント条件づけ、観察学習） 4　記憶（短期記憶、長期記憶、記憶の変容） 5　動機づけ（内発的動機づけ、外発的動機づけ、自己効力） 6　感情（感情の機能、ストレス） 7　パーソナリティ（パーソナリティの調べ方、ビッグ・ファイブ理論） 8　臨床　精神的健康 9　知能（知能検査とIQ） 10　思考(推論、ヒューリスティックス) 11　対人認知（印象形成、対人魅力） 12　発達（遺伝と環境） 13　集団１（社会的促進と抑制、集団規範、同調） 14　集団２（リーダーシップ、態度変容） 15　心理学の応用
到達目標	①心理学の基本的な概念、用語を説明できる。 ②人間の行動や心の働きについて、心理学的な視点から理解できる。
予習内容/復習内容	予習：講義中に指示した文献を読む 復習：授業課題で分からなかった部分を調べる
教科書	二宮克美（編著）2017　ベーシック心理学第２版　医歯薬出版　ISBN978-4-263-42223-6
成績評価	定期試験70％と授業内での課題レポート30％で評価する。
実務経験	
その他特記事項	

講義科目名称：　環境論　　授業コード：　1500001

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
南　有哲			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	環境問題は今日、人類が直面する最重要課題のひとつであるとみなされるに至っている。本講義においては、気候変動、生物多様性、原子力問題という3つの大きなテーマについて概観することで、環境問題にかかわるニュースを理解し、環境問題について市民として考察し、発言や行動することを可能ならしめるための、基本的な知識を講じるものである。
授業計画	1　はじめに――講義内容の概要説明 2　気候変動のメカニズム――温室効果とは何か

	3	気候変動のメカニズム―気候システムについて
	4	気候変動の現状と憂慮される未来
	5	再生可能エネルギー概観…そのメリットとデメリットについて
	6	地球温暖化懐疑論を考える
	7	生物多様性と生物進化
	8	生物多様性と生態系サービス
	9	生物多様性破壊の現状と背景
	10	生物多様性破壊がもたらすもの
	11	核エネルギーとは何か――核分裂と核融合
	12	核エネルギーとは何か――原子力発電の仕組み
	13	核燃料サイクルについて
	14	放射線と、その人体・環境への影響について
	15	原発と地震・津波
到達目標	気候変動、生物多様性破壊や原子力問題についての基礎的知識を獲得し、新聞やテレビ・ニュースサイトで報道される内容の基本的な部分が理解できるようになること。	
予習内容/復習内容	予習に関しては、あらかじめ配布した資料の次回該当部分の提示を受け、学習する。復習に関しては、毎回小レポートで当日の講義の振り返りを行い、疑問・質問について次回講義で回答を受ける。	
教科書	教科書は使用せず、適宜資料を配布する。	
成績評価	毎回小レポート…50% 定期テスト…50%	
実務経験	なし	
その他特記事項		

講義科目名称：　差別と人権　　授業コード：　1500019

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
伊藤　信也			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	1.この科目では、基本的人権と差別の問題を考えていきます。人権とは何か、人権はなぜ重要なのか、私たちの人権の実態はどのようになっているのか、その歴史と現状について考えていきます。基本的人権という考え方は、フランス人権宣言などにおいて明文化されてきましたが、こうした人権の歴史的な形成の経過を学ぶとともに、その内容の発展を知ることで、人権の普遍的な意味を考えたいと思います。 2.テーマ別に現代の差別問題について考えていきます。どのテーマから取り上げるかは講義開始時にお知らせしますが、人種差別、性差別、国籍差別、部落差別、「障害者」差別など、世界と日本の様々な差別問題を取り上げる予定です。理解を深めるために、随時映像資料を上映する予定です。
授業計画	1　　講義概説：現代社会と人権

	2　基本的人権の成立史：トーマス・ホッブズの思想と近代人権概念の誕生 3　基本的人権の成立史：宗教改革と自由 4　基本的人権の成立史：近代的人権の特徴と課題 5　基本的人権の成立史：フランス人権宣言への批判者たち 6　基本的人権の成立史：人権から取り残された女性たちのたたかい 7　基本的人権の成立史：人権から取り残された「植民地」「先住民」の実態 8　基本的人権の成立史：現代の人権思想の到達点と課題 9　現代の差別問題：人種差別の歴史と現在～アメリカの場合～ 10　現代の差別問題：「障害者」差別と優生思想～「ナチス」ドイツ、そして日本でも～ 11　現代の差別問題：現代の性差別～「女性差別」から「ジェンダー平等」へ～ 12　現代の差別問題：在日外国人差別と「ヘイトスピーチ」問題 13　現代の差別問題：「部落」差別問題の構造 14　現代の差別問題：感染症の差別問題の歴史 15　21世紀の人権問題への視点を考える
到達目標	①学生は、人権問題の歴史を正しく知り、人権概念の基本的知識を身につけることができる。 ②学生は、現代の差別問題の基本的様相を理解することができる。 ③学生は、「デマ」や「フェイクニュース」に流されず、正確な知識と根拠を知って人権や差別問題と向き合うことができる。
予習内容/復習内容	予習：事前に指示した資料や参考文献に目を通しておく。 復習：毎回、ミニレポートで当日の講義の振り返りを行う。前回のミニレポートについて次回の講義で受講生の意見や質問に答える。
教科書	なし（毎回プリントを配布）。必要な資料等もプリントで配布します。その他、参考文献等は講義中に指示します。
成績評価	1. 講義中に実施する「ミニレポート」（意見提出。配点は約40%） 2. 講義の最終日に提出する「期末レポート」（配点は約40%） 3. 積極的な受講姿勢（配点は約20%）
実務経験	なし
その他特記事項	1.歴史（特に世界史）の知識の多寡は問いません。 2.講義は可能な限り工夫して進めていきます。映像資料はドキュメンタリー・ビデオなどを予定しています。 3.人権問題や差別問題に関心のある受講生の積極的な参加と、教室環境の保持を求めます。

講義科目名称：　歴史学　　授業コード：　2500016

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
望月　秀人			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	西洋近代は明治時代以来、長らく日本にとっては追いつくべき模範でしたが、現在ではそうした西洋中心主義は批判され、むしろ他地域と対等に比較すべき一対象となっています。本講義ではそうした状況を踏まえつつ、西洋近代社会の成り立ちと展開を概説的に講義することで、日本にとって何を見習うべきであり、何を見習うべきでないのか、学生の皆さんと考えていきたいと思います。
授業計画	1　　ガイダンス：歴史学とは 2　　大航海時代と世界の一体化

	3　宗教改革と宗派分裂 4　宗教戦争と世俗化 5　中世の封建制 6　中世封建制から近世の「絶対王政」へ 7　「絶対王政」の意義と限界 8　フランス革命の勃発 9　「市民革命」と近代国家 10　革命とナショナリズムの時代 11　工業化とその影響 12　第一次世界大戦の衝撃 13　戦後処理方法の変化 14　大恐慌とファシズム 15　近代という時代について
到達目標	西洋近代史の大きな流れを理解でき、日本社会との比較や現代とのつながりが理解できる。
予習内容/復習内容	予習内容は、新聞等で時事問題への関心をもつこと。あとは、授業内容の復習をしてください。
教科書	テキストは特に定めません。毎回のレジュメに掲載されている出典を参考にして下さい。ただ、山川出版社の高校世界史教科書程度のものは持っていた方が良いでしょう。
成績評価	定期試験60%、レポート40%で判断します。試験は紙媒体持ち込み可の論述試験で、講義内容に即して回答するものとします。レポートについては講義の際に説明します。6回以上の欠席はその時点で単位を失うものとします。
実務経験	
その他特記事項	言うまでもなく、講義中の私語や徘徊は原則禁止とします。学生としてふさわしい受講態度をとるようにして下さい。また、時事ネタ等を通じて、社会の課題に敏感になるようにしてください。

講義科目名称：　哲学　　授業コード：　2500017

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
吉本　陵			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	現代の科学技術は私たちの社会に大きな影響を与え続けています。この授業では科学技術が私たちの（誕生と死を含む）生命に与える影響に焦点を当て、科学技術時代における生と死の意味という問題について哲学的に考察することを試みます。
授業計画	1　ガイダンス＆イントロダクション 2　哲学的・倫理学的なものの考え方（１）功利主義と義務論 3　哲学的・倫理学的なものの考え方（２）理論を学ぶ意味

	4　現代社会と動物の問題（１）ペットについて 5　現代社会と動物の問題（２）家畜について 6　現代社会と動物の問題（３）肉食について 7　出生前診断と優生思想（１）医療倫理の原則 8　出生前診断と優生思想（２）出生前診断の歴史と現状 9　出生前診断と優生思想（３）旧優生保護法と内なる優生思想 10　脳死臓器移植の倫理（１）脳死について 11　脳死臓器移植の倫理（２）脳死臓器移植について 12　未来に対する責任（１）核燃料サイクルの問題 13　未来に対する責任（２）高レベル放射性廃棄物処分の経緯と現状 14　未来に対する責任（３）高レベル放射性廃棄物処分の課題 15　未来に対する責任（４）「100,000年後の安全」は可能か？
到達目標	科学技術が私たちの（誕生と死を含む）生命に対する影響に関する論点を理解すること。 上記の論点について自ら文献資料を調べ、考えたことを論述できるようになること。
予習内容/復習内容	予習：学習内容に記載されている用語を調べておくこと。 復習：適宜配布する参考文献表を参考にしながら、毎週配布する講義資料の振り返りをすること。
教科書	教科書は使用しない。参考文献は適宜指示する。
成績評価	定期試験(80%)に、平常点(20%)を加味して評価する。
実務経験	
その他特記事項	各回の授業後、講義内容についての基本的な質問に対する解答の提出を求める。平常点はそれをもとに評価する。

講義科目名称：　文学Ⅰ　　授業コード：　1500026

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
今本　幸平			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この講義ではヨーロッパの有名な文学作品を取り上げます。時代も国も、私たちからは遠く離れた作品ですが、そこに描かれる人間の姿は、現代の私たちにも通じる部分が多々あると思います。とはいえ、何の手がかりもなく読んでも分かりにくい部分も出てくると思います。講義では、適宜画像などの資料も使いながら、作者、当時の時代背景、文化など、周辺の事柄も視野にいれつつ、作品をより身近に感じて味わうための要点を示してゆきたいと思います。
授業計画	1　　ガイダンス（講義概要、イタロ・カルヴィーノ『なぜ古典を読むのか』） 2　　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第1幕―出会い

	３　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第２幕―バルコニー・シーン ４　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第３幕―波乱の始まり ５　シェイクスピア『ロミオとジュリエット』第４、５幕―死と和解 ６　シェイクスピア『夏の夜の夢』第1幕―森へ行く人々 ７　シェイクスピア『夏の夜の夢』第２、３幕―妖精のいたずら ８　シェイクスピア『夏の夜の夢』第４、５幕―大団円 ９　ドイツの民衆本『ティルオイレンシュピーゲルのゆかいないたずら』 １０　シェリー『フランケンシュタイン』①怪物の誕生 １１　シェリー『フランケンシュタイン』②人間を追う怪物 １２　シェリー『フランケンシュタイン』③怪物を追う人間 １３　メリメ『カルメン』 １４　デュマ・フィス『椿姫』①出会いと別れ １５　デュマ・フィス『椿姫』②別れの理由
到達目標	①文学作品に親しみ、読書を楽しめるようになる。 ②読んだ作品の要約や意見などを、分かりやすい文章で伝えられるようになる。
予習内容/復習内容	予習：自分が楽しく読める文学作品を見つける。（作者は不問） 復習：講義で紹介した作品を読む。
教科書	教科書は使用せず、資料（本文の抜粋）を配布する。
成績評価	学期末の筆記試験70%、毎回のコメント30%。欠席が５回を超えた場合は成績評価の対象外。講義開始20分以降の入室は欠席扱いとする（列車遅延等の不可抗力は除く）。
実務経験	
その他特記事項	取り上げる作品と講義の順序は予告なく変更する場合がある。 「文学Ⅰ」と「文学Ⅱ」はどちらを先に履修しても構わない。どちらか一つだけの履修も可。

講義科目名称：　文学Ⅱ　　授業コード：　2500021

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	全学年	２単位	選択
担当教員			
今本　幸平			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	この講義ではドイツ語圏の文学作品を取り上げます。難しそうな印象があるかもしれませんが、文学の読み方に正解はないので、皆さんの理解が及ぶ範囲で、等身大の読み方をしてください。講義では文学作品をすこしでも身近に感じてもらえるように、適宜映像などの資料も使い、作者、当時の社会背景、文化などの周辺事情も視野に入れて、作品の紹介をしてゆきます。
授業計画	1　　ガイダンス（講義概要、文章作成上の注意点） 2　　ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第1部―恋の苦しみ

	３　ゲーテ『若きウェルテルの悩み』第２部―新天地での苦しみ ４　ドイツの民衆本『ファウスト博士』 ５　ゲーテ『ファウスト　悲劇』第１部前半―学者悲劇 ６　ゲーテ『ファウスト　悲劇』第1部後半―グレートヒェン悲劇 ７　ゲーテ『魔王』 ８　グリム童話 ９　シャミッソー『影をなくした男』 １０　ホフマン『砂男』 １１　シュピーリ『ハイジの修業遍歴時代』 １２　シュピーリ『ハイジは習ったことを役立てる』 １３　カフカ『変身』 １４　シュリンク『朗読者』第1部―出会い、朗読、別れ １５　シュリンク『朗読者』第２、３部―秘密
到達目標	①文学作品に親しみ、読書を楽しめるようになる。 ②読んだ作品の要約や意見などを、分かりやすい文章で伝えられるようになる。
予習内容/復習内容	予習：自分が楽しく読める文学作品を見つける。（作者は不問） 復習：講義で紹介した作品を読む。
教科書	教科書は使用せず、資料（本文の抜粋）を配布する。
成績評価	学期末の筆記試験70%、毎回のコメント30%。欠席が５回を超えた場合は成績評価の対象外。講義開始20分以降の入室は欠席扱いとする（列車遅延等の不可抗力は除く）。
実務経験	
その他特記事項	取り上げる作品と講義の順序は予告なく変更する場合がある。 「文学Ⅰ」と「文学Ⅱ」はどちらを先に履修しても構わない。どちらか一つだけの履修も可。

講義科目名称：　比較文化論　　授業コード：　1500018

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
嶋田宏司			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	1850年頃からヨーロッパ、特にフランスで起こったレアリスム（写実主義）から印象主義への展開を概観したあと、印象主義を取り入れた日本の洋画に目を転じます。この明治期の日本の洋画界では留学組の黒田清輝をリーダーとして、印象主義を穏やかな写実主義に取り合わせた絵画が主流として現れます。日本の洋画家たちは、さらにヨーロッパにおける他の美術（アール・ヌーヴォー、ポスト印象主義、フォーヴィスム、キュビスム）を研究しながら、新しい表現を次々に開発していきます。授業では、より詳しい美術史については時間的に難しいのですが、よく知られている印象主義の技術的・理論的側面を知り、明治・大正期の画家たちの努力や新発想を理解してもらえることと思います。この授業の過程で、作品をしっかりと観察する、その内容を言葉にする、という作業もあわせて行います。
授業計画	1　　レアリスム（写実主義）そしてギュスターヴ・クールベ 授業の初回として、レアリスムという美術史用語について「写実主義」ないしは「自然主義」の

		解説から始めます。そして続く印象主義までが、この考え方で理解できること、さらに明治期の日本にフランスへの留学を通じて、西洋近代の絵画が本格的に入ってくることを説明します。これらのフランス近代の絵画では、風景画をおもに扱います。そうして日本の洋画界において、この「写実」を乗り越えて自由な個人の感性と創意に発した美術が展開してゆくことを概説します。このような前段階からいよいよ個人の画家の作品を観察してゆくことにします。第1回目はギュスターヴ・クールベです。
	2	ギュスターヴ・クールベ：初期代表作品の観察 クールベの初期の代表的な作品を詳細に観察します。作品を「詳しく観察する」ことで、絵というものの主題内容を把握・理解するということが可能である、と気づいてもらうことが初回の主眼です。そしてクールベに関連する資料も引きながら、彼独自のレアリスム（写実主義）を考察します。
	3	バルビゾン派（１）：森林地帯の風景を描いた画家たち クールベとも交流があった、バルビゾン派の画家たちを扱います。ここには約七人の画家がいるので、そのうちから二ないし三人を選んで授業で扱います。バルビゾン派は森林地帯の村バルビゾンに暮らして、主に風景画を描きました。彼らの自然風景の扱い方を観察し、この画家たちと関わっていた若い世代の中から、どうして印象主義の画家たちが出てきたのか、それを考えることがバルビゾン派を取り上げる理由です。
	4	バルビゾン派（２）：水辺の風景を描いた画家たち バルビゾン派との付き合いがあり、水面のある風景の描き方に特徴のあるウジェーヌ・ブーダン、ヨハン・バルトルト・ヨンキントを取り上げます。そのことで次の印象派へのつながり、つまり色彩の新技法が確立される前段階を作品の中に見出していきます。
	5	クロード・モネ（１）：モネと印象主義の要点 印象主義を生涯にわたって追求した画家、クロード・モネを取り上げます。まずは略歴を紹介し、印象主義的特徴を明確にしてゆくモネの制作の要点をつかみます。
	6	クロード・モネ（２）：印象主義的技法（色調分割）の確立 モネの初期作品を観察しながら、やがて印象主義へとつながってゆく、彼の風景の観察方法について考察します。この回でとくに重要なことは、モネと友人のオーギュスト・ルノワールによって新しい色彩の技法が確立されてゆくことです。この理論的な内容と作品をもとにした実践の様子を見てゆきます。
	7	黒田清輝（１）：初期作品の観察ー西洋式の人体デッサンの習得と発展、そして外光派 法律を学ぶためにフランスに留学しながら、途中で画家に転向した黒田清輝ですが、当時主流となりつつあったレアリスムと印象主義を経験します。彼の制作は外光派とも呼ばれる、印象主義的な技法をわずかに取り入れた穏やかな写実でした。しかし、帰国後に東京美術学校の教授職につくと、彼が学んできたフランスの新しい美術を後進に伝え、日本の洋画壇を刷新していきます。この授業計画に書かれてある黒田以降の画家たちは、全て彼と関係がありました。そうした黒田の略歴を紹介し、初期作品を観察してゆきます。
	8	黒田清輝（２）：日本の画家が西欧的な絵画を制作するということ 黒田清輝の前期および後期の代表的な作品を観察し、彼が日本の洋画界に伝えた新しい美術の内容、そして黒田作品のサインの仕方、また人体デッサンの特質から日本の洋画における問題点を考察します。
	9	藤島武二（１）：年譜とデザイン的な初期作品ー西洋と日本の意匠 津の中学校で教鞭を執っていたこともある藤島武二を取り上げます。藤島は黒田清輝に引き立てられて東京美術学校で教授職に就きますが、黒田の芸術を尊重しながらも彼自身の性質に合った作品を創作します。こうした藤島の生涯を概観し、彼の初期制作におけるデザイン的な要素を観察します。
	10	藤島武二（２）：日本古代文化をテーマにした「洋画」という制作方法 藤島が天平時代の文化を洋画の技法・構成で描いた《天平の面影》を中心に観察します。その中で藤島独自の性質を表す創作の特徴を考察します。
	11	青木繁（１）：初期神話作品、そして西洋美術の刺激 黒田清輝の教え子であり、尊敬してはいたものの、黒田とは異なる独自の芸術構想を抱いて創作を続けた、青木繁の生涯をまず概観します。そして、神話を主題にした作品にオリジナリティーを発揮する、青木の初期作品の観察を行います。
	12	青木繁（２）：問題作《わだつみのいろこの宮》と西洋的な構図法、そして後期作品の観察・評価 青木の短い画家人生の中でも問題作とされる《わだつみのいろこの宮》を中心に取り上げ、西洋的な描写と構図における独自のアイディアを考察します。この作品の不評を機に、青木は失意の中で放浪生活を送ることになるのですが、それにもかかわらず風景画においては光の感受に優れ、色彩の感覚はみずみずしさを保ちます。こうした内容を後期の作品に観察してゆきたいと思います。
	13	萬鉄五郎（よろず　てつごろう）（１）：初期制作の人体デッサンにおける日本洋画界への問題提起 造形（色の塗り方や形の作り方など）において日本の美術に見られなかったフォーヴィスムやキュビスム、また表現主義といった、ヨーロッパの新しい潮流をいち早く取り入れながら、一方で人体形式の描写に日本独自の内容も盛り込もうとした画家、萬の初期作品を紹介します。
	14	萬鉄五郎（２）：日本的モダニズムのさきがけとなる絵画制作と東洋的な文化への回帰 萬が人体をキュビスムあるいは構成主義的に描いた後期作品を取り上げて観察し、技法や造形の新しさを考えます。また、萬は東洋的・日本的な南画も手がけるようになってゆきます。そこで日本の洋画家が西洋的な絵画から離れる、という意義も考察したいと思います。
	15	授業内容の振り返り これまでの作品観察や主題内容の考察をまとめて、ヨーロッパの初期モダニスムが日本で独自の発展を遂げてきた様を改めて俯瞰したいと思います。
到達目標	美術作品を前にして、芸術家の表現と意味内容をつかむためにも重要な「自覚的に作品を観察」する方法を知り、より理解を深めるために「観察結果をもとにして作品を記述する（言葉でとらえる）」ということを目標にしたい。この到達度は期末のレポートで問うことにする。	
予習内容/復習内容	配布する資料を読み、授業を受けて三重県立美術館や名古屋の美術館を訪れたり、図書館などで知識を定着させ、いっそう芸術についての理解を深めてください。展覧会の紹介もしますので、実作品を見る（これは作品の調査になります）ことに努めてください。	

教科書	教科書は使用せず、独自の参考資料を配布する予定です。
成績評価	授業内容に相応する期末レポート90%、授業についての関心の持ち方（授業中のこちらからの質問に対する反応、あるいは終了時になされる質問など）10%。ただし学校の規定にもとづいて、授業回数の3分の１を超える欠席（約６回以上）がある場合には成績評価の対象外となります。
実務経験	
その他特記事項	授業の進度は各時間のテーマの重要度によって異なります。学生の理解の様子に応じて調整しますので、シラバスとは異なる場合があることを承知しておいてください。

講義科目名称：　地域史　　授業コード：　1500038

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	２単位	選択
担当教員			
山崎　智博			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP □１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 ■３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 ■４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 ■４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	三重県の近現代史を都市や地域の形成過程を中心にして見ていく。三重県内には様々な特徴を持った都市・地域が存在している。そのような都市・地域が形成されてきた歴史的背景を知ることによりそれぞれの都市や地域の特徴を理解していけようになるだけでなく、現在抱えている様々な問題を理解していけるようになってもらいたい。
授業計画	1　　三重県の近現代（オリエンテーション） 2　　明治の三重：三重県の誕生と市制町村制の施行

	3	明治の三重：鉄道の開設と三重
	4	第1次世界大戦後の三重：県内私鉄鉄道の消長と電化
	5	第1次世界大戦後の三重：都市計画法の実施と三重
	6	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：商業の近代化と百貨店・道路交通網の整備・鉄道の建設と統廃合
	7	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：都市計画事業の実施と戦争
	8	昭和恐慌期・戦時体制期の三重：戦時下の都市計画
	9	戦後復興期の三重：戦災と戦災復興計画
	10	戦後復興期の三重：復興期の交通
	11	高度成長期の三重：流通の近代化と商店街
	12	高度成長期の三重：鉄道交通と観光開発の進展
	13	低成長期の三重：道路交通網の整備と地域交通
	14	低成長期の三重：大型店の伸張と都市・観光
	15	三重県の近現代史まとめ
到達目標	・三重県の都市や地域の形成過程を身につけられるようになる。 ・歴史的な経緯を踏まえて三重県内の都市や地域を理解し説明できるようになる。	
予習内容/復習内容	予習：講義中に示す文献に目を通す等。 復習：ノートやレジュメ等の見直し等。	
教科書	テキストは使用しない。参考文献は講義中に提示します。	
成績評価	定期試験(80%)、小テスト(20%)で成績評価を行います。 6回以上欠席した場合、試験の受験資格はありません。	
実務経験	なし	
その他特記事項	・地図、写真、映像資料等を適宜使用する予定です。 ・地図、写真、映像資料等を扱うので授業の進度は調整することがあります。	

講義科目名称：　統計学　　授業コード：　1500008

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	全学年	2	選択
担当教員			
熊澤　大輔			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） ■１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 ■２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 ■５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	産業連関表を用いた経済波及効果の計算方法を学びます。産業連関表は社会全体の投入-産出関係を表したもので、様々な経済分析に応用することができます。本講義では、投下労働量（雇用の波及効果）に着目することで、たとえば、少子高齢化が進む中で十分な医療・介護を受けるためにはどれたけの労働人数が必要かといった問題に対して、具体的な推計方法を学びます。授業では世の中に財・サービスが2種類しかないケースの数値計算から始まり、授業後半ではExcelを用いて実際に投下労働量の計算を行う予定です。
授業計画	1　　イントロダクション（講義の射程、成績評価、経済波及効果とは？） 2　　産業連関表の読み方①（取引基本表、投入係数表

	3	産業連関表の読み方②（逆行列係数表、雇用表、経済波及効果）
	4	練習問題①(逆行列係数の計算、投下労働量の計算)
	5	練習問題②（逆行列係数の計算、投下労働量の計算）
	6	代数を用いた産業連関分析(2部門モデル)
	7	総労働の配分（第6回の復習、純生産の取り替え比率）
	8	労働の搾取（第7回の復習、代数を用いた総労働配分、階級社会における分配）
	9	マルクスの基本定理の証明(2部門モデル、多部門モデルの図解)
	10	練習問題③(投下労働量、搾取率、投下労働量単位の取引基本表)
	11	練習問題④(投下労働量単位の取引基本表、貨幣単位の取引基本表)
	12	中間テスト
	13	Excelを用いた産業連関分析①(データのダウンロード、データの整理、Excelでの数値計算)
	14	Excelを用いた産業連関分析②(行列の演算、Excelの関数、経済波及効果)
	15	Excelを用いた産業連関分析③(投下労働量、グラフの作成)
到達目標	・産業連関表の読み方を理解する。 ・産業連関表を用いて経済波及効果や投下労働量が計算できるようになる。 ・Excelを用いて投下労働量を計算してみる。	
予習内容/復習内容	予習は授業用資料を読み込むこと。特に、練習問題を解いた場合には自身で解けるよう復習すること。	
教科書	なし。アップロードした授業用資料を用いる。	
成績評価	・授業内中間テスト(50%) ・期末レポート(50%)	
実務経験	なし。	
その他特記事項	授業用資料の配布や出欠管理、レポートの提出などすべてGoogle Classroomを用いて行います。Excelの基本操作ができることを前提にして13回及び14回の授業は行われますので注意して下さい。	

講義科目名称：　食物栄養学入門　　授業コード：　1000002

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
食物栄養学科教員			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	初学者を対象として、栄養士のさまざまな仕事内容について紹介を行う。また、栄養士免許取得に必要な講義科目や実験実習科目について、学び方や基礎知識について、各教員からオムニバス方式で学ぶ。また、研究倫理に関する内容も教育する。授業目的は、それら学習した知識を各教科の学びに活用できるようになることとする。
授業計画	1　情報処理演習室の利用説明 / 図書館の利用説明 2　研究倫理について

	3　栄養士・管理栄養士について 4　栄養士の職場と仕事内容 5　栄養学・応用栄養学の学び方 6　解剖生理学・運動保健学の学び方 7　生化学の学び方 8　食品学・食品衛生学の学び方 9　食品加工学の学び方 10　栄養教育論・栄養指導論の学び方 11　公衆栄養学の学び方 12　調理学・給食運営管理論の学び方 13　臨床栄養学の学び方 14　味覚について 15　食物栄養学入門のまとめ
到達目標	・栄養士免許必修のカリキュラム構成および各科目の学び方について理解することができる ・栄養士免許科目の基礎的な知識を習得することができる ・多様な栄養士業務について理解することができる
予習内容/復習内容	予習：教科書等を読んで各科目の特徴について理解する。 復習：当日の講義内容について配布物や教科書等を活用して復習する。
教科書	特になし。授業で使用する資料はこちらから配付する。
成績評価	授業に取り組む態度、課題レポートの内容などを各担当教員が評価し、その合計点を100点（100%）に換算して評価する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　公衆衛生学　　授業コード：　1000087

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
大槻　誠			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 ■３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	公衆衛生は、医療の基礎であり現代社会は、公衆衛生のシステムの上に日々の生活の安全が保障されている。 公衆衛生学の目標は、個人および集団の健康を守り増進する事にある。 本講義では、少子化や高齢化、生活習慣病など、わが国や三重県が抱える公衆衛生にかかわる様々な問題点を理解し、将来実践的に応用できる能力を身に着けることを目指す。
授業計画	社会と健康 環境と健康

	健康、疾病、行動にかかわる統計資料 健康状態・疾病の測定と評価 生活習慣の現状と対策 主要疾患の疫学と予防対策 保健・医療・福祉の制度 地域保健 母子保健 成人保健 高齢者保健・介護 産業保健 学校保健 国際保健 精神保健
到達目標	感染症の歴史から現代の健康問題と社会制度に至るまで、三重県における具体的な最新データを基に、社会や環境が人の健康に与える影響、および保健制度を正しく理解し、栄養士としての職務を遂行するのにふさわしい知識を習得することを目標とする。
予習内容/復習内容	予習：教科書を通読する。必要に応じて関連する参考図書に目を通して予習する。 復習：教科書の該当部分および講義ノートを復習し、重要な語句などをノートに整理する。
教科書	教科書：「社会・環境と健康」辻　一郎、吉池　信男　編著　南江堂 参考図書：「国民衛生の動向」厚生統計協会発行
成績評価	試験80%、小テスト（課題の場合もあり）20%
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　社会福祉論　　授業コード：　2000057

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
片山　響			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	私たちが安心して生活するうえで、疾病、傷害、貧困など生活上の様々な課題のセーフティーネットの役割を果たす「社会保障」、「社会福祉」の仕組みを学ぶことは大変重要である。本講義ではこれらの法律や仕組み、課題等を概論的に学び、他の専門職との連携を行うための基礎的知識と方法を修得する。また三重県内の地域福祉の状況を学び、将来専門的分野から地域福祉で主体的な役割が果たせるような考え方や姿勢を習得する。
授業計画	1　　少子高齢化社会の現状と課題 2　　社会福祉の主な法律と組織

	３　介護保険と高齢者福祉 ４　障害者福祉 ５　精神保健福祉 ６　生活困窮者支援支援 ７　児童福祉 ８　医療保険と健康施策 ９　社会福祉における援助方法 １０　社会福祉制度演習 １１　社会福祉の歴史 １２　地域福祉 １３　医療と福祉の連携 １４　年金保険 １５　男女共同参画
到達目標	①日本が直面する少子高齢化社会の現状を学び、課題と対策を理解している。 ②社会福祉の歴史、法律、制度を学び、意義や概要を理解している。 ③栄養士が地域社会において社会福祉の視点から、多職種と連携して主体的に役割を果たすための援助方法を習得する。
予習内容/復習内容	【予習】教科書の該当箇所を読んで概要を大きく理解しておくこと。 【復習】授業で説明した事柄や教科書の該当箇所ならびに毎回の講義資料により理解を深めておくこと。
教科書	コメディカルのための社会福祉概論（講談社）
成績評価	中間レポート…４０％　期末レポート…４０％、平常点…２０％　として評価する。
実務経験	
その他特記事項	【授業への出席について】 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。 【その他】 歴史、法律、制度など堅苦しい内容もありますが、行政機関の職員としての経験をふまえ、受講生が日本社会の直面している福祉分野の課題を理解し、また考えられるような講義内容にしたいと思います。

講義科目名称：　解剖生理学　　授業コード：　1000076

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
相川 悠貴			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	健康管理の手段を学ぶためには、対象となる人体を構築する器官・臓器・組織の構造・機能について理解する必要がある。その理解をもとに、栄養の消化吸収機構、病気の状態、傷病者に対する栄養管理等の発展的な知識を身に着けていくことになる。 本講義では、各器官系の基本的な構造・機能についての知識の獲得を目的とする。本講義獲得する知識は、栄養学、応用栄養学、臨床病態学、臨床栄養学、運動保健学等、栄養士関連科目を学ぶ上での土台になる。
授業計画	1　　人体の構造・器官・組織 2　　細胞・組織の構成

	3	消化器系1：消化管の構成と嚥下・咀嚼・消化管運動
	4	消化器系2：消化・吸収
	5	循環器系
	6	小テスト①と解説・復習
	7	血液系
	8	呼吸器系
	9	腎・尿路系
	10	骨格系、筋肉系
	11	小テスト②と解説・復習、生殖器系
	12	内分泌系
	13	神経系
	14	感覚器系、免疫系
	15	消化器系と腎・尿路系を中心とした復習
到達目標	①各器官系の構造に関する用語を覚える。 ②各器官系の機能を理解する。	
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回学習内容範囲を読んでおく。 復習：授業内で紹介した重要箇所の読み直しを行い、理解と記憶に努める。	
教科書	「栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版」 志村二三夫／岡純／山田和彦編、洋土社	
成績評価	小テスト2回（25％×2）、定期試験（50%）	
実務経験	なし	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。	

講義科目名称：　解剖生理学実験　　授業コード：　2000074

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
相川 悠貴			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	健康管理の手段を学ぶためには、対象となる人体を構築する器官・臓器・組織の構造・機能について理解する必要がある。その理解をもとに、栄養の消化吸収機構、病気の状態、傷病者に対する栄養管理等の発展的な知識を身に着けていくことになる。その人体の構造と機能に対する理解を深める実験を、標本や自身の身体を用いて行う。 本講義では、解剖生理学講義において学習する内容の理解を深めることと、簡易な身体評価手技を取得することを目的とする。
授業計画	1　　実験概要の説明、生理応答測定練習 2　　生理学実験：安静負荷による生理応答の観察

	3　生理学実験：運動負荷による生理応答の観察 4　解剖学実験：顕微鏡による組織切片（血液・リンパ系）の観察 5　解剖学実験：顕微鏡による組織切片（循環器系）の観察 6　解剖学実験：筋と関節の確認 7　解剖学実験：運動機能制限体験 8　解剖学実験：臓器標本（消化器系、腎・尿路系）の観察 9　解剖学実験：臓器標本（循環器系、呼吸器系、生殖器系）の観察 10　生理学実験：肺機能測定 11　生理学実験：感覚器に関する実験 12　生理学実験：環境による生理応答の観察 13　解剖学実験：顕微鏡による組織切片（消化器系）の観察 14　解剖学実験：顕微鏡による組織切片（腎・尿路系）の観察 15　実験のまとめと機器の整理
到達目標	①生理学実験を行い、その測定結果の意味を説明できる。 ②標本の肉眼的観察、組織学的観察を行い、各臓器の詳細な構造を理解する。
予習内容/復習内容	予習：次回実験内容に関連した解剖生理学講義の復習。 復習：実験内容の基となる解剖生理学の原理の理解に努める。
教科書	解剖生理学講義で使用する教科書および本実験配布プリント。
成績評価	実験の参加・意欲・態度40%、実験内容をまとめるレポート60%により評価する。
実務経験	なし
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　運動保健学　　授業コード：　2000071

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
相川 悠貴			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	健康管理の手段の一つに、運動がある。運動が身体に及ぼす影響は多大であり、運動を効果的に行えば健康に大きく寄与できる。一方で、運動は時に健康を害することもある。そのような運動が身体に及ぼす影響について、健康管理の観点から解説する。加えて、一部の運動様式を継続的に行うスポーツ競技者の身体的や生理学的変化についても解説する。 本講義では、運動の知識を高め、自身と他者の健康を導く能力の獲得を目的とする。本講義ではは、解剖生理学、生化学、栄養学、応用栄養学、臨床病態学、臨床栄養学等の栄養士関連科目の知識の復習も組み込まれる。
授業計画	1　　運動保健の概要、運動の種類

	2　運動とエネルギー代謝 3　運動と呼吸・循環 4　運動と筋①：筋の性質 5　運動と筋②：トレーニング 6　運動と環境 7　運動と免疫 8　運動と脳・心 9　運動と傷害・障害 10　運動と増量・減量 11　瞬発系競技者・持久系競技者の栄養管理 12　球技競技者の栄養管理 13　児童の健康と運動 14　高齢者の健康と運動 15　運動・スポーツと保健のまとめ
到達目標	①健康を高める運動を説明できる。 ②健康を害する運動を説明できる。 ③スポーツ競技者の身体的特徴を理解する。
予習内容/復習内容	予習：次回学習内容に関する自身の疑問点を抽出する。 復習：授業内で紹介した重要箇所の読み直しを行い、理解と記憶に努める。
教科書	「栄養科学イラストレイテッド 運動生理学 改訂第2版」 麻見直美／川中健太郎編、洋土社
成績評価	小テスト5回（20%×5）
実務経験	なし
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称： 病態学（臨床病態学）　　授業コード： 1000088

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
岩﨑 泰正			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養学を医学に活かすためには、「病気のしくみ」を理解することが非常に重要である。 本講義では、前半に総論として現代人の病気の背景にある生活習慣と病気との関連を解説する。 後半は各臓器ごとに、各種疾患の病態と治療を解説する。 講義で取り上げた話題をきっかけとして、病気のしくみを自主的に深く学んでいくことを期待する。
授業計画	1　健康補助食品が健康におよぼす効果 2　飲酒習慣が健康におよぼす影響

	3　喫煙習慣が健康におよぼす影響 4　ビタミンと健康 5　病気と症状 6　消化器疾患の病態と治療 7　呼吸器疾患の病態と治療 8　循環器疾患の病態と治療 9　腎疾患の病態と治療 10　内分泌疾患の病態と治療 11　糖尿病・代謝疾患の病態と治療 12　血液疾患の病態と治療 13　免疫疾患の病態と治療 14　脳神経疾患の病態と治療 15　試験
到達目標	①臨床医学の基本的な考え方を身に付ける。 ②代表的な疾患の病態を理解し、説明することができる。 ③代表的な疾患の治療法を理解し、説明することができる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の当該箇所を通読する 復習：教科書の当該箇所を再度通読する。
教科書	からだがみえる -人体の構造と機能- 第1版（メディックメディア）
成績評価	原則として試験の成績により評価するが、場合により授業態度（出席率など）も考慮する。
実務経験	国立大学医学部で約四半世紀の教育・診療経験（助手、講師、内科教授）を有する。
その他特記事項	内科専門医、糖尿病専門医、内分泌代謝専門医、甲状腺専門医を取得している。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　生化学　　授業コード：　1000081

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
相川 悠貴			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	生化学は、代謝、遺伝、発生、分化、運動、免疫、記憶や思考などの生命現象を、分子レベルで説明する学問である。食品を摂取して体内に取り込む栄養は、生化学反応により根拠をもって説明できるようになる。 本講義では、糖質・脂質・タンパク質の構造とその生体内代謝機構についての知識の獲得を目的とする。本講義獲得する知識は、食品学、栄養学、臨床病態学、臨床栄養学、運動保健学等、栄養士関連科目を学ぶ上での土台になる。
授業計画	1　　生体分子 2　　細胞の構造と機能

	3　生体成分の機能と構造１：糖質 4　生体成分の機能と構造２：アミノ酸、タンパク質 5　生体成分の機能と構造３：脂質 6　生体成分の機能と構造４：核酸 7　生体成分の機能と構造５：酵素 8　生体のエネルギー源と代謝 9　糖質の代謝１：解糖系、TCA回路 10　糖質の代謝２：グリコーゲンの合成と分解、糖新生、血糖値の調節 11　脂質の代謝１：脂肪酸・トリグリセリドの代謝 12　脂質の代謝２：ケトン体・コレステロールの代謝 13　アミノ酸の代謝１：窒素の代謝 14　アミノ酸の代謝２：炭素骨格の代謝、アミノ酸代謝異常 15　代謝の相互関係と環境応答、免疫
到達目標	①生体分子の構造を覚える。 ②生体内での栄養素の変化や働きを化学的に説明できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回学習内容範囲を読んでおく。 復習：授業内で紹介した重要箇所の読み直しを行い、理解と記憶に努める。
教科書	健康・栄養科学シリーズ　生化学 石堂一巳・福渡努編、南江堂
成績評価	授業内小テスト7回の合計（100%）
実務経験	なし
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　生化学実験　　授業コード：　1000021

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
相川 悠貴			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	生化学は、代謝、遺伝、発生、分化、運動、免疫、記憶や思考などの生命現象を、分子レベルで説明する学問である。食品を摂取して体内に取り込む栄養は、生化学反応により根拠をもって説明できるようになる。その生化学反応の証明には、実験により行われる。本授業は、入学後初めての実験の授業となるため、基礎的な実験技術を用いて行う。 本実験では、生化学講義において学習する内容の理解を深めることと、基礎的な実験手技を取得することを目的とする。
授業計画	1　　実験概要、実験機器の説明 2　　生化学実験に必要な基礎知識の学習

	3　たんぱく質の変性 4　たんぱく質の等電点沈殿 5　糖の定性反応 6　定性反応による溶液中糖成分の判定 7　糖の定量 8　PCを用いた検量線の作成 9　温度が酵素反応に及ぼす影響 10　pHが酵素反応に及ぼす影響 11　基質濃度が酵素反応に及ぼす影響 12　たんぱく質・アミノ酸の定性反応 13　定性反応による溶液中たんぱく質・アミノ酸成分の判定 14　脂質の定量 15　DNAの抽出
到達目標	①安全かつ精確な実験技術の基礎を習得する。 ②各種生体成分の定性及び定量実験を通して生体成分の特性を説明できる。
予習内容/復習内容	予習：実験回に関連する高校レベルの化学知識を身につけておく。 復習：実験内容の基となる生化学の原理の理解に努める。
教科書	配布プリントおよび生化学講義で使用する教科書。
成績評価	実験の参加・意欲・態度40%、実験内容をまとめるレポート60%により評価する。
実務経験	なし
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品学総論　　授業コード：　1000013

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
飯田 津喜美			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品に含まれる様々な成分の種類、性質、所在について学ぶ。具体的には、主に炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、無機質の特徴について解説する。さらに、食品の色・味・香りに関する成分、食品成分間の反応等についても解説する。これらの講義を通じて、食品に関する知識を深めることを目的とする。
授業計画	1　食品学総論概要、人間と食の関わり 2　日本食品標準成分表 3　食品成分（水分）

	4　　食品成分（炭水化物） 5　　食品成分（たんぱく質） 6　　食品成分（脂質） 7　　食品成分（ビタミン） 8　　食品成分（無機質） 9　　食品の二次機能　嗜好成分 10　　食品の二次機能　有害成分 11　　食品物性と官能評価 12　　食品成分の変化（酸化、加熱） 13　　食品成分の変化（酵素、成分間反応） 14　　食品の機能性 15　　食品学総論のまとめ
到達目標	① 食品に含まれる様々な成分の種類、性質、所在について説明できる。 ② 食事設計において、必要な食品や食品成分の知識を活用し有効な食材の選択につなげることができる。
予習内容/復習内容	予習：教科書を読み、当該講義の内容を予習する。 復習：授業内に配布した資料とあわせ、当日の講義内容を理解する。
教科書	栄養科学シリーズNEXT　食べ物と健康、食品と衛生　食品学総論第４版　辻　英明・海老原清・渡邊博幸・竹内弘幸編　講談社
成績評価	平常点20%、2回の授業内小テスト40%（20%，20%）、期末試験40%で成績評価を行う。平常点は、出席や提出物を総合的に評価する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品学実験　　授業コード：　1000142

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
飯田　津喜美			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品学に係る講義の理解を深めるため、食品に含まれる一般成分の定性あるいは定量分析を行い、学んだ知識の実践を行う。また、実験の基礎から始め、実験を安全に行うために必要な知識や基本的操作方法を習得する。実験内容をよく理解して結果を考察し、実験レポートにまとめることにより、食品学の知識と技術を結びつけ定着させることを目的とする。
授業計画	1　　実験の基礎 2　　基本操作　計量・計測

	3　基本操作　容量分析 水分の定量1　（常圧加熱乾燥法） 4　中和滴定による食酢の酸度測定 水分の定量2　（試料の秤量） 5　食品成分の分析　（ビタミンＣの定量） 6　食品の食塩濃度測定 7　色素の分析 8　調理と色素 9　基本操作　比色分析 10　食品成分の分析（ローリー法によるたんぱく質の定量） 11　基本操作　顕微鏡を用いた食品成分の観察 12　食品の物性　（トロミ剤、ゲル化剤） 13　褐変試験 14　天然色素の安定性 15　食品学実験のまとめ
到達目標	① 実験の基礎知識や技術を身につける。 ② 実験を通して、食品の特性を説明できる。 ③ 一緒に実験する班員と協力し合い、実験を遂行できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書や実験資料を読み、当該実験の内容を予習する。 復習：実験結果をまとめ、当該事項について理解する。
教科書	改訂　基礎からの食品・栄養学実験　村上俊男編著他　建帛社
成績評価	平常点30%、実験に取り組む意欲・態度20%、レポート50%で成績評価を行う。平常点は出席や授業中の提出物等により評価する。
実務経験	
その他特記事項	教室の都合等により内容順を変更することがある。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品学各論　　授業コード：　1000130

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
飯田　津喜美			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	日常で利用されている食品の分類や特性、利用法等について解説する。食品への理解を深め、食事設計に適切な食品選択及び利用法を考案する力を養うことを目的とする。
授業計画	1　食品学各論概要、人間と食料 2　植物性食品の分類と成分1　穀類 3　植物性食品の分類と成分2　いも類

	4	植物性食品の分類と成分3　豆類、種実類
	5	植物性食品の分類と成分4　野菜類
	6	植物性食品の分類と成分5　果実類
	7	植物性食品の分類と成分6　きのこ類、藻類
	8	動物性食品の分類と成分1　食肉類
	9	動物性食品の分類と成分2　乳類
	10	動物性食品の分類と成分3　卵類
	11	動物性食品の分類と成分4　魚介類
	12	調味料・香辛料
	13	嗜好飲料、油脂類の分類と成分
	14	微生物利用食品
	15	食品学各論のまとめ
到達目標	① 各種食品の分類と成分に関する基礎知識を身につける。 ② 各種食品の特性を基礎にした利用法を考えることができる。	
予習内容/復習内容	予習：教科書を読み、当該講義の内容を予習する。 復習：授業内に配布した資料とあわせ、当日の講義内容を復習する。	
教科書	栄養科学シリーズNEXT　食べ物と健康、食品と衛生　食品学各論第４版　小西洋太郎・辻　英明・渡邊博幸・細谷圭助編　講談社	
成績評価	平常点20%、2回の授業内小テスト40%（20%、20%）、期末試験40%で成績評価を行う。平常点は、出席や提出物を総合的に評価する。	
実務経験		
その他特記事項		

講義科目名称：　食品加工学　　授業コード：　2000099

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
飯田 津喜美			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品素材の加工および保蔵の過程で生じる食品成分の変化を理解し、加工工程を経て製品の製造までの工程について学ぶ。また、人に摂取されるまでの過程における安全性の確保、食品流通・保存等について理解を深める。県の特産品についても取り上げその特性等を解説する。
授業計画	1　食品加工学概要　食品の加工と保蔵の意義 2　食品成分の化学　食品の変化・変質 3　食品保蔵の方法

	4　　食品加工の方法と原理 5　　農産加工品　穀類、豆類 6　　農産加工品　いも類、野菜類、キノコ類 7　　畜産加工品　肉類、卵類 8　　畜産加工品　乳類 9　　水産加工品　魚介類、海藻類 10　　調味料、香辛料、嗜好食品 11　　油脂加工品 12　　発酵食品 13　　調理加工食品 14　　食品の包装、食品表示基準 15　　食品加工学まとめ
到達目標	① 各種加工食品に関する基礎知識を身につける。 ② 各種加工・保蔵法のしくみを理解する。 ③ 食品加工に関する法規について理解する。
予習内容/復習内容	予習：教科書を読み、当該講義の内容を予習する。学習内容に応じた加工・保蔵品を実際に調査しておくと理解が深まる。 復習：授業内に配布した資料とあわせ、当日の講義内容を理解する。
教科書	食品学総論及び食品学各論で使用した教科書、資料配布 （栄養科学シリーズNEXT　食べ物と健康、食品と衛生　食品学総論第４版　辻　英明・海老原清・渡邊博幸・竹内弘幸編　講談社、 栄養科学シリーズNEXT　食べ物と健康、食品と衛生　食品学各論第４版　小西洋太郎・辻　英明・渡邊博幸・細谷圭助編　講談社）
成績評価	平常点40％、期末試験60％で成績評価を行う。平常点は、出席状況や提出物、学習態度等を総合的に評価する。
実務経験	
その他特記事項	グループ発表を取り入れる予定である。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品の機能　　授業コード：　2000098

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
大井　淳史			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品の機能については，食品学では，一次機能（栄養成分，相互作用），二次機能（色，味，香り成分，物性等）について学んだ。「食品の機能」の講義では，食品の三次機能である生体調節機能を中心に，食品に含まれる成分による疾病の予防などの生体調節機能について講義する。
授業計画	食品の３機能について 食品の機能性に関する制度１（特別用途食品） 食品の機能性に関する制度２（保健機能食品）

	現在の食品制度の課題について(グループワーク) 抗酸化（活性酸素除去）機能 消化吸収促進と代謝改善機能 難消化，吸収阻害および微生物活性機能 難消化炭水化物，食物繊維機能性食品 脂質代謝関連機能 サプリメントのメリット・デメリット（グループワーク） 酵素阻害・酵素活性化機能（高血圧） 酵素阻害・酵素活性化機能（糖尿病） 神経系におよぼす機能 免疫系におよぼす機能 食物アレルギー
到達目標	到達目標として，学生は栄養士実力認定試験や管理栄養士国家試験の食品の機能に関する問題にていて，その内容が十分理解でき，解答することができる。
予習内容/復習内容	予習：教科書を使用して，毎回の講義の該当箇所を予習すること。 復習：配布する授業のまとめプリントおよび課題を解いて復習すること。
教科書	Ｎブックス　改訂　食品機能学　第４版，青柳康夫 編，建帛社　2021年
成績評価	小テスト40%，レポート20%，授業への取り組む姿勢（グループワークでの積極的な発言等）40%で成績評価を行う。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品衛生学　　授業コード：　2000037

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
飯田　津喜美			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品衛生の目的とは、食品の生産から加工・保蔵、流通、調理を経て人に摂取されるまでの過程における食品の安全性を確保することにある。食品衛生管理を実施するために必要となる食品衛生法規や食品衛生対策、食中毒の種類と予防法、食品添加物等について解説する。
授業計画	1　食品衛生学概要、食品衛生行政と食品衛生関連法規 2　食品と微生物 3　食品成分の変質と予防、大量調理施設衛生管理マニュアル

	4　　食中毒の概要 5　　細菌性食中毒（1）サルモネラ、カンピロバクター等 6　　細菌性食中毒（2）ボツリヌス菌、黄色ブドウ球菌等 7　　細菌性食中毒（3）腸炎ビブリオ、その他 8　　ウイルス性食中毒 9　　経口感染症、寄生虫症 10　　自然毒食中毒 11　　有害物質による食品汚染 12　　食品添加物 13　　食品の器具と容器包装 14　　食品の安全性 15　　食品衛生学まとめ
到達目標	① 食品の様々なリスクに関する知識を持つことができる。 ② 食中毒予防に必要な基礎知識や技能を習得する。
予習内容/復習内容	予習：教科書を読み、当該講義の内容を予習する。 復習：授業内に配布した資料とあわせ、当日の講義内容を理解する。
教科書	Visual栄養学テキスト食べ物と健康Ⅲ「食品衛生学　食品の安全と衛生管理　岸本 満編　中山書店
成績評価	平常点20%、2回のレポート課題20%（10%、10%）、期末試験60%で成績評価を行う。平常点は、出席や提出物を総合的に評価する。
実務経験	栄養士・管理栄養士として病院に勤務した経験をもとに栄養士業務と衛生管理について話をします。
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　食品衛生学実験　　授業コード：　2000047

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	選択
担当教員			
飯田津喜美			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食品衛生学に係る講義の理解を深めるため、食品の安全性に関する実験を行い、学んだ知識の実践を行う。食品添加物の分析や食器洗浄の検査、また、微生物を用いた実験では市販食品の一般細菌数（生菌数）検査や食中毒菌の検査等を行う。実験を安全に行うために必要な知識や基本的操作方法を習得する。実験内容をよく理解して結果を考察し、実験レポートにまとめることにより、食品衛生学の知識と技術を結びつけ定着させることを目的とする。
授業計画	1　　食品衛生学実験の基礎 2　　保存料（ソルビン酸）の定量分析

	3　油脂酸敗検査（酸価、過酸化物価） 4　食器洗浄の検査（デンプン、たんぱく質、脂質） 5　着色料の定性分析 6　微生物実験の基本操作（無菌操作法、培地の作成） 7　手洗いの洗浄前後の手指の付着菌検査 8　微生物実験の基本操作（微生物の培養操作） 9　食中毒菌検査（黄色ブドウ球菌） 10　一般生菌数検査 11　野菜の次亜塩素酸ナトリウムによる殺菌実験 12　大腸菌と大腸菌群検査 13　食中毒菌検査（腸管出血性大腸菌） 14　ノロウイルス対策 15　食品衛生学実験のまとめ
到達目標	① 実験の基礎知識や技術を身につける。 ② 実験を通して、栄養士として活躍するうえで必要な食品衛生の基礎知識を習得する。 ③ 一緒に実験する班員と協力し合い、実験を遂行できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書や実験資料を読み、当該実験の内容を予習する。 復習：実験結果をまとめ、当該事項について理解する。
教科書	改訂　基礎からの食品・栄養学実験　村上俊男編著他　建帛社、実験資料の配付
成績評価	
実務経験	栄養士・管理栄養士として病院に勤務した経験をもとに栄養士業務と衛生管理について話をします。
その他特記事項	教室の都合等により内容順を変更することがある。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　栄養学　　授業コード：　2000010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	必修
担当教員			
杉野　香江			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	「栄養とは何か」ということを理解し、各栄養素の科学的性質や機能、栄養的意義について学ぶ。さらに各栄養素の消化・吸収、代謝、利用についての知識を習得することを目的とする。その基盤としては、すでに解剖生理学、生化学などの学習において体の基本的構造や機能、代謝の仕組みを理解していることが前提となる。
授業計画	1　栄養の概念と栄養学の歴史 2　摂食行動（空腹感、食欲） 3　消化・吸収と栄養素の体内動態①　管腔内消化と膜消化

	4　消化・吸収と栄養素の体内動態②　栄養素別の消化吸収過程 5　炭水化物の栄養①　炭水化物の分類と栄養学的特徴 6　炭水化物の栄養②　糖質の体内代謝と血糖値の調節 7　脂質の栄養①　脂質の種類とはたらき 8　脂質の栄養②　脂質の体内代謝 9　たんぱく質の栄養①　体たんぱく質の合成と分解 10　たんぱく質の栄養②　食品たんぱく質の栄養価の評価法 11　ビタミンの栄養①　脂溶性ビタミンの機能 12　ビタミンの栄養②　水溶性ビタミンの機能 13　ミネラルの栄養と機能 14　水・電解質の栄養学的意義 15　エネルギー代謝
到達目標	1.炭水化物、脂質、たんぱく質の消化・吸収・代謝の概要について説明できる。 2.栄養素の機能および栄養学的意義について説明できる。 3.栄養素の過剰と欠乏の影響について説明できる。 4.水・電解質の体内利用およびエネルギー代謝についての基本事項を理解できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当頁を熟読する。 復習：教科書、講義資料により講義内容の確認を行う。
教科書	教科書：栄養科学イラストレイテッド　基礎栄養学　第5版/羊土社
成績評価	2回の小テストと定期試験の合計得点（100%）によって評価する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　栄養学実験　　授業コード：　2000016

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	１単位	選択
担当教員			
杉野　香江			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養学で学んだ事項について、実験的手法を用いて理解を深め、実験結果を論理的に考察する能力を養うことを目的とする。 三大栄養素の消化について各栄養素に対する消化酵素の働きを実験で確認する。食事の違いにより、血糖値や尿中成分が変化することについての理解を深める。各自が自分のエネルギー消費量を理解することで、対象者の必要エネルギーを理解し、個人や集団の食事計画ができる能力を養う。
授業計画	1　　オリエンテーション、実験の基本操作 2　　脂質の消化

	3　炭水化物の消化 4　たんぱく質の消化 5　血糖値の測定①（随時血糖値の測定） 6　血糖値の測定②（糖質中心の食事による血糖値の変化） 7　血糖値の測定③（脂質中心の食事による血糖値の変化） 8　過食が肝臓脂質に及ぼす影響 9　たんぱく質の補足効果（アミノ酸スコアの計算） 10　食事と尿に関する実験①（尿中尿素の測定） 11　食事と尿に関する実験②（尿中クレアチニンの測定） 12　食事と尿に関する実験③（食事記録の解析） 13　食事と尿に関する実験④（尿中食塩濃度の測定） 14　活動時エネルギー消費量の算出 15　総括、器具の管理
到達目標	1. 基礎的な実験の手法を習得する 2. 消化のしくみ、各栄養素の体内における働きを説明できる。 3. エネルギー消費量の算出方法、栄養管理で用いる栄養評価方法について説明できる。
予習内容/復習内容	予習：配布資料を確認し、関連事項について学習する。 復習：実験結果をレポートにまとめ、関連事項について学習する。
教科書	実験資料を配布する。
成績評価	実験に積極的に取り組む姿勢（40%）とレポート（60%）によって評価する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　応用栄養学Ⅰ　　授業コード：　1000046

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
杉野　香江			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	ヒトの一生のライフステージに見合った食物摂取は健康の保持・増進に重要である。また、同じライフステージでも個人差があり、身体状況や身体活動量によっても栄養管理は異なってくる。本講義は、成長・発達・加齢に伴う生体の変化と特性を理解し、各ライフステージにおける栄養とその管理方法の基本を習得することを目的とする。
授業計画	1　　成長・発達・加齢の概念 2　　妊娠期の生理的身体的特徴

	3　妊娠期の栄養アセスメントと栄養ケア 4　授乳期の生理的・身体的特徴 5　授乳期の栄養アセスメントと栄養ケア 6　新生児期・乳児期の生理的・身体的特徴 7　新生児期・乳児期の栄養アセスメントと栄養ケア 8　母乳栄養・人工栄養および離乳の支援 9　幼児期の生理的・身体的特徴および食生活の特徴と栄養ケア 10　学童期の生理的・身体的特徴および食生活の特徴と栄養ケア 11　思春期期の生理的・身体的特徴および食生活の特徴と栄養ケア 12　成人期の生理的・身体的特徴および食生活の特徴 13　生活習慣病発症予防のための栄養管理 14　高齢期の生理的・身体的特徴および食生活の特徴 15　高齢期の栄養アセスメントと栄養ケア
到達目標	各ライフステージの生理的・身体的特徴を理解し、栄養アセスメントおよび栄養ケアについて説明することができる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当頁を熟読する。 復習：教科書、講義資料により講義内容の確認を行う。
教科書	栄養科学イラストレイテッド応用栄養学　栢下　淳，上西一弘／編　羊土社
成績評価	小テスト（100%）によって評価する。小テストは講義の中で3回実施する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　応用栄養学Ⅱ　　授業コード：　1000006

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
杉野　香江			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	ヒトのライフステージに見合った食物摂取は、健康の保持・増進に重要である。また、同じライフステージでも個人差があり、身体状況、運動や労働の程度によっても栄養管理の方法は異なってくる。応用栄養学Ⅱは、個人の身体活動や環境に応じた栄養管理について理解することを目的とし、「食事摂取基準の基礎的理解」、「運動・スポーツと栄養」、「環境と栄養」の3部構成で講義を進める。
授業計画	1　　食事摂取基準の意義　-目的と基本指針- 2　　食事摂取基準の基礎理論　-各指標の定義-

	3　食事摂取基準活用の基礎理論 4　エネルギー・栄養素別食事摂取基準 5　食事摂取基準のまとめ 6　運動時の生理的特徴とエネルギー代謝 7　運動と栄養ケア 8　運動時の食事内容と摂取タイミング 9　ライフステージ別の運動と栄養 10　運動・スポーツと栄養のまとめ 11　ストレス応答と栄養 12　特殊環境（高温・低温環境）と栄養 13　特殊環境（高圧・低圧環境、無重力環境）と栄養 14　災害時における栄養管理 15　特殊環境と栄養のまとめ
到達目標	1.食事摂取基準の基本および活用方法について説明できる。 2.運動時や特殊環境下における代謝および必要な栄養素の変化について理解し、栄養管理方法を説明できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当頁を熟読する。 復習：教科書、講義資料により講義内容の確認を行う。
教科書	栄養科学イラストレイテッド応用栄養学　栢下　淳，上西一弘／編　羊土社
成績評価	小テスト（100%）によって評価する。小テストは講義の中で3回実施する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　応用栄養学実習　　授業コード：　2000038

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
杉野　香江			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	応用栄養学Ⅰ・Ⅱで習得した知識を基に、各ライフステージの食事の管理を中心とした栄養管理能力を養うことを目的とする。具体的には、各ライフステージや個人に合わせた食事計画、献立作成、調理、評価方法、さらに運動時の栄養管理について学ぶ。本実習を通して、栄養士に必要な栄養管理・栄養教育・給食管理に生かすことができる技術の習得を目指す。
授業計画	1　　オリエンテーション・妊娠期のアセスメントと食事計画 2　　妊娠期の食事計画

	3　妊娠期の食事の調理 4　調乳と離乳食の進め方 5　離乳食の食事計画 6　離乳食の調理 7　幼児期の食事計画とアレルギー対応食 8　幼児期・アレルギー対応の食事の調理 9　学童期（学校給食）の食事計画 10　学童期の食事の調理 11　スポーツ選手の栄養アセスメント 12　高齢期の食事計画 13　高齢期の食事の調理 14　嚥下機能低下に対応した食事の調理 15　まとめ・器具の管理
到達目標	各ライフステージや個人に合わせた食事計画、献立作成、調理、栄養評価をおこなうことができる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の該当頁を確認し、関連事項について学習する。 復習：実習内容をレポートにまとめる。
教科書	栄養科学イラストレイテッド応用栄養学　栢下　淳，上西一弘／編　羊土社 実習で使用する資料は適宜配布する。
成績評価	実習に積極的に取り組む姿勢（40%）、レポート（60%）により評価する。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　臨床栄養学　　授業コード：　1000146

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
石橋　智奈美			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	臨床分野における栄養マネージメント業務を遂行していく上で、疾病の成り立ちを理解することは不可欠です。近年の医療制度の変化は著しく、臨床分野の栄養業務は大きく変化しています。傷病者の病態や栄養状態に基づいた栄養管理を理解し、医療・介護制度や医療チームにおける栄養管理の役割を学習することが目的です。また、疾病の症状を改善させるために、病態と栄養状態の的確な評価も学習します。臨床栄養を実践的(実習など）に展開していく上で基礎となる科目です。
授業計画	1　　オリエンテーション、臨床栄養学の概念 2　　栄養食事療法・栄養補給法

	3　糖尿病の病態生理　糖尿病の病因　合併症 4　糖尿病の治療の意義と栄養食事療法 5　脂質代謝異常症、その他の内分泌系疾患の病態生理 6　脂質代謝異常症、その他の内分泌系疾患の病態生理 7　消化器疾患(炎症性腸疾患等)の病態生理と栄養食事療法① 8　消化器疾患(肝臓・膵臓等)の病態生理と栄養食事療法②　小テスト 9　循環器疾患(高血圧・動脈硬化等) の病態生理と栄養食事療法 10　腎疾患(腎不全・慢性腎臓病) の病態生理 11　腎疾患(ネフローゼ症候群・糖尿病腎症・透析)の病態生理 12　腎疾患の栄養食事療法 13　筋・骨格系疾患の病態生理と栄養食事療法 14　免疫・アレルギー疾患の病態生理と食事療法 15　摂食機能低下の病態生理と栄養食事療法
到達目標	①臨床栄養学の基礎となる知識を習得し、実習に応用できる力を身につける。 ②栄養状態を把握し、適切な食事の提供・食事の摂り方を対象者に助言できる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の各回の学習内容に相当する範囲に目を通す等。 復習：講義内容を整理し、臨床栄養学実習に望む際の理解を深める。
教科書	友竹浩之・塚原丘美編　「臨床栄養学概論」　講談社
成績評価	出席時に提出するレポート(15%)　小テスト(30%)　試験(55%) により評価します。
実務経験	医療法人に管理栄養士として勤務し、入院時食事療養、入院患者の栄養管理業務に従事しています。実務経験を活かし、病態に適応した栄養管理に必要な専門知識を習得できるように努めます。
その他特記事項	病気の成り立ちと栄養食事療法などについて解説しますが、講義時間内では、すべてを網羅できないため、予習・復習が必須です。 5回の欠席に加え、遅刻又は早退1回の場合は単位不可となります。 30分を超えた遅刻または早退を欠席1回として扱います。 30分以内の遅刻または早退を3回で欠席１回として扱います。

講義科目名称：　臨床栄養学実習　　授業コード：　1000136

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択
担当教員			
石橋　智奈美			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	臨床栄養学で学習した理論を基礎に、病態や栄養状態の特徴に基づいて個人に対応する適切な栄養ケアの計画、食事療法及び栄養補給が実施できる実践的な能力を培います。治療食をプログラムし、提供する側にたち、よりよい治療食と食事療法のあり方の基本を学びます。また、エビデンスから得られた治療を展開する責務を担う栄養サポートの一員としての知識とスキルを高める実習を行います。
授業計画	1　　オリエンテーション　栄養ケアの概要　展開食 2　　栄養ケアの基礎　流動食・軟食・常食

	3　易消化食　胃腸疾患の栄養ケア　経口・経腸栄養剤 4　エネルギーコントロール食　低エネルギー食・高エネルギー食 5　エネルギーコントロール食　糖尿病食品交換表の理解と使用法 6　エネルギーコントロール食　糖尿病献立作成 7　たんぱく質コントロール食　腎臓病食品交換表の理解と使用法 8　たんぱく質コントロール食　腎臓病の献立作成(食塩制限) 9　糖尿病献立調理実習 10　腎臓病献立調理実習　治療用特殊食品について 11　脂質コントロール食　脂質異常症・膵臓疾患の理解 12　脂質コントロール食　脂質異常症の献立作成 13　食物アレルギーに対応した調理実習 14　脂質異常症の調理実習 15　その他の治療食について
到達目標	①疾病別・栄養成分別分類に則した献立が計画できる。 ②展開食の理解を深め、より実践的な献立作成ができる。 ③糖尿病や腎臓病の食事療法のツールが使いこなせるようになる。
予習内容/復習内容	予習：教科書の各回の学習内容に相当する範囲に目を通す等。 復習：講義時配布の印刷物を整理し、理解を深める。
教科書	今井佐恵子・富安広幸編　「臨床栄養学実習」　医歯薬出版(株) 日本糖尿病学会編・著　「糖尿病食事療法のための食品交換表」　文光堂 黒川清監修　中原俊之他編　「腎臓病食品交換表」　医歯薬出版(株)
成績評価	積極的に取り組む姿勢・受講態度(10%)　課題に対するレポート(40%)　試験(50%)から評価します。
実務経験	医療法人に管理栄養士として勤務し、入院時食事療養、入院患者の栄養管理業務に従事しています。実務経験を活かし、疾病別・栄養成分別献立作成を中心に講義します。
その他特記事項	献立作成にあたり、食品の選択が求められます。食品成分表などから目的に合った食品が選択できるように、食品の特徴などを理解しておきましょう。 5回の欠席に加え、遅刻又は早退1回の場合は単位不可となります。 30分を超えた遅刻または早退を欠席1回として扱います。 30分以内の遅刻または早退を3回で欠席１回として扱います。

講義科目名称：　栄養教育論　　授業コード：　1000060

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
阿部稚里			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養教育とは、対象とする個人や集団のQuality of Life（QOL）を高めるために、教育手段を用いて好ましい食行動の実践と習慣化を促すために具体的に働きかけることである。そこで本講義では、対象者の食生活の問題点や環境を正しく理解し、健康やQOLの向上につながる主体的な実践力形成の支援に必要な栄養教育の理論と方法を学び、方法論を提案できる知識を得ることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション、栄養教育の概念 2　　栄養教育・栄養指導の歴史、栄養教育の対象と機会

	3	栄養教育の目的・目標、最近の栄養教育に関する法的根拠
	4	国民健康・栄養調査からみた健康づくり対策と栄養教育の提案
	5	健康日本21からみた健康づくり対策と栄養教育の提案
	6	行動科学理論の概要
	7	行動科学理論：刺激-反応理論等
	8	行動科学理論とモデル：プリシード・プロシードモデル等
	9	栄養相談の基本
	10	行動科学理論の栄養教育への応用例
	11	栄養教育マネジメントの概要
	12	栄養アセスメントの種類とその特徴
	13	栄養教育の目標設定、栄養教育計画作成の基本的な手順
	14	学習形態の種類とその特徴
	15	栄養教育の実施・評価方法
到達目標	①栄養教育が健康政策の中心的な課題であることを説明することができる。 ②栄養教育に必要な行動科学理論やカウンセリング論を理解することができる。 ③健康やQOLの向上を目標とする栄養教育を提案することができる。	
予習内容/復習内容	予習：該当箇所の教科書を事前に読み、重要事項をまとめる。 復習：学んだ内容について、栄養士としてのアプローチ方法を考察する。	
教科書	「栄養教育論―栄養の指導―」　関口紀子、蕨迫栄美子、宇和川小百合編　学建書院	
成績評価	毎回の授業内小レポート15%、3回のレポート60%、試験25%	
実務経験		
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。	

講義科目名称：　栄養指導論　　授業コード：　2000104

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
阿部稚里			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養指導論では、各ライフステージ別の栄養指導方法を学ぶ。対象者に対応した栄養指導プログラムの作成、実施、評価を総合的にマネジメントできる能力を身に付けることを目標に、行動科学やカウンセリングなどの理論を応用して身体的、精神的、社会的状況、ライフステージ・ライフスタイルに応じた栄養指導のあり方と方法論について理解を深めることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション、栄養指導の概要 2　　妊娠期の食生活全般に対する栄養指導方法

	3　妊娠期特有の問題に対する栄養指導方法 4　授乳期の食生活全般に対する栄養指導方法 5　乳児期に対応した栄養指導方法 6　幼児期に対応した栄養指導方法 7　学童期前半に対応した食に関する指導方法 8　学童期後半に対応した食に関する指導方法 9　思春期に対応した栄養指導方法 10　成人期前半の食生活全般に対する栄養指導方法 11　成人期後半の食生活全般に対する栄養指導方法 12　成人期の勤務状況別保健指導に対応した栄養指導方法 13　高齢期の食生活全般に対する栄養指導方法 14　高齢期特有の問題に対する栄養指導方法 15　各ライフステージの栄養指導例
到達目標	①各ライフステージ別の栄養指導方法論について説明ができる。 ②各ライフステージ別の栄養指導について提案することができる。
予習内容/復習内容	予習：該当箇所の教科書を事前に読み、重要事項をまとめる 復習：学んだ内容について、栄養士としてのアプローチ方法を考察する
教科書	「栄養教育論」　関口紀子、蕨迫栄美子、宇和川小百合編　学建書院
成績評価	毎回の授業内小レポート15%、2回のレポート60%、試験25%
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　栄養教育論実習　　授業コード：　1000012

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	１単位	選択
担当教員			
阿部稚里			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養教育論実習では1年次に学んだ栄養教育論の内容を発展させ、特に個人の食行動を変容させる栄養教育について行動科学理論を応用しながら主体的に実践する能力を身に付ける。個人に合わせた栄養相談の内容を考えて実践し、受講生同士でディスカッションしてよりよい栄養教育を考察することを授業目的とする。
授業計画	1　オリエンテーション、栄養カウンセリングの概念 2　傾聴を構成する技法 3　ロールプレイング、行動変容のための面接方法、認知行動療法

	4　動機づけ面接、コーチング 5　栄養相談の実践 6　栄養相談の実施・評価 7　身体状況に関する栄養アセスメント 8　食生活状況に関する栄養アセスメント 9　市販教材を使用した栄養教育方法 10　個人に対する栄養教育案の作成 11　個人に対する栄養教育教材の作成 12　個人に対する栄養教育発表の準備 13　個人に対する栄養教育のリハーサル 14　個人に対する栄養教育の実施・評価 15　個人に対する栄養教育教材の評価、望ましい栄養教育方法についてのまとめ
到達目標	①栄養教育に必要な行動科学理論を実践することができる。 ②個人の食行動に合わせた栄養教育方法を提案することができる。 ③対象者に合わせた栄養教育の教材を提案することができる。
予習内容/復習内容	予習：1年次の栄養教育論の教科書、資料を事前に読み、重要事項をまとめる。 復習：学んだ内容について、栄養士としてのアプローチ方法を考察する。
教科書	教科書は指定しない。資料は実習中に配布する。
成績評価	発表など積極的な態度15%、栄養相談の評価（レポートを含む）20%、アセスメントに関するレポート15%、教材を使用した栄養教育内容10%、栄養教育実施の評価（レポートを含む）30%、栄養教育教材の評価10%
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　栄養指導論実習　　授業コード：　2000009

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	１単位	選択
担当教員			
阿部稚里			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養指導論実習では1年次に学んだ栄養指導論の内容を発展させ、各ライフステージ別の問題に対応した栄養指導について企画し、実践する能力を身に付ける。受講生同士でディスカッションして各ライフステージの食に関する問題点を理解し、よりよい栄養指導方法を考察することを授業目的とする。
授業計画	1　オリエンテーション、集団に対する栄養指導の特徴 2　ライフステージ別食に関する基本事項の収集・まとめ 3　ライフステージ別栄養指導案作成

	4　ライフステージ別栄養指導案の提出、討論 5　ライフステージ別栄養指導のプレゼンテーション案作成 6　ライフステージ別栄養指導のプレゼンテーションスライド・音声作成 7　ライフステージ別栄養指導のプレゼンテーションの提出、討論 8　ライフステージ別栄養指導のプレゼンテーションの評価 9　ライフステージ別栄養指導の教材作成 10　ライフステージ別栄養指導の発表準備 11　ライフステージ別栄養指導のリハーサル、修正 12　ライフステージ別栄養指導の評価：前半の学生発表 13　ライフステージ別栄養指導の評価：後半の学生発表 14　ライフステージ別栄養指導内容の討論、考察 15　各ライフステージの栄養指導例
到達目標	①各ライフステージに必要な栄養指導を企画し、他者に提案することができる。 ②各ライフステージに必要な栄養指導を実践することができる。
予習内容/復習内容	予習：1年次の栄養指導論の教科書、資料を事前に読み、重要事項をまとめる。 復習：学んだ内容について、栄養士としてのアプローチ方法を考察する。
教科書	教科書は指定しない。資料は実習中に配布する。
成績評価	発言など積極的に取り組む姿勢15%、栄養指導案20%、プレゼンテーション評価30%、栄養指導の発表の評価35%
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　公衆栄養学　　授業コード：　2000052

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
大槻　誠			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 ■３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	今後、少子・高齢化の我が国において一次予防が重要視されてくる。また、目まぐるしく変化する社会情勢の中において、臨床や公衆の現場では常に傷病等に関わる背景などを観察しておかなければならない。公衆栄養学では公衆栄養活動の推進と少子・高齢化社会の現状に対応できうる知識を深め、公衆栄養の果たす役割とその実態および重要性について学ぶ。また、栄養行政における関連法規を学び、望ましい公衆栄養の方向性を習得する。さらに、三重県内のあらゆる人々の個人または集団に対して、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成、実施、評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を習得する。
授業計画	公衆栄養の概念、公衆栄養活動の基本と展開過程 健康状態の変化、食事の変化、食生活の変化：食行動・食態度・食知識

	食環境の変化、諸外国の健康・栄養問題の現状 わが国の公衆栄養活動と関連法規、管理栄養士・栄養士制度と職業倫理 国民健康・栄養調査、実施に関する指針，ツール わが国の健康増進基本方針と地方計画 諸外国の健康・栄養政策 栄養疫学の概要、栄養疫学の指標 栄養疫学の方法、栄養疫学のための食事調査法 食事摂取量の測定方法、食事摂取量の評価方法 公衆栄養マネジメントの概念とプロセス 公衆栄養アセスメント、公衆栄養プログラムの目標設定 公衆栄養プログラムの計画、公衆栄養プログラムの実施、公衆栄養プログラムの評価 地域特性に対応したプログラムの展開、食環境整備のためのプログラムの展開、地域集団の特性別プログラムの展開 公衆栄養の歴史
到達目標	我が国や三重県の健康問題を衛生指標や栄養疫学など交えて考え、人々の健康とQOLの向上のために必要な幅広い知識を習得し、地域社会だけではなく諸外国の健康・栄養問題を見渡し柔軟にアプローチできる知識を身につけさせることが目標である。
予習内容/復習内容	予習：教科書を通読する。必要に応じて関連する参考図書に目を通して予習する。 復習：教科書の該当部分および講義ノートを復習し、重要な語句などをノートに整理する。
教科書	教科書「公衆栄養学　改訂第8版」吉池信男/林　宏一　編集（南江堂）
成績評価	試験80%、小テスト（課題の場合もあり）20%。
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　給食運営管理論　　授業コード：　2000080

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	１年	２単位	選択
担当教員			
駒田　亜衣			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養士の活動は給食施設での食事提供が主であり、その中で喫食者の健康の保持・増進に寄与してきた。現代の社会構造の変化、個人生活の多様化にともなう社会情勢は、給食の役割とその必要性を増加させ、給食施設においては、ますます科学的・合理的な管理が要求されることとなった。そのため、栄養士は給食現場において、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントをおこなう能力を身につけなければならない。 本講義では、給食における運営管理業務を適切に達成するための基本的知識を修得することを目的として実施する。
授業計画	1　　給食の概念（給食の概要・給食システム） 2　　給食の概念（給食施設の特徴と栄養士の役割・関係法規）

	3　給食運営・管理の概念（給食の資源と管理・給食の外部委託・給食とマーケティング） 4　給食運営・管理の概念（給食組織・給食従事者の教育と訓練） 5　栄養・食事管理（栄養・食事のアセスメント） 6　栄養・食事管理（食事の計画） 7　栄養・食事管理（食事計画の実施・評価・改善） 8　給食における品質管理（給食の品質基準と献立の標準化・大量調理の特性と品質） 9　給食における品質管理（食材料の選択・発注と検収・保管と在庫管理） 10　給食における生産管理（調理工程・作業工程・調理作業の標準化・人員配置） 11　給食における提供サービス（配食と配膳のシステム・食事環境の設備） 12　給食の安全・衛生（危機管理対策・インシデントとアクシデント） 13　給食の安全・衛生（HACCPシステムの運用、衛生教育） 14　給食の安全・衛生（大量調理施設衛生管理マニュアル） 15　給食施設の事後・災害対策（災害時のための貯蔵と献立）
到達目標	①給食運営業務を適切に達成するための食事の計画ができること ②給食提供時の安全管理・衛生管理・食環境の整備ができること ③給食の関係法規を理解すること
予習内容/復習内容	予習：次回の内容についてテキストに目を通す、講義中に示す参考資料に目を通す等 復習：授業の内容をノートに整理し、考察メモを書き込む等
教科書	富岡和夫編、「栄養士養成のための『給食の運営　給食計画・実務論』」医歯薬出版株式会社
成績評価	・試験（60%）、平常点（40%）で評価する。平常点は課題レポート、出席時に提出するレポート内容、授業態度等を総合的に評価する。
実務経験	病院で栄養士・管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、実践的な給食の運営と栄養管理に必要な知識・技術が修得できるよう努めます。
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　給食運営管理論実習Ⅰ　　授業コード：　1000061

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	２年	２単位	選択
担当教員			
駒田　亜衣			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本実習は、栄養士の校外実習に先立って行われる給食実務に関する学内での大量調理実習である。これまでに学んだ「栄養学」「調理学」「食品衛生学」「栄養教育」などの基礎知識をもとに、実務的な内容を含む「給食運営管理論」の知識を生かし、大量調理を目的とする給食運営の手順、方法などの運営管理業務全般について、実習を通して修得する。 本実習では、学生自らが計画を立て、各自が分担された作業を確実に果たしていかなければならないため、協力と責任の重要性を身につけることも目的とし、グループに分かれて実習を行う。
授業計画	1　　給食運営実習の概要・オリエンテーション、給与栄養目標量の決定 2　　献立作成と発注、帳票類作成

	3　大量調理基礎実習1　／　献立計画、栄養価計算 4　作成した献立の検討、栄養価計算　／　大量調理基礎実習2 5　本実習に向けた献立の決定、帳票類作成、作業分担の確認 6　大量調理実習A試作　／　原価計算、栄養価計算等 7　発注書作成、発注、検収記録簿作成等　／　大量調理実習B試作 8　衛生管理チェック表、作業工程表作成等　／　大量調理実習C試作 9　栄養メモ、喫食調査票、食券作成等　／　大量調理実習D試作 10　大量調理実習A　／　給食に関する必要帳票類の作成、調理作業に必要な器具・食器の準備 11　給食実習ノートの整理・評価報告会の準備　／　大量調理実習B 12　インシデントレポートの作成・給食実習ノートの整理　／　大量調理実習C 13　実施した喫食調査票の集計と考察・給食実習ノートの整理　／　大量調理実習D 14　帳票類のまとめ（実施原価の計算、廃棄率調査の考察等）・給食実習ノートの整理 15　実習の評価報告会
到達目標	①　これまでに学んだ専門科目の基礎知識をもとに、給食運営の方法や手順を修得する。 ②　大量調理を目的とした食事計画を自ら立て、集団で協力して給食提供ができる。 ③　校外実習に向けた問題点や課題を明らかにし、解決方法を見出すことができる。
予習内容/復習内容	予習：「給食運営管理論」で使用した教科書に目を通す等 復習：給食ノートの整理等
教科書	・松月弘恵ら著　「給食マネジメント実習」　医歯薬出版
成績評価	・課題レポート・実習ノート（60%）、実習に取り組む態度や熱意・グループ作業の分担状況や成果（40%）で評価する。
実務経験	病院で栄養士・管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、実践的な給食の運営と栄養管理に必要な知識・技術が修得できるよう努めます。
その他特記事項	本実習は校外実習に準じる校内実習であるため、校外実習の受講年度に受講しなければならない。また校外実習と同様、遅刻や欠席の場合は単位を認められず、やむを得ない場合は補講を受けなければならない。

講義科目名称：　給食運営管理論実習Ⅱ　　授業コード：　1000038

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	選択
担当教員			
阿部　稚里、駒田　亜衣			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	栄養士の資格取得に必要な「給食運営管理論実習Ⅲ（校外実習）」を受講する学生に対して、校外実習に出る前の事前指導を前期に、校外実習終了後の事後教育を後期に行う。 特定給食施設の職域ごとの栄養士の講演を予定している他、受講生は実習施設や実習グループごとに課題検討、手続き等の準備を行い、校外実習に臨む。 実習後は、実習評価と反省、校外実習報告会を実施する。
授業計画	1　　オリエンテーション・校外実習の概要 2　　校外実習中や事前挨拶時の諸注意・前年度の実習確認

	3　実習中の課題研究の確認 4　自身の研究課題案作成 5　課題研究への取り組み 6　栄養士業務について（病院栄養士の仕事） 7　栄養士業務について（福祉施設栄養士の仕事） 8　課題研究の作成（試作含む） 9　実習ノート整理 10　実習報告会準備 11　実習資料の整理 12　校外実習報告会（病院） 13　校外実習報告会（福祉施設） 14　校外実習報告会（事業所） 15　栄養士免許申請について
到達目標	校外実習に向けて給食運営上必要な知識と技術を習得し、校外実習を有意義なものとすることを到達目標とする。
予習内容/復習内容	予習：授業中に示す資料に目を通す、課題研究に必要な資料収集等 復習：実習ノートの整理等
教科書	・本学の校外実習ノート ・これまで栄養士必修科目で使用した教科書など
成績評価	・課題レポート、課題研究、実習後の報告やまとめた資料（60%）、実習の準備に取り組む態度・意欲（40%）として評価する。
実務経験	
その他特記事項	校外実習を受講するものは必ずこの科目を受講しなければならない。 校外実習を有意義なものとするために、実習施設ごとに準備のための計画を立てて実践する積極的な取り組みが必要である。その心構えを持って受講しなければならない。

講義科目名称：　給食運営管理論実習Ⅲ　　授業コード：　1000158

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	１単位	選択
担当教員			
阿部　稚里、駒田　亜衣			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	校外実習の目的は、給食業務を行なうために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識及び技能を修得することである。また、栄養士や管理栄養士が配置されている学外の特定給食施設において、実際の給食運営や栄養管理業務を学び、さらに社会的責任を自覚する栄養士として成長するために行うものでもある。 本科目は、校外実習として学外の施設（病院・社会福祉施設・事業所のうち一施設）において実習を行う。
授業計画	1　事前指導　実習の事前説明、準備物や研究課題についての指導 2　実習1日目　施設見学、衛生教育、厨房業務説明、実習課題の提出と評価 ※実習1日目～5日目は校外実習内容の一例である。実習先によって内容は異なる為、変更があっ

	た場はシラバス等を再配付する。 3　実習2日目　厨房業務（検収、調理、盛り付け、提供、食器洗浄　等） 4　実習3日目　課題研究報告、厨房業務（調理、盛り付け、提供、厨房清掃　等） 5　実習4日目　厨房業務（下処理、調理、盛り付け、提供　等） 6　実習5日目　課題研究評価、厨房業務（発注、調理、盛り付け、喫食調査　等） 7　事後報告　校外実習の反省会、報告会
到達目標	各特定給食施設において担当栄養士の指導のもと、給食運営の実習体験を通して資質の向上を図るとともに勤労の精神や強い責任感を養うことを到達目標とする。
予習内容/復習内容	予習：実習先から出された課題について調べておく等 復習：実習ノートの整理と考察メモを書き込む等
教科書	本学の「校外実習ノート」を配付する。
成績評価	実習施設からの成績（100%）によって評価する。
実務経験	
その他特記事項	校外実習においては、学内で事前事後評価を行なう体制を整えることが規定されている。本科目の受講者は、1年生時に開講された栄養士必修科目のすべての単位を取得するとともに、ある一定の評価基準に達しなければならない。さらに、校外実習は実習生としての謙虚な態度や意欲的に取り組む姿勢の他、社会人としての自覚が必要とされるため、そのことを自覚して受講しなければならない。遅刻や欠席の場合は単位を認められず、やむを得ない場合は補講を受けなければならない。 校外実習に係る費用はオリエンテーション時に集金する他、別途交通費等の負担を要する場合がある。

講義科目名称：　給食運営総合指導　　授業コード：　1000005

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
生川　美江			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本科目では、栄養士として給食利用者の健康の保持・増進に寄与する食事計画ができるための知識と技術の習得を目的とします。すなわち、対象となる集団に対しエネルギー・栄養素を満たしたうえで嗜好性の高い食事を提供するために必要な実践的知識について学びます。
授業計画	1　オリエンテーション、食事をする目的、献立の構成、献立の記載方法 2　食事の摂り方、バランスの良い献立とは、日本食品成分表の使い方 3　栄養価計算の実際、廃棄率と購入量の求め方

	4　　献立作成のポイントと留意点、食品の分類と常用食品 5　　食品構成を活用した食品選択、食品の常用量 6　　食事摂取基準を活用したエネルギー摂取と栄養素のバランス、PFCバランス 7　　指定献立の栄養価計算と評価 8　　基本の調味1（汁物、味付きめし、煮物、和え物、酢の物） 9　　基本の調味２（練習問題） 10　　食事摂取基準と食品構成に基づく昼食献立の作成（グループワーク） 11　　献立の評価と改善１（グループワーク） 12　　献立の評価と改善２（発表と意見交換） 13　　食事摂取基準と食品構成に基づく一日献立１（献立作成） 14　　食事摂取基準と食品構成に基づく一日献立２（献立の評価と改善） 15　　まとめと練習問題
到達目標	学生は、本授業を通して次のことができることを目標とします。 １．主食、主菜、副菜の献立構成を理解し、１料理、１食あたりの適量を把握できる ２．日本食品成分表における食品の分類法、分析法を理解し食事計画に活用できる ３．食事摂取基準および食品構成に基づいた食事計画を立案し、エネルギー産生栄養素バランスを指標とした献立の評価および改善を 　行うことができる ４．調味パーセントを活用し、材料に対して適量の調味割合を再現（調味の標準化）できるための技術を習得したうえで利用者の嗜好性や 　ニーズに合わせた献立を作成できる応用力を持つ
予習内容/復習内容	予習：授業は1回完結ではなく毎回の積み重ねによって食事計画に必要な技術の習得を目指すため、必ず前回の授業の振り返りをして 　出席する 復習：項目ごとにワークシートを配布するので授業内容を振り返り学習し、翌週の授業前に提出する
教科書	教科書：「日本食品成分表2025」（医歯薬出版）
成績評価	平常点（50%）、定期試験（50%）で成績評価を行い、100点満点で60点以上を合格とする 平常点は講義中に課す課題の成績で評価する。なお、欠席した場合は一定の基準で減点する
実務経験	保健センターで管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、健康の保持・増進に寄与する食事の計画と実践のために必要な知識・技術を修得できるよう努めます。
その他特記事項	ほぼ毎回授業開始時にスライド資料、参考資料、ワークシート、課題用紙等を配布します。欠席・自己都合（遅刻・忘れなど）により課題の受け取りや提出ができなかった場合の対処は、自己責任とします（翌週の授業開始までに申し出があれば対応し配点します。但し、一定の減点を行います）。病気等により欠席や出席停止となった場合は配慮しますので、届け出てください。届け出の方法は、次回授業の開始前に直接担当教員に申し出るまたはGmailでの連絡とします。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　調理学　　授業コード：　1000092

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	必修
担当教員			
駒田　亜衣			
栄養士必修	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	人間の身体と心の健康のために「どのような食生活が望ましいのか」を考える食事設計の基礎知識として、食べ物の味を感じるしくみ、料理の形態と栄養成分の変化、さらに個々の年代に対応する栄養条件やその食事摂取基準などを学ぶ。 　また、実際の調理操作、調理過程において生じる食品の栄養特性、物性の変化などについて科学的に捉え、安全性、栄養性、嗜好性を高める調理方法について理解する。
授業計画	1　　調理の意義と食事の計画・食事の形態・食事計画、献立作成 2　　食物の特性要因・食物のおいしさ（食べ物の特性要因／味・におい・外観）

	3　食物の特性要因・食物のおいしさ（食べ物の特性要因／テクスチャー・温度・音、食べ物以外の特性要因） 4　調理操作と調理機器（大量調理機器含む）加熱調理機器 5　調理操作と調理機器（大量調理機器含む）非加熱調理機器 6　食品の成分と調理・植物性食品の調理(穀類（米）・いも類) 7　食品の成分と調理・植物性食品の調理(穀類（小麦）） 8　食品の成分と調理・植物性食品の調理(大豆・その他豆類) 9　食品の成分と調理・植物性食品の調理（野菜・きのこ・藻類） 10　食品の成分と調理・動物性食品の調理（肉類・魚類） 11　食品の成分と調理・動物性食品の調理（卵類・乳・乳製品） 12　食品の成分と調理・成分抽出素材の調理（でんぷん・油脂・砂糖） 13　食品の成分と調理・成分抽出素材の調理（ゲル化剤） 14　調理と安全（調理と衛生管理） 15　調理と安全（食品の衛生的な保管・食品の安全性）
到達目標	①　栄養士として食事計画を立てる能力が身につくこと ②　食品の特性を踏まえた安全性・栄養性・嗜好性を高める調理方法を理解すること ③　おいしさに関する要因を知り、対象者に合った献立提案ができること
予習内容/復習内容	予習：次回の内容についてテキストに目を通す、講義中に示す食材の栄養価に目を通す等 復習：授業の内容をノートに整理し、考察メモを書き込む等
教科書	・「日本食品成分表2023（八訂）」　医歯薬出版株式会社 ・渋川祥子ら著 「エスカベーシック　食べ物と健康―調理学―」 同文書院
成績評価	・試験（60%）、平常点（40%）で評価する。平常点は出席時に提出する課題レポート、授業態度等を総合的に評価する。
実務経験	病院で栄養士・管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、献立作成の手順、栄養士としての食事計画が立てられる能力を修得できるよう努めます。
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　調理学実習Ⅰ　　授業コード：　1000039

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	必修
担当教員			
五島　景子			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	調理の意義を理解し、調理の基礎技術・基礎調理操作を習得することを目的とする。 実習を通じて、調理技術、調理器具の正しい取り扱い方法、旬の食材の知識や栄養価、嗜好性や安全性に配慮した調理等について、実践的に学ぶ。
授業計画	1　　オリエンテーション、実習室の利用について、包丁と器具類の扱い 2　　調理の基礎　計量、炊飯(白飯)、だしの取り方（にぼし） 3　　日本料理①　日本料理の概要、しょうゆ味の飯、だしの取り方(昆布・かつお節・混合)

	4　日本料理②　塩味の飯、だしの取り方(貝)、魚の扱い方 5　日本料理③　丼飯、野菜の切り方、和え物 6　日本料理④　魚の焼き物、卵の調理性(蒸し物)、野菜の煮物 7　西洋料理①　西洋料理の概要、ポタージュ、サラダ(ドレッシング)、プディング 8　西洋料理②　カツレツ、サラダ(マヨネーズ)、ゼラチンの調理性 9　日本料理⑤　魚のおろし方と煮物、酢の物、卵の調理性(汁物) 10　日本料理⑥　魚の汁物、和え衣の種類、寒天の調理性 11　中国料理①　中国料理の概要、溜菜、湯菜、拌菜 12　西洋料理③　サンドイッチ、サラダ（ポーチドエッグ)、紅茶 13　日本料理⑦　麺、揚げ物、でんぷんの調理性、煎茶 14　中国料理②　鹹点心(肉包子)、湯菜、拌菜、甜点心(牛奶豆腐) 15　中国料理③　鹹点心（凉麺）、まとめ
到達目標	1）食材の特性を理解した上で、調理器具を正しく使用し、基礎的な調理技術が身に付くとともに適切な調理操作ができる 2）日本料理、西洋料理、中国料理の特徴と料理構成を理解し、食事を安全かつ衛生的に作ることができる 3）料理をおいしく見せる盛り付けができる
予習内容/復習内容	予習：一週間前に実施献立を伝えるので、しっかりと予習して実習に臨むこと。 復習：実習レポートを仕上げ、提出する。
教科書	西堀すき江/編著、『食育に役立つ　調理学実習』建帛社
成績評価	実習に積極的に取り組む姿勢40%、毎回の実習レポート30%、最終レポート30%で成績評価を行う。欠席回数が6回になった場合は評価対象外とする。
実務経験	給食委託会社での勤務経験があります。実務経験をもとに、調理の基礎や調理技術のみならず、喫食者に安全で衛生的かつ美味しい食事を提供する技術についてお伝えします。
その他特記事項	班単位での実習となりますので、極力遅刻・欠席をしないよう心掛けてください。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、必ず連絡をしてください。実習では班員と協力し合い、自主性をもって積極的に取り組んでください。実習前には実習内容について班員と打ち合わせを行い、臨んでください。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　調理学実習Ⅱ　　授業コード：　2000072

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	１単位	選択
担当教員			
駒田　亜衣			
栄養士必修	実習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	調理の理論に基づいた調理操作は、料理の栄養面、安全面、嗜好面を満たすものである。前期開講の「調理学実習Ⅰ」では、日本料理、西洋料理、中国料理の基本的な調理操作を学ぶ中で、正しい調理機器の使い方、食材の扱い方などを修得するとともに、食品の組み合わせなどを考慮した基本的な食事計画の作成について学んだ。本実習でも引き続きそれらを考慮し、加えて「給食運営管理論実習Ⅰ」に向けた大量調理の基礎も学ぶ。さらに、さまざまな条件を考慮した献立作成をおこない、その献立を調理して評価・考察することにより、満足度の高い献立作成ができる能力を身につける。
授業計画	1　　オリエンテーション・献立作成（西洋料理・スープ）、発注 2　　調理実習・西洋料理（ピラフ、ムニエル、スープ）

	3　　献立作成（日本料理・焼き物付け合わせ、汁物）、発注 4　　調理実習・日本料理（鰆の松風焼、酢の物、汁物、果物の飾り切り） 5　　献立作成（中国料理・副菜、湯）、発注 6　　調理実習・中国料理（乾炸鶏塊、副菜、湯、桃酥） 7　　献立作成（西洋料理・ハンバーグ付け合わせ、スープ）、発注 8　　調理実習・西洋料理（ハンバーグ、付け合わせ、スープ） 9　　献立作成（中国料理・80～100kcal副菜バイキング）、発注 10　　調理実習・中国料理（副菜バイキング、湯、ごま団子） 11　　調理実習・製菓（ロールケーキ） 12　　献立作成（西洋料理・サラダ、スープ）、発注 13　　調理実習・西洋料理（グラタン、サラダ、スープ、ゼリー） 14　　調理実習・日本料理（巻きずし、いなり寿司、副菜、汁物） 15　　実習のまとめ（実施献立の評価と考察、厨房施設の見学）
到達目標	①　「調理学実習Ⅰ」「給食運営管理論実習Ⅰ」を考慮した基本的な調理操作が身につくこと ②　大量調理を想定した献立作成と調理の技術を修得すること ③　作成した献立の栄養評価・考察・改善提案ができること
予習内容/復習内容	予習：事前に配付した資料に目を通し、実習の作業内容（工程）を確認しておく 復習：実習の調理作業工程を確認し、実施献立の栄養価計算、栄養診断等
教科書	・松本仲子(監修)「調理のためのベーシックデータ」(女子栄養大学出版部) ・「調理学実習Ⅰ」で使用した教科書を適宜参考にする。 ・実習で使用する献立等は毎回配付する。
成績評価	・課題レポート（60%）、平常点（40%）で評価する。平常点は実習態度、実習技術、出席時に確認する衛生管理状況を総合的に評価する。
実務経験	病院で栄養士・管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、給食の運営と栄養管理に必要な知識・技術が修得できるよう努めます。
その他特記事項	・「調理学」「調理学実習Ⅰ」を必ず受講していることとする。 ・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　健康管理概論　　授業コード：　2000061

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
相川 悠貴			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	健康管理概論は、健康を保持増進し、疾病や障害を予防することを目的とする公衆衛生学の領域のうち、特に社会・環境と健康との関係を取り扱う学問である。健康管理の基本的な理論や知識を体系的に学び、自身の健康管理能力を高めるとともに、行政の健康管理活動における役割を理解する。 本講義では、社会制度、社会環境において、自身と他者の健康を管理するための力の獲得を目的とする。本講義ではは、公衆衛生学、公衆栄養学、応用栄養学、臨床病態学、臨床栄養学等の栄養士関連科目の知識の復習も組み込まれる。
授業計画	1　　日本の健康管理制度 2　　環境衛生

	3　食品衛生 4　妊婦と胎児の健康管理 5　乳児の健康管理 6　幼児の健康管理 7　児童の健康管理 8　生徒の健康管理 9　学生の健康管理 10　成人の健康管理１：成人全般 11　成人の健康管理２：就業者 12　高齢者の健康管理 13　代謝疾患 14　運動器疾患 15　健康・栄養問題の現状
到達目標	①健康管理に関連する制度とその必要性を理解する。 ②ライフステージ別の健康管理制度の特徴と意義を理解する。
予習内容/復習内容	予習：教科書の次回学習内容範囲を読んでおく。 復習：授業内で紹介した重要箇所の読み直しを行い、理解と記憶に努める。
教科書	「ＮＥＸＴ 社会・環境と健康 健康管理概論 第４版」 東あかね／關戸啓子／久保加織／林育代編、講談社
成績評価	毎回の授業内レポートの内容（100%）
実務経験	保健所で衛生監視業務に従事した。実務経験を活かし、衛生業務の実態を理解させ、健康管理の力を向上させる。
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　管理栄養特殊講義　　授業コード：　2000094

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	２年	２単位	選択
担当教員			
担当教員			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 ■２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	将来栄養士または管理栄養士として働く希望のある学生を対象とし、管理栄養士の国家試験問題や栄養士実力認定試験問題にも触れながら、栄養士免許必修科目のまとめを行う。ただ単に栄養士免許必修科目の復習を行うのではなく、学んだことの応用やディスカッションを行うため、これ以前の栄養士免許必修科目について、復習および予習ができていることを前提に講義を展開する。
授業計画	1　　オリエンテーション、栄養士実力認定試験・管理栄養士国家試験の勉強の進め方について 2　　解剖・生理学

	3　生化学 4　給食管理論 5　食品学総論 6　食品学各論 7　栄養学総論 8　臨床栄養学概論 9　栄養指導論 10　栄養学各論（応用栄養学） 11　栄養士実力認定試験 12　公衆衛生学 13　調理学 14　食品衛生学 15　公衆栄養学
到達目標	①管理栄養士国家試験に合格するための基礎知識を得る。 ②栄養士として各科目の重要事項を説明することができる。
予習内容/復習内容	予習：該当する科目の教科書、資料を事前に読み、重要事項をまとめる。 復習：栄養士実力認定試験、管理栄養士国家試験の問題を解いて重要事項をまとめる。
教科書	2025年度版　栄養士実力認定試験過去問題集　全国栄養士養成施設協会　編　建帛社
成績評価	各回の担当からの評価50%、栄養士実力認定試験結果50%
実務経験	
その他特記事項	・5 回の欠席に加え、遅刻または早退 1 回の場合は単位不可となる。 ・30 分を越えた遅刻または早退を欠席 1 回として扱う。 ・30 分以内の遅刻または早退を 3 回で欠席 1 回として扱う。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000098

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
相川 悠貴			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	運動と栄養は、健康管理の主軸となる。その知識の獲得のため、本演習では、①スポーツ競技者に対する栄養教育の実践、②日常活動の身体負荷の研究、③登山時の身体的負荷の研究、④エネルギー摂取制限と走運動の交互作用が筋・消化器に及ぼす影響の研究の実践と、その前後学習を行う。 本授業は、実践活動や前後学習を通して、運動栄養学、運動保健学、解剖生理学、応用栄養学、栄養教育論の知識と実践能力を獲得することを目的とする。
授業計画	1　全体計画の説明、研究倫理講習 2　実験機器説明、ウォーキング

	3	スポーツ栄養サポート：春季栄養レター立案
	4	スポーツ栄養サポート：春季栄養レター作成
	5	スポーツ栄養サポート：春季調査準備
	6	スポーツ栄養サポート：春季解析
	7	運動：ラケットスポーツ
	8	御在所岳登山研究準備
	9	御在所岳登山研究実施
	10	御在所岳登山研究解析
	11	運動：フィットネス
	12	スポーツ栄養サポート：夏季栄養レター立案
	13	スポーツ栄養サポート：夏季栄養レター作成
	14	スポーツ栄養サポート：夏季調査準備
	15	スポーツ栄養サポート：夏季解析
	16	スポーツ栄養サポート：秋季栄養レター立案
	17	スポーツ栄養サポート：秋季栄養レター作成
	18	スポーツ栄養サポート：秋季調査準備
	19	スポーツ栄養サポート：秋季解析
	20	運動：球技
	21	分子生物学実験：筋サンプルホモジナイズ
	22	分子生物学実験：電気泳動用ゲル作成
	23	分子生物学実験：電気泳動、ウエスタンブロッティング
	24	スポーツ栄養サポート：冬季栄養レター作成
	25	スポーツ栄養サポート：冬季調査準備
	26	スポーツ栄養サポート：冬季解析
	27	運動：レクリエーションスポーツ
	28	栄養サポート成果、研究活動成果報告の作成
	29	栄養サポート成果、研究活動成果報告の完成
	30	活動内容の復習
到達目標	①スポーツ栄養サポートの計画立案と実践ができる。 ②運動生理学実験の実践と結果の考察ができる。 ③運動の知識を獲得し、日々の生活に組み込む能力を身に着ける。	
予習内容/復習内容	予習：運動栄養学に関する最新の知識の収集。 復習：実践活動の反省点を埋めるべく学習。ストレッチ等の身体のケア。	

教科書	教科書は使用しない。講義内容に応じて資料を配付する。
成績評価	演習に取り組む意欲・態度（60%）、演習中に作成する成果物（40%）
実務経験	なし
その他特記事項	運動着と室内用運動靴、屋外用運動靴が必須である。 スポーツ栄養サポート実践と登山研究は正規時間外に学習を行うことがある。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000099

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
阿部稚里			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	食と栄養に関する事項は人々の関心が高く、情報も玉石混合である。本演習では、栄養士として他者に食と栄養に関する事項について科学的根拠をもって説明できるように、栄養学研究の基本的な知識を学ぶ。さらに自分で課題を設定して解決するための方法論を、卒業論文作成を通して学ぶ。卒業論文のテーマは栄養教育方法や食育に関連する内容から決定する。卒業論文作成を通し、栄養士として学び続ける意義と方法論を理解することを授業目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション、卒業研究の概要 2　　食や栄養に関する情報収集の方法

	3	食や栄養に関する討論の方法
	4	文献資料の収集方法
	5	文献資料の読み方
	6	先行研究の手法検討
	7	先行研究の収集
	8	先行研究の背景討論
	9	先行研究の方法討論
	10	先行研究の結果討論
	11	先行研究の考察討論
	12	データ処理方法の調査
	13	データ処理方法の実践
	14	データ処理方法の討論
	15	卒業論文テーマ設定
	16	卒業論文テーマの情報収集
	17	卒業論文テーマの討論
	18	調査・研究実施計画作成
	19	調査・研究の対象設定
	20	調査・研究の準備
	21	調査・研究の実施
	22	調査・研究結果の報告
	23	調査・研究結果の討論
	24	卒業論文の背景執筆
	25	卒業論文の方法執筆
	26	卒業論文の結果執筆
	27	卒業論文の考察執筆
	28	卒業論文の指導
	29	卒業論文の討論
	30	卒業論文の提出
到達目標	①討論を通して、コミュニケーション能力を養うことができる。 ②食と栄養に関する問題点について、科学的根拠をもって説明することができる。 ③自分で課題を設定し、解決策を論文にまとめる能力を身に付けることができる。	
予習内容/復習内容	予習：食と栄養に関する最近の話題を調査し、資料を作成する。 復習：学んだ内容について考察し、重要事項を各自まとめておく。	

教科書	特に指定しない
成績評価	討論など積極的に取り組む姿勢30%、卒業論文の評価70%
実務経験	
その他特記事項	資料作り、データ整理、卒業論文の作成、食に関する実地調査など、開講時間以外に活動することがある。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000100

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
飯田津喜美			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本演習は、食品成分と調理工程の影響調査、県内外の伝統料理探求とレシピの検討等を行います。また、これまでに学んだ食と健康に関する知識や技術について理解を深め、卒業後の栄養士としての実践的な場面においても活用できる能力を修得することを目的としています。
授業計画	1　前期ガイダンス・研究テーマ説明 2　文献・資料の読み解き方 3　文献購読

	4　文献内容紹介・報告 5　調査・研究方法 6　調査・研究の対象 7　調査・研究対象に関する情報収集 8　第7回の報告とまとめ 9　研究テーマ・研究計画の設定 10　研究計画指導 11　研究テーマに関する情報収集 12　予備調査・研究計画 13　予備調査・研究実施 14　予備調査・研究データ分析 15　第12～14回報告とまとめ 16　後期ガイダンス・研究テーマに関する情報収集 17　本調査・研究計画 18　本調査・研究実施 19　本調査・研究データ分析 20　第17～19回報告とまとめ 21　追加調査・研究計画 22　追加調査・研究実施 23　追加調査・研究データ分析 24　第21～23回報告とまとめ 25　研究まとめ作成 26　研究まとめ指導 27　研究まとめ完成 プレゼンテーション案構想 28　プレゼンテーション案構想 29　プレゼンテーション資料作成 30　研究成果発表
到達目標	① 調査・研究の基礎知識や技術を身につける。 ② 栄養士としての実践的な場面において活用できる能力（コミュニケーション力、科学的根拠に基づいた理解・判断力等）を身につける。
予習内容/復習内容	予習：関連する文献を調べ、情報収集を行う。 復習：授業中に学んだ内容を考察し、必要事項をまとめておく。

教科書	教科書は使用しない。必要に応じて適宜指示する。
成績評価	平常点(50%)、成果物(50%)で評価する。平常点は、研究ノートのまとめや報告等を総合的に評価する。
実務経験	
その他特記事項	・進捗状況により内容を変更することがある。 ・研究活動を行うためには、受講日以外の自主的な取り組みが必要となる場合がある。 ・地域や大学と連携したボランティア活動に参加予定である。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000101

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
生田李緒			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本演習では、味覚や味に関する内容をテーマとして研究を行う。これまでに学んだ味覚に関する知識を深めるとともに、研究の基本的な知識と一連の流れを理解する。また、食品の官能検査法、DNA抽出、PCR法などを用いた実験を通じて、味覚研究に必要な基礎技術を修得する。さらに、文献資料や実験結果をもとに文章をまとめ、発表することで、栄養士に求められる情報を整理する能力と他者にわかりやすく説明する能力を身につけることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション、ゼミ説明 2　　研究倫理

	3	研究計画の立て方
	4	研究テーマの検討
	5	文献の読み方
	6	文献内容の発表
	7	研究テーマの決定
	8	研究計画の作成
	9	基本的な実験操作の練習
	10	官能検査
	11	結果の解釈方法
	12	遺伝子について
	13	DNA抽出
	14	PCR法
	15	PCR産物の電気泳動、結果の確認
	16	研究計画の確認、修正
	17	調査・研究の準備
	18	調査・研究の実施
	19	結果の確認と整理
	20	結果の考察
	21	関連文献の収集
	22	成果物の作成方法について
	23	成果物作成ー序論
	24	成果物作成ー方法
	25	成果物作成ー結果
	26	成果物作成ー考察
	27	成果物の完成
	28	成果物の発表準備
	29	成果物の発表
	30	特別演習のまとめ
到達目標	・官能検査方法、DNA抽出法・PCR法を理解する ・学んだ知識や得られた実験結果をもとに、論理的な文章を作成することができる ・他者にわかりやすく説明する能力を身につけることができる	
予習内容/復習内容	予習：学習内容に関連する専門用語について、意味を調べ、説明できるようにしておく。調べる内容については演習内で適宜指示する。	

	復習：学んだ内容を整理してノートにまとめる。
教科書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。
成績評価	積極的に取り組む姿勢（40%）、レポート等の成果物（60%）で評価する。
実務経験	
その他特記事項	・学習内容は進捗状況等で変化することがある。 ・正規時間外に学習を行うことがある。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000102

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
駒田　亜衣			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	将来、栄養士として社会で活躍できるよう、給食管理や食事計画、献立作成、調理実習（大量調理を含む）を実施する。またその他の活動として、必要に応じて公衆栄養学的調査を実施し、栄養士の実務に必要な研究手法を理解する。 　栄養士として働くにあたり、必要な知識・技術を身につけるとともに、献立検討や大量調理実習への積極的な参加によって豊かなコミュニケーション能力を身につける。
授業計画	1　　オリエンテーション・ゼミ説明 2　　研究テーマの検討

	3	パソコン演習・エクセルの基本的操作
	4	パソコン演習・ワードの基本的操作
	5	研究テーマの決定
	6	研究テーマへの取組（データ整理）
	7	テーマに関する文献検索
	8	献立の考案（給与目標量の設定）
	9	考案献立の発注と調理機器の確認
	10	考案献立の試作と検討
	11	調理実習（世界の料理①）
	12	調理実習（世界の料理②）
	13	考案献立の栄養価計算と評価
	14	献立の完成
	15	考案献立の報告と考察
	16	後期予定確認と文献検討
	17	研究テーマへの取り組み（データ集計・解析等）
	18	調理実習（世界の料理③）
	19	大量調理を踏まえた食事計画の検討
	20	大量調理を踏まえた献立作成
	21	食材の発注と作業工程の確認
	22	厨房機器の使い方
	23	大量調理実習（試作）
	24	大量調理実習の献立検討
	25	大量調理実習（考案献立の提供）
	26	実習の課題と改善の検討
	27	大量調理実習の成果報告
	28	研究テーマへの取り組みとまとめ（資料作成）
	29	研究テーマ報告と評価
	30	報告内容のグループワーク
到達目標	①　栄養士の実務に必要な食事計画を立てる技術が身につく ②　実務の中で必要な栄養情報処理能力が身につく ③　豊かなコミュニケーション能力が身につく	
予習内容/復習内容	予習：授業中に調べた文献に目を通す、献立作成に必要な資料を探しておく等 復習：授業で実施した内容をノートなどにまとめ、考察する等	

教科書	授業の中で参考文献などを随時紹介する。
成績評価	研究発表内容やレポート（50%）、本演習に対する取り組み意欲や熱意・大量調理実習の成果等（50%）として評価する。
実務経験	病院で栄養士・管理栄養士として勤務していました。実務経験を活かし、献立作成の手順、栄養士としての食事計画が立てられる能力、調理の技術を修得できるよう努めます。
その他特記事項	・「調理学」「調理学実習Ｉ」を必ず受講していることとする。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000103

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
杉野　香江			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本演習では、栄養学、応用栄養学、食品学、調理学で学んだ知識と技術を発展させ、①健康増進を目的とした調査研究、②発酵食品の機能性と活用法の検討を行う。調査研究では、食事摂取内容や食事パターンによる血糖値の変化について、ビタミンDの摂取不足とメンタルヘルスの関連などをテーマに検討を進めている。健康増進、食生活、栄養、食品に関連する幅広い知識と考え方を身につけることを目的とする。
授業計画	1　　オリエンテーション・研究テーマの紹介 2　　研究テーマの設定

	3	文献資料の読み方
	4	関連論文紹介
	5	研究テーマの資料・文献の収集
	6	研究テーマの資料・文献の発表
	7	研究テーマの資料・文献の分析と評価
	8	調査研究の方法
	9	調査研究の対象と個人情報の管理（研究倫理について）
	10	研究計画の作成
	11	研究計画の修正と確認
	12	血糖値測定の方法
	13	試験食の作製
	14	食品摂取後の血糖値の変動
	15	血糖値測定結果の分析
		調査に向けての準備と確認
		調査研究の実施（インフォームドコンセント、アンケートの配布等）
		調査研究の実施（アンケート回収等）
		調査研究の実施（身体計測の実施等）
		データの確認と整理
		データの入力と解析
		食事調査の解析
		調査結果のまとめと考察の方法
		調査結果の考察
		研究報告の作成
		発酵食品の利用計画
		発酵を利用した食品の加工（試作）
		発酵を利用した食品の加工（完成）
		研究報告の完成
		特別演習のまとめ
到達目標	演習を通して、自ら課題を発見し解決する能力を養い、グループ活動により、豊かなコミュニケーション能力を身につけることを到達目標とする。	
予習内容/復習内容	予習：食事と血糖値変動に関する最新の情報や食事調査の手法等、演習に関連する事項について調べる。 復習：配布資料の内容や、実験で得られデータを確認し、まとめる。	
教科書	参考資料を適宜配布する。	

成績評価	演習に積極的に取り組む姿勢（60%）と研究レポート（40%）によって評価する。
実務経験	
その他特記事項	・学習内容は一例です。進捗状況によって変更します。 ・調査研究や実験を行うにあたり、正規時間外の研究活動が必要となる場合があります。 ・受講生は、グループで協力して研究活動に参加し、理解を深めます。 ・地域連携活動（世界の料理）への参加希望者は、調理実習を行うことも可能です。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000104

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
服部知美			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	本演習では、国の制度上の食品である保健機能食品(特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品)のうち特に機能性表示食品について学習、調査、献立開発等の研究を行う。 はじめに保健機能食品制度が開始された目的や制度の内容を学習して理解を深める。 その後、日常の食生活に役立てるために機能性表示食品をいかに分かりやすく食事の献立にアレンジして国民に示すか、さらに単品だけでなく一食として栄養価、味や量のバランス、彩りにも配慮した献立の開発へと発展させる。
授業計画	1　　保健機能食品の概要 2　　機能性表示食品の学習１　届け出情報の検索

	3　機能性表示食品の学習２　科学的根拠について 4　機能性表示食品を使用した1品料理の献立作成 5　機能性表示食品を使用した1品料理の調理試作 6　1品料理試作の分量修正等の再試作及び分量確定 7　機能性表示食品を使用したバランス食の立案1回目 8　機能性表示食品バランス食の栄養価計算1回目 9　機能性表示食品バランス食の調理試作1回目 10　バランス食1回目試作の分量修正等の再試作及び分量確定 11　機能性表示食品を使用したバランス食の立案2回目 12　機能性表示食品バランス食の栄養価計算2回目 13　機能性表示食品バランス食の調理試作2回目 14　バランス食2回目試作の分量修正等の再試作及び分量確定 15　1品料理、バランス食のレシピ集作成作業 16　機能性表示食品バランス弁当の立案 17　機能性表示食品バランス弁当の栄養価計算 18　機能性表示食品バランス弁当の調理試作 19　バランス弁当試作品の分量修正等再試作及び分量確定 20　試作予備日及び最新の機能性表示食品届け出情報調査 21　バランス弁当のレシピ集作成作業 22　機能性表示食品を使用した自由献立の立案 23　機能性表示食品自由献立の栄養価計算 24　機能性表示食品自由献立の調理試作 25　自由献立試作品の分量修正等の再試作及び分量確定 26　試作予備日及び最新の機能性表示食品届け出情報調査 27　自由献立のレシピ集作成作業 28　レシピ集作成作業完成 29　栄養指導媒体づくり 30　成果発表会
到達目標	・調理試作と検討を重ねて完成度を高め、喫食者に喜ばれる食事づくりができる。 ・開発献立を指導媒体例として、保健機能食品の正しい理解と利用を目的とした栄養指導ができる。
予習内容/復習内容	予習内容：献立に使用する保健機能食品や原案を考え、調理試作までに自宅等で前試作を行うこと 復習内容：使用食品、分量、作り方、作業工程等を検討し、必要に応じて栄養価計算を修正する

教科書	教科書は使用しない。演習内容に応じて資料を配布する。
成績評価	出席時に確認する予習内容30%、調査、献立作成、調理全般に取り組む姿勢70%、合計100%
実務経験	管理栄養士として病院勤務および学校給食と特定保健指導の経験を有します。実務経験をもとに栄養バランスのとれたおいしい食事作りのための演習をします。
その他特記事項	正規時間外に学習を行うことがある。進度により内容変更や新たな調査を追加する場合がある。

講義科目名称：　特別演習　　授業コード：　1000105

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	２年	４単位	必修
担当教員			
福安　智哉			
	演習		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 ■４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） ■１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 ■２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 ■３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 ■４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） □１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	遺伝子組み換え食品が市場に出回りつつある。しかしながら消費者側の遺伝子組み換え技術への理解はとても十分であるとは言えず、少々の誤解も見受けられる。その事もあってか、遺伝子組み換え食品へのネガティブな意見は少なくない。 そこで当演習では、遺伝子に着目し、遺伝子組み換えとはどのようにして行われているのか、また遺伝子組み換えが行われた作物の問題点についての講義、自生植物から抽出したDNAをPCR法にて調査することで、遺伝子組み換え技術を正しく理解することを目的とする。
授業計画	1　　ガイダンス：研究テーマの説明、遺伝子とは何か 2　　基礎知識：遺伝子変異とは。その調査方法

	3　　練習①：DNA抽出の練習（食品） 4　　練習②：DNA抽出の練習（植物） 5　　練習③：PCR法の練習、プライマーの選択 6　　練習④：結果の解釈方法 7　　これまでの調査結果に関して 8　　プライマーの効果確認 9　　セイヨウナタネとその近縁種に関して 10　　セイヨウナタネの捜索、採集（新規スポット） 11　　セイヨウナタネの捜索、採集（継続調査箇所） 12　　採集箇所の記録、採集物の確認・洗浄、破砕 13　　対象となる植物からのDNA抽出 14　　標的遺伝子のPCR法による増幅 15　　PCR産物の電気泳動、結果の確認 16　　応用：遺伝子変異に関する調査の現状、発展 17　　応用：遺伝子組み換え、遺伝子治療とは 18　　遺伝子組み換え食品の流通に関する調査 19　　応用：PCR法の応用とその活用について 20　　論文調査：論文の読み方について 21　　論文調査：論文の探し方について 22　　現状確認：遺伝子組み換えセイヨウナタネの分布 23　　現状確認：遺伝子組み換え食品の問題点 24　　成果物作成：結果の解釈、採集箇所の再確認 25　　成果物作成：序論、方法の書き方 26　　成果物作成：結果、考察の書き方 27　　成果物の確認・修正 28　　遺伝子組み換え食品の法規制 29　　ゲノム編集技術の法規制と現状 30　　ゲノム編集技術の発展
到達目標	当演習受講による到達目標は以下のとおりである。 １．学生は遺伝子組み換えに関して理解し、説明することができる。 ２．学生はPCR法について理解し、活用することができる。 ３．学生はゲノム編集技術について理解し、説明することができる。

予習内容/復習内容	予習 遺伝子の配列や構成する塩基について予習しておくこと。遺伝子組み換え作物に関する最近のニュースや動向を調べておくこと。 前回の講義や実験内容の再確認をしておくこと。 フィールドワークを行う場合、服装や器具等の準備、ルートの確認をすること。 復習 演習内で行った実験や、講義内容についてまとめを作成する。疑問点等があった場合はまとめておく。 進行状況や実験の結果に応じて、予習復習内容に関して指示を行う場合がある。
教科書	教科書は使用しない。講義内容に応じて資料を配布する。
成績評価	実験のレポート等成果物にて評価を行う（100%）
実務経験	
その他特記事項	正規時間外に学習を行うことがある。 やむを得ず欠席する場合は連絡すること。演習内でやってみたいことなどについて積極的な発言を期待する。

講義科目名称：　化学　　授業コード：　1000137

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	１年	２単位	選択
担当教員			
山﨑　賢二			
	講義		
添付ファイル			

ディプロマ・ポリシー	大学DP ■１．創造性豊かな人間性と優れた専門性を身につけた学生 □２．実社会で活躍できる知的・人間的資質を身につけた学生 □３．地域社会を主体的に担う態度を身につけた学生 □４．国際社会に対する理解とコミュニケーション能力や情報社会に対応できる能力を身につけた学生 法経科第１部（学科DP） □１．法律・政治・経済・経営など社会科学の基幹分野に関する基本的な知識を修得し、最新の学問的到達についても一定の理解をもっている。 □２．現代社会の諸問題について、専門的知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．修得した学識を職業生活上の実践的課題に適用することができる。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 法経科第２部（学科DP） □１．社会科学について広く基礎的な素養を身につけている。 □２．現代社会の諸問題について、学修した知識に基づいて論理的に考え、自分の意見を的確に表現することができる。 □３．多様な目的意識を持つ幅広い年齢層の学生がともに学生生活を送ることを通じて、豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション能力を身につけている。 □４．社会に対する学問的見識と文化や自然についての幅広い教養を基礎として、広い視野と寛容さを身につけている。 □５．地域が抱える諸問題に広く関心を持ち、市民として諸課題解決に向けて積極的に関与することで地域社会の発展に貢献できる。 食物栄養学科食物栄養学専攻（学科DP） □１．栄養士として必要な食に関する幅広い専門知識と技能を有している。 □２．食と健康に関する様々な課題に対して、科学的根拠に基づいた多面的・総合的な理解及び判断ができる。 □３．豊かな教養、高い倫理観、優れたコミュニケーション力を備え、栄養士として適切な栄養管理・指導を実践できる。 □４．習得した専門知識と技能を基に、地域社会と連携して食と健康の分野で主体的に活躍できる能力を備えている。 生活科学科生活科学専攻（学科DP） ■１．「いのち」と「くらし」に関わるニーズが多様化する社会にあって、それらについての基礎的な教養を身につけている。 □２．生活福祉・心理コースにあっては、社会福祉学と心理学を総合した視点に立って、社会や人間に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □３．居住環境コースにあっては、住生活や環境という視点に立って、生活環境に関わる課題に取り組む能力を身につけている。 □４．高い公共性と倫理性を備え、地域や社会に主体的、積極的に貢献していこうとする態度が身についている。 ※■が該当項目

授業概要/授業目的	「食」にたずさわる資格を取得するためには、多くの専門科目を学ばなければなりませんが、その基礎となる「化学」の知識を身につけることは必要不可欠です。食べ物に関する化学の知識を中心に、高校まで化学をあまり勉強してこなかった学生にも、わかりやすく親しみやすい講義を心がけます。
授業計画	1　第１章　食品の中身を見る①　原子、分子、イオン、電子配置 2　第１章　食品の中身を見る②　化学結合、化学式 3　第２章　食品中の原子、分子、イオンの重さ

	4　第３章　食品の状態とその変化①　物質の三態、気体の体積と圧力・温度の関係、溶液 5　第３章　食品の状態とその変化②　コロイド粒子、コロイド溶液 6　第４章　食品とエネルギー　生体内の化学エネルギー 7　第５章　食品内で起こる変化①　化学反応と化学反応式、酸と塩基、ｐＨ 8　前半の振り返り、中間試験 9　第５章　食品内で起こる変化②　酸化還元反応、化学反応と熱 10　第６章　食品中の濃度を考える①　パーセント濃度、モル濃度、グラム当量、規定濃度 11　第６章　食品中の濃度を考える②　重量モル濃度、試薬の調製法 12　第７章　食品中の有機化合物とその働き①　糖質、タンパク質、脂質 13　第７章　食品中の有機化合物とその働き②　酵素、ビタミン、ホルモン 14　第８章　食品中の無機化合物とその働き 15　後半の振り返り、ビデオ学習「沈黙の春／レイチェル・カーソン」
到達目標	学生は、食べ物に関する化学の基礎知識を身に着けることができる。その到達度を測るために第8回に中間試験、第15回終了後に期末試験を行う。試験内容は章末問題を中心に出題し、百点法で60点以上の場合に目標の達成とする。
予習内容/復習内容	予習に関してはあらかじめ教科書に目を通す等、復習に関しては各章末問題を解く等を行ってください。
教科書	・テキスト「わかる化学・知っておきたい食とくらしの基礎知識」 松井徳光・小野廣紀 著、化学同人 発行、ISBN 978-4-7598-0920-6 ・プリント「知っておきたい食べ物の話」（社）日本化学工業協会
成績評価	・出席状況把握のため、毎回食物に関するクイズや課題等を提出します。。 ・15回の授業のうち中間試験を含む10回以上の出席者を評価の対象者とします。 ・出席確認の提出物20%、中間試験点40%、期末試験点40%で評価します。
実務経験	
その他特記事項	・テキストは各自で購入してください。プリントは配布します。 ・化学計算のための電卓が必要です（関数電卓推奨）。